



# ハードウェアおよび ソフトウェア ガイド HP ノートブック シリーズ

製品番号 : 378029-291

2004年12月

このガイドでは、お使いのノートブック コンピュータで使用可能なハードウェアおよびソフトウェアの機能の確認方法、アクセス方法、および使用方法について説明します。モデムに関する情報は、このガイドには含まれていません。モデムの情報については、Notebook Documentation CDに収録されているモデムのガイドを参照してください。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

SDロゴは、その所有者の商標です。

Bluetoothは、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいてHewlett-Packard Companyが使用しています。

AdobeおよびAcrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



**警告：**その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

---



**注意：**その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

---

ハードウェアおよびソフトウェア ガイド

HPノートブックシリーズ

初版 2004年12月

参照番号：nx4800

製品番号：378029-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

---

# 目次

## 1 ハードウェア

表面の各部	1-1
キー	1-1
タッチパッド	1-2
電源ボタン類	1-3
ランプ	1-4
無線ボタンおよび音量ボタン	1-5
アンテナ	1-6
前面の各部	1-7
ランプ	1-7
スピーカ、コネクタ、およびディスプレイ リリース ボタン	1-8
背面の各部	1-9
左側面の各部	1-10
ポートおよびコネクタ	1-10
PCカード スロットおよびボタン	1-11
通気孔およびセキュリティ ロック ケーブル用スロット	1-12
右側面の各部	1-13
底面の各部	1-14
ミニPCIおよびメモリ コンパートメント	1-14
ベイ、バッテリー ラッチおよび通気孔	1-15
その他のコンポーネント	1-16
ハードウェア	1-16
オプティカル ディスク	1-17
ラベル	1-18

## 2 キーボード

タッチパッド	2-1
タッチパッドのコンポーネントの位置	2-1
タッチパッドの使用	2-2
タッチパッドの設定	2-3

ホットキー .....	2-5
ホットキーの位置 .....	2-5
ホットキーの使用手順 .....	2-7
ホットキー コマンドの使用 .....	2-7
デンキー .....	2-14
内蔵デンキーの使用 .....	2-14
内蔵デンキーの有効/無効の切り替え .....	2-15
外付けデンキーの使用 .....	2-16

### 3 電源

電源 .....	3-1
電源の選択 .....	3-1
バッテリー電源と外部電源の切り替え .....	3-2
電源ボタン類とランプの位置 .....	3-3
スタンバイ、ハイパネーション、およびシャットダウンの概要	3-4
スタンバイ .....	3-4
ハイパネーション .....	3-4
作業の中断 .....	3-6
ドライブ メディアへの干渉 .....	3-7
スタンバイ、ハイパネーション、および電源切断の手順 .....	3-8
ノートブック コンピュータの電源の投入または切断 .....	3-8
スタンバイからの復帰または起動 .....	3-9
ハイパネーションからの復帰または起動 .....	3-10
緊急停止手順の使用 .....	3-11
電源の設定 .....	3-12
電源設定の使用 .....	3-12
スタンバイ パスワードの設定 .....	3-12
その他の電源の設定 .....	3-12
バッテリー パック .....	3-14
バッテリー パックの充電 .....	3-14
バッテリー パックの充電の監視 .....	3-15
ローバッテリー状態の対処 .....	3-16
バッテリー ゲージの調整 .....	3-18
バッテリー パックの節電 .....	3-21
バッテリー パックの交換 .....	3-23
バッテリー パックの保管 .....	3-25
使用済みのバッテリー パックの処理 .....	3-25

## 4 マルチメディア

内蔵スピーカ .....	4-1
音量調整 .....	4-1
外付けオーディオ デバイス .....	4-3
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用 .....	4-3
オーディオ入力（マイク）コネクタの使用 .....	4-4
外付けビデオ機器 .....	4-5
Sビデオ機器の接続 .....	4-5
ビデオからの表示 .....	4-6
CDおよびDVDの使用手順 .....	4-7
ディスクの挿入または取り出し .....	4-7
メディア操作ホットキーの使用 .....	4-8
自動再生機能の設定 .....	4-9
再生中のメディアの保護 .....	4-10
CDまたはDVDの書き込み処理の保護 .....	4-11
著作権に関する警告について .....	4-11
DVDの地域設定の変更 .....	4-12
マルチメディア ソフトウェア .....	4-14
マルチメディア ソフトウェアの概要 .....	4-14
マルチメディア アプリケーションの選択 .....	4-15
WinDVD Creatorのインストール .....	4-16

## 5 無線（一部のモデルのみ）

無線ローカル エリア ネットワーク（一部のモデルのみ） .....	5-3
社内無線LANへの無線ノートブック コンピュータの接続 ..	5-4
公共の無線LANへの無線ノートブック コンピュータの接続 ..	5-4
自宅での無線LANの設定 .....	5-5
無線LAN接続の使用 .....	5-6
無線セキュリティ機能の使用 .....	5-7
無線ソフトウェアのインストール（オプション） .....	5-7
デバイスのトラブルシューティング .....	5-9
Bluetooth（一部のモデルのみ） .....	5-10
デバイスの電源状態 .....	5-12
デバイスの電源投入 .....	5-14
デバイスの電源切断および無効化 .....	5-15
Mobile Printing .....	5-16

## 6 セキュリティ

セキュリティ機能の推奨事項	6-1
[Computer Setup]でのセキュリティ設定	6-3
パスワード	6-4
HPパスワードとWindowsのパスワード	6-4
HPパスワードとWindowsのパスワードに関する ガイドライン	6-6
HP管理者パスワード	6-7
HP管理者パスワードの設定	6-8
HP管理者パスワードの入力	6-9
電源投入時パスワード (Power-On Password)	6-9
電源投入時パスワードの設定	6-10
電源投入時パスワードの入力	6-11
再起動時の電源投入時パスワードの要求	6-11
DriveLock (ドライブロック)	6-12
DriveLockパスワードの設定	6-13
DriveLockパスワードの入力	6-14
再起動時のDriveLockパスワードの要求	6-15
DriveLockパスワードの変更	6-16
DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除	6-17
デバイスセキュリティ	6-18
システム情報	6-19
[システム情報]オプションの設定	6-19
ウイルス対策ソフトウェア	6-20
ファイアウォール ソフトウェア	6-21
Windows XPの緊急セキュリティ アップデート	6-23
HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)	6-24
Embedded Security for ProtectTools	6-24
Credential Manager for ProtectTools	6-25
BIOS Configuration for ProtectTools	6-26
Smart Card Security for ProtectTools	6-27
別売のセキュリティ ロック ケーブル	6-28

## 7 ハードウェアのアップグレードと交換

デバイスの接続 .....	7-1
外部電力を使用するデバイスの接続 .....	7-1
USBデバイスの接続 .....	7-2
1394デバイスの接続 .....	7-3
通信デバイスの接続 .....	7-4
デジタル メモリ カード .....	7-5
6-in-1メディア スロット ランプの使用 .....	7-6
デジタル メモリ カードの挿入 .....	7-7
デジタル メモリ カードの取り出し .....	7-8
PCカード .....	7-9
PCカードの挿入 .....	7-10
PCカードの停止と取り出し .....	7-11
ドライブ .....	7-12
システムへのドライブの追加 .....	7-12
IDEドライブ ランプの使用 .....	7-12
ドライブの取り扱い上の注意 .....	7-13
内蔵ハードドライブの交換 .....	7-14
メモリ .....	7-18
メモリの増設 .....	7-18
メモリ モジュールの着脱 .....	7-19

## 8 ソフトウェアの更新と修復およびシステム ソフトウェア

ソフトウェアの更新 .....	8-1
ソフトウェアの更新準備 .....	8-2
最新ソフトウェアのダウンロードおよびインストール .....	8-3
ソフトウェアの修復 .....	8-7
[システムの復元]の使用 .....	8-7
ソフトウェアの修復または再インストール .....	8-8
Quick Launch Buttonsの[設定] .....	8-9
Quick Launch Buttonsの[設定]へのアクセス .....	8-9
ホットキー情報の表示 .....	8-11
外付けキーボードへのボタン割り当ての設定 .....	8-12
セットアップ ユーティリティ .....	8-13
セットアップ ユーティリティの起動 .....	8-13
コンピュータ セットアップの言語の変更 .....	8-13
セットアップ ユーティリティでの移動と選択 .....	8-14
システム情報の表示 .....	8-15
セットアップ ユーティリティでのデフォルト設定の復元 .....	8-15
高度なセットアップ ユーティリティ機能の使用 .....	8-16
セットアップ ユーティリティの終了 .....	8-17

## **A 仕様**

作業環境 .....	A-1
定格入力電源 .....	A-2
拡張ポートの入出力信号 .....	A-2

## **索引**



## ハードウェア

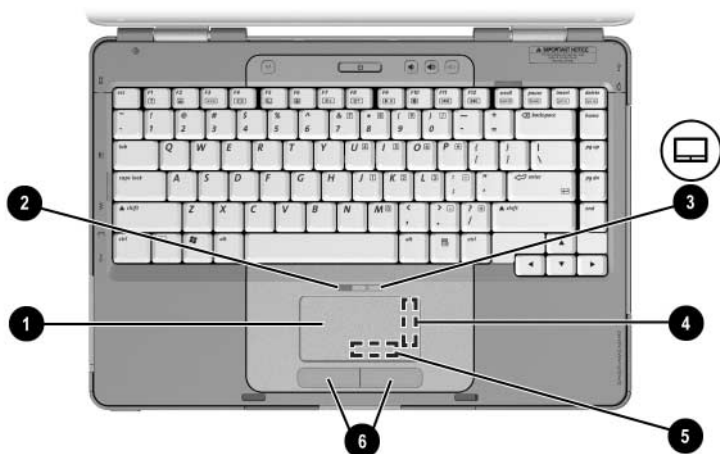
### 表面の各部

#### キー



名称	機能
① [fn]キー	他のキーと組み合わせて、システムのタスクを実行します。たとえば、[fn]+[f7]を押すと画面の輝度が下がります
② ファンクション キー (×12)	システムおよびアプリケーションのタスクを実行します。各ファンクション キーは、[fn]と組み合わせることによって、ホットキーとして別のタスクも実行できます
③ テンキー (×15)	外付けのテンキーと同じように使用できます
④ Windows アプリケーション キー	マウス ポインタが指しているアイテムのショートカットメニューを表示します
⑤ Windows ロゴ キー	Microsoft® Windows® の[スタート]メニューを表示します

## タッチパッド




名称	機能
① タッチパッド*	ポインタを移動します
② タッチパッド ランプ	タッチパッドが有効になっているときに点灯します
③ タッチパッド ボタン	タッチパッドを有効/無効に設定します
④ タッチパッド垂直スクロール領域*	画面を上下にスクロールします
⑤ タッチパッド水平スクロール領域	画面を左右にスクロールします
⑥ 左右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します

\*この表ではデフォルト設定について説明しています。タッチパッドの各部の機能の変更については、「第2章 キーボード」の「タッチパッドの設定」を参照してください。

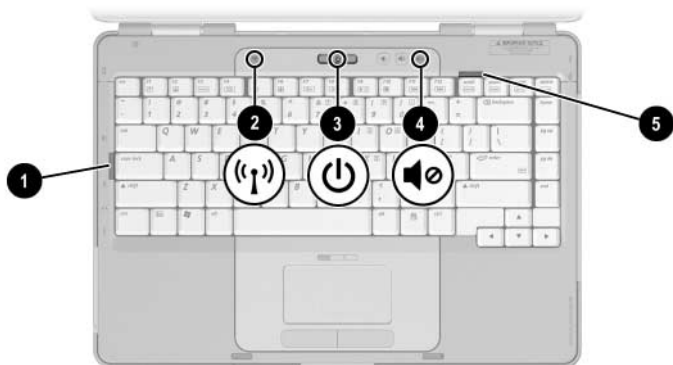
## 電源ボタン類



名称	機能
① ディスプレイ スイッチ*	電源が入っている状態でノートブック コンピュータを閉じると、スタンバイが起動します
② 電源ボタン*	<p>ノートブック コンピュータの状態によって次のように機能します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源が切れているときに押すと、電源が入ります</li> <li>■ 電源が入っているときに短く押すと、ハイバネーションが起動します</li> <li>■ スタンバイ状態のときに短く押すと、スタンバイから復帰します</li> <li>■ ハイバネーション状態のときに短く押すと、ハイバネーションから復帰します</li> </ul> <p> システムが応答せず、Windowsの終了を実行できないときは、4秒間以上押したままにするとコンピュータの電源が切れます</p>

\*この表ではデフォルト設定について説明しています。ディスプレイ スイッチまたは電源ボタンの機能を変更する方法については、「第3章 電源」の「その他の電源の設定」を参照してください。

## ランプ



名称	機能
① Caps Lockランプ	Caps Lockがオンのときに点灯します
② 無線ボタンと連動する無線ランプ (一部のモデルのみ) *	無線LANデバイスやBluetooth®デバイスなど、オプションの内蔵無線デバイスが1つ以上オンになっているときに点灯します†
③ 電源ボタン ランプ‡	電源投入時に点灯します スタンバイ状態のときに点滅します 電源切断時に消灯します
④ ミュート ランプ	音量が消音（ミュート）されているときに点灯します
⑤ Num Lockランプ	Num Lockまたは内蔵テンキーが有効なときに点灯します

\*無線ランプは2つあり、両方とも同じ情報を通知します。無線ボタンと連動する無線ランプはコンピュータを開いているときにのみ見えます。もう一方の無線ランプは、コンピュータの前面から常に見えます。

†無線リンクの確立方法については、「第5章 無線（一部のモデルのみ）」を参照してください。

‡電源ボタン ランプと電源/スタンバイ ランプ（ノートブック コンピュータの前面にあります）は同じ情報を通知します。電源ボタン ランプはコンピュータを開いているときにのみ見えます。電源/スタンバイ ランプはコンピュータを閉じたときにも見えます。


## 無線ボタンおよび音量ボタン



名称	機能
① 無線ボタン（一部のモデルのみ）	無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は作成されません  ✎ 無線接続を確立するには、無線ネットワークがすでにセットアップされている必要があります。無線リンクの確立方法については、「 <a href="#">第5章 無線（一部のモデルのみ）</a> 」を参照してください
② 音量下げボタン	音量を下げます
③ 音量上げボタン	音量を上げます
④ ミュート ボタン	消音（ミュート）したり音量を元に戻したりします

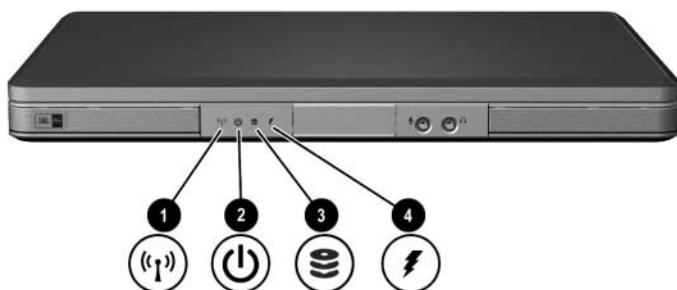
## アンテナ



名称	機能
アンテナ（×2）*	無線デバイスの信号を送受信します
	<p> 警告：無線周波放射を浴びる場合 電波産業会（ARIB、<a href="http://www.arib.or.jp">http://www.arib.or.jp</a>）の電波防護標準規格（RCR STD-38）によれば、人体に許容できる電力密度は、2.4 GHz 帯で、1 mW/cm<sup>2</sup>とされています。弊社の無線LAN製品では、ノートブック コンピュータのディスプレイを閉じた場合を含めて、アンテナから20 cm離れた場所で約0.0063 mW/cm<sup>2</sup>程度で、問題のないレベルとなっています。ただし、ペースメーカーや医療機器、航空機の計器類には、携帯電話やPHS同様、障害を与える恐れがありますので、携帯電話やPHS等と同様の使用ルールに従うようにしてください</p>
*アンテナは一部のモデルでのみ使用可能で、ノートブック コンピュータの外側からは見えません。最適な転送のため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。	

## 前面の各部

### ランプ



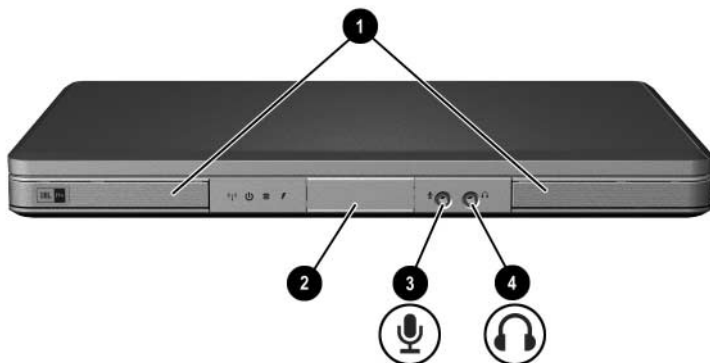
名称	機能
① 無線ランプ*（一部のモデルのみ）	無線LANデバイスやBluetooth®デバイスなど、オプションの内蔵無線デバイスが1つ以上オンになっているときに点灯します†
② 電源/スタンバイ ランプ‡	電源投入時に点灯します スタンバイ状態のときに点滅します 電源切断時に消灯します
③ IDE（Integrated Drive Electronics）ドライブ ランプ	内蔵ハードドライブまたはオプティカルドライブにアクセスしているときに点灯または点滅します
④ バッテリー ランプ	点灯：バッテリー パックが充電中です 点滅：バッテリー パックがローバッテリー状態になっています 消灯：バッテリー パックが完全に充電されているか、バッテリー パックが取り付けられていません

\*無線ランプは2つあり、両方とも同じ情報を通知します。無線ボタンと連動する無線ランプはコンピュータを開いているときにのみ見えます。もう一方の無線ランプは、コンピュータの前面から常に見えます。

†無線リンクの確立方法については、「第5章 無線（一部のモデルのみ）」を参照してください。

‡電源/スタンバイ ランプと電源ボタン ランプ（ノートブック コンピュータの表面にあります）は同じ情報を通知します。電源/スタンバイ ランプはコンピュータを閉じたときに見えます。電源ボタン ランプはコンピュータを開いているときにのみ見えます。

## スピーカ、コネクタ、およびディスプレイ リリース ボタン



名称	機能
① ステレオ スピーカ (×2)	ステレオ サウンドを出力します
② ディスプレイ リリース ボタン	ノートブック コンピュータを開けます
③ オーディオ入力 (マイク) コネクタ	別売のモノラル (シングル チャネル) マイクを接続します
④ オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	別売のヘッドフォンや電源付きステレオ スピーカなどを接続します。テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ機能も接続できます



## 背面の各部

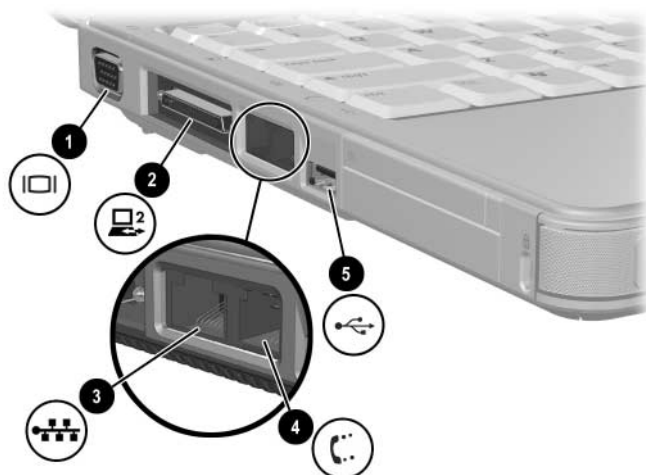


名称	機能
① 排気孔*	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します  △ 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕、厚手のじゅうたん、衣服などのように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりするのは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください
② 電源コネクタ	ACアダプタ ケーブルを接続します

\*ノートブック コンピュータには、4つの通気孔があります。この通気孔およびその他のすべての通気孔は、コンピュータの底面から見えます。このうち1つは、コンピュータの左側面からも見えます。

## 左側面の各部

### ポートおよびコネクタ

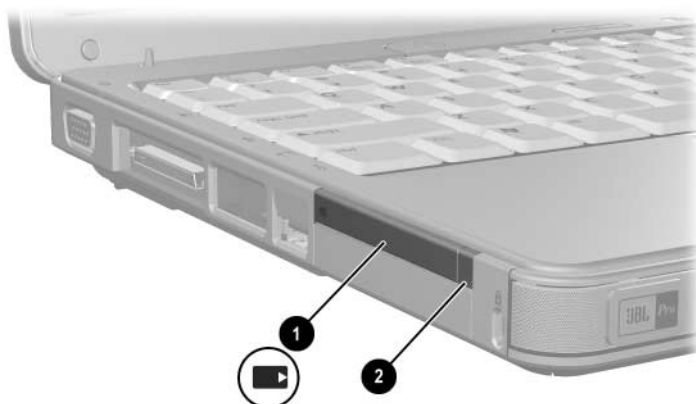


名称	機能
❶ モニタ ポート	別売のVGAモニタまたはプロジェクタを接続します
❷ 拡張ポート（一部のモデルのみ）*	ノートブック コンピュータを別売の拡張ベースに接続します
❸ RJ-45（ネットワーク）コネクタ	別売のネットワーク ケーブルを接続します
❹ RJ-11（モデム）コネクタ	モデム ケーブルを接続します
❺ USBポート†	別売のUSBデバイスを接続します

\*拡張ポートの信号については、「付録A 仕様」の「拡張ポートの入出力信号」を参照してください。

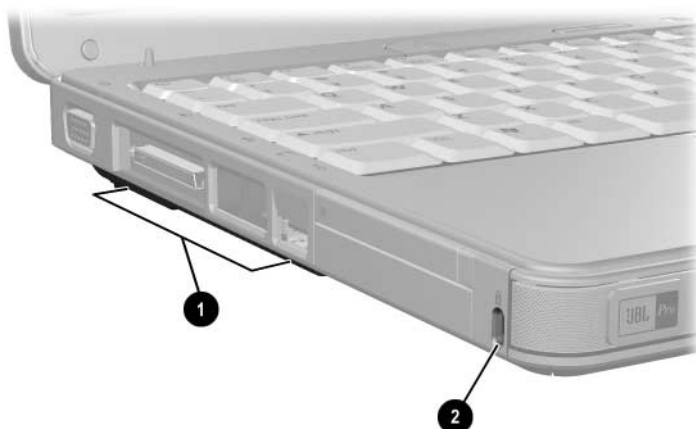
†ノートブック コンピュータには、3つのUSBポートがあります。他のUSBポートは、コンピュータの右側面にあります。

## PCカード スロットおよびボタン



名称	機能
① PCカード スロット	別売のType I、Type II 32ビット（CardBus）および16ビットのPCカードを挿入します
② PCカード イジェクト ボタン	別売のPCカードをPCカード スロットから取り出します

## 通気孔およびセキュリティ ロック ケーブル用スロット



名称	機能
① 排気孔*	<p>コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>△ 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕、厚手のじゅうたん、衣服などのように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりするのは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください</p>
② セキュリティ ロック ケーブル用スロット	<p>別売のセキュリティ ロック ケーブルでノートブックコンピュータを固定物に接続することによって、盗難を防止します</p> <p>✎ セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません</p>

\*ノートブック コンピュータには、4つの通気孔があります。この通気孔およびその他のすべての通気孔は、コンピュータの底面から見えます。このうち1つは、コンピュータの背面からも見えます。

## 右側面の各部



名称	機能
① USBポート (×2) *	別売のUSBデバイスを接続します
② 1394ポート	スキャナ、デジタル カメラ、またはデジタル ビデオカメラなど、別売の1394aデバイスを接続します
③ 6-in-1メディア スロット	別売のデジタル メモリ カードを挿入します†
④ 6-in-1メディア スロット ランプ	別売のデジタル メモリ カードにアクセスしているときに点灯します
⑤ オプティカル ドライブ‡	オプティカル ディスクを挿入します
⑥ Sビデオ出力コネクタ	テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、プロジェクタ、ビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を接続します

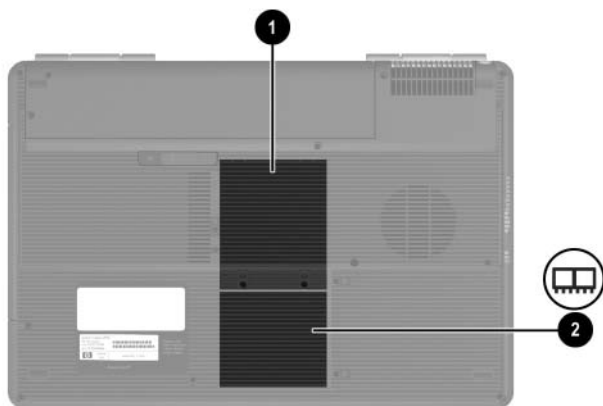
\*このノートブック コンピュータには、3つのUSBポートがあります。他のUSBポートは、コンピュータの左側面にあります。

†デジタル メモリ カードには、SD (Secure Digital) カード、メモリ スティック、メモリ スティック PRO、xD ピクチャ カード、マルチメディア カード、SM (SmartMedia) カードなどが含まれます。

‡CDドライブ、DVDドライブ、CD/DVDコンボドライブなど、搭載されているオプティカルドライブの種類はモデルによって異なります。

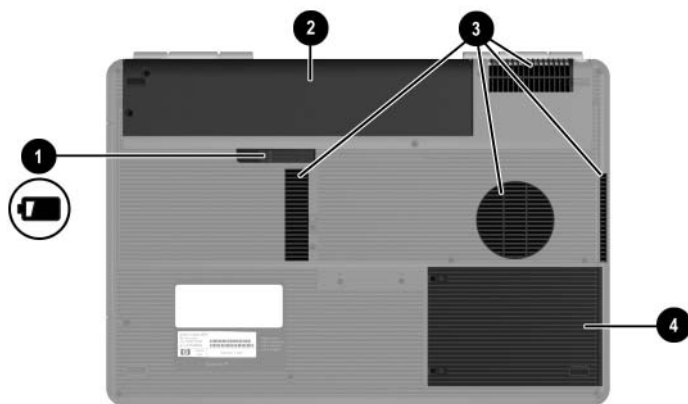
## 底面の各部

### ミニPCIおよびメモリ コンパートメント



名称	機能
① ミニPCIコンパートメント	別売の無線LANデバイスを装着します  △ 注意：システムが反応しなくなったりエラーメッセージが表示されたりすることを防ぐために、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのノートブック コンピュータ用に認定されたミニPCIデバイスのみを取り付けるようにしてください。サポートされていないデバイスを取り付けたときにエラー メッセージが表示される場合は、デバイスを取り外してコンピュータを元の状態に戻してから、サポート窓口にお問い合わせください
② メモリ コンパートメント	交換可能なメモリ モジュールを挿入するメモリ スロットが2基装備されています。あらかじめ取り付けられているメモリ モジュールの数は、モデルによって異なります

## ベイ、バッテリー ラッチおよび通気孔



名称	機能
① バッテリー パックリリース ラッチ	バッテリー ベイからバッテリー パックを取り外すときに使用します*
② バッテリー ベイ	バッテリー パックを装着します
③ 排気孔 (×4) †	<p>コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>△ 注意: コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕、厚手のじゅうたん、衣服などのように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりするのは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください</p>
④ ハードドライブ ベイ	内蔵ハードドライブを装着します

\*バッテリー パックの種類は、モデルによって異なります。

†ノートブック コンピュータには、4つの通気孔があります。コンピュータの左側面および背面からも、通気孔が1つずつ見えます。

## その他のコンポーネント

### ハードウェア

お使いのノートブック コンピュータに付属するコンポーネントは、地域、国、コンピュータのモデル、および別途購入したハードウェアの構成によって異なります。ここでは、ほとんどのモデルのコンピュータに標準装備されているコンポーネントについて説明します。



名称	機能
① ACアダプタ	AC電源をDC電源に変換します
② 電源コード*	ACアダプタと電源コンセントを接続します
③ バッテリ パック *	ノートブック コンピュータが外部電源に接続されていないときに、コンピュータに電力を供給します
④ モデム ケーブル*	モデムをRJ-11モデム コネクタまたは各国仕様のモデム アダプタに接続するときに使用します

\*電源コードおよびモデム ケーブルは、地域や国によって外観が異なります。バッテリーパックの種類は、モデルによって異なります。



## オプティカル ディスク

ノートブック コンピュータのすべてのモデルには、ソフトウェアが収録されたCDやDVDなどのオプティカル ディスクが付属しています。

- 『コンピュータの準備』と一緒に包装されているソフトウェア アプリケーションは、ノートブック コンピュータにはプリインストールされていません。コンピュータの使用方法に応じて、これらのアプリケーションの一部またはすべてをインストールすることができません。
- 『ヘルプおよびサポート ガイド』と一緒に包装されているソフトウェア アプリケーションは、ノートブック コンピュータにプリインストールまたはプリロードされています。ソフトウェアが収録されているディスクは、ソフトウェアの修復または再インストールを行う場合に使用します。
  - 『ヘルプおよびサポート ガイド』と一緒に包装されているディスクには、オペレーティング システムおよびドライバのリカバリ ソフトウェアが収録されています。アプリケーションのリカバリ ソフトウェアは、一部のモデルにのみ付属しています。
  - Notebook Documentation CD（ノートブック ドキュメンテーションCD）も『ヘルプおよびサポート ガイド』と一緒に包装されており、ソフトウェアではなくAdobe® Acrobat® PDFファイルが収録されています。Notebook Documentation CDに収録されているファイルは、ノートブック コンピュータにプリインストールまたはプリロードされていません。

リカバリ ソフトウェア、Notebook Documentation CD、およびソフトウェア（プリロードされているソフトウェアも含む）のインストール手順について詳しくは、ノートブック コンピュータに付属の印刷物の『ヘルプおよびサポート ガイド』を参照してください。『ヘルプおよびサポート ガイド』は、Notebook Documentation CDにも収録されています。

## ラベル

ノートブック コンピュータに付いているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピュータを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ: ノートブック コンピュータの製品名、製品番号 (P/N)、およびシリアル番号 (S/N) が記載されています。製品番号およびシリアル番号は、サポート窓口にお問い合わせるときに必要です。サービス タグ ラベルは、ノートブック コンピュータの裏面に付いています。サービス タグに記載されている情報をコンピュータの画面に表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
- Microsoft Certificate of Authenticity : Microsoft Windows のプロダクトキー (Product Key、Product ID) が記載されています。プロダクトキーは、オペレーティング システムのアップデートまたは問題解決のときに必要になる場合があります。このラベルは、ノートブック コンピュータの裏面に付いています。
- 規定ラベル: ノートブック コンピュータの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリー ベイの内側に付いています。
- モデム認定/認証ラベル: モデムの規定に関する情報、および各国でのモデムの認定/認証マークや番号の一覧が記載されています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。モデム認定/認証ラベルは、メモリ コンパートメントカバーの内側に付いています。
- 無線認定/認証ラベル: ノートブック コンピュータの一部のモデルには、オプションの無線LANデバイスやBluetooth®デバイスが付属しています。お使いのコンピュータに1つ以上の無線デバイスが付属している場合は、それぞれのデバイスの規定に関する情報、および各国でのデバイスの認定/認証マークや番号の一覧が記載されたラベルが付いています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、ミニPCIコンパートメント カバーの内側に付いています。

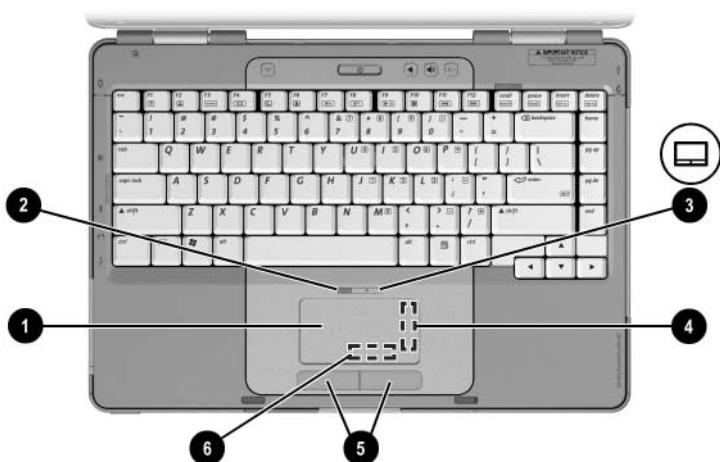
## キーボード

### タッチパッド

#### タッチパッドのコンポーネントの位置

タッチパッドには、以下のコンポーネントがあります。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| ① タッチパッド     | ④ タッチパッド垂直スクロール領域 |
| ② タッチパッドランプ  | ⑤ 左右のタッチパッド ボタン   |
| ③ タッチパッド ボタン | ⑥ タッチパッド水平スクロール領域 |



## タッチパッドの使用

タッチパッドでは、移動、選択、およびスクロール機能など、別売の外付けマウスと同じ機能を使用できます。タッチパッドの操作方法は次のとおりです。

- ポインタを移動するには、タッチパッドの表面で、ポインタを移動したい方向に指を動かします。
- 外付けマウスの左右のボタンのクリック機能を実行するには、左右のタッチパッド ボタンを押します。
- 画面をスクロールするには、スクロール領域に指を置いてから、スクロールする方向に指をスライドさせます。タッチパッドからスクロール領域へ指を動かすときは、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール領域に指を置かないと、スクロール領域はアクティブになりません。
- タッチパッドの有効/無効を切り替えるには、タッチパッド ボタンを押します。タッチパッドが有効になっているときは、タッチパッドランプが点灯します。

ノートブック コンピュータの電源投入時には、タッチパッドは有効になっています。マウスよりキーボードを使用することが多いユーザの場合は、タッチパッドの予期しない動作を防ぐために、タッチパッドを無効に設定しておくことをお勧めします。

## タッチパッドの設定

Windowsの[マウスのプロパティ]では、次の機能を設定できます。

- クリックの速度、ポインタの速度と形状、およびマウスの軌跡など、基本的なポインティング デバイス設定の調整
- 左右のタッチパッド ボタンの、右利き用または左利き用への設定。これらのボタンは、デフォルトで右利き用に設定されています。

[マウスのプロパティ] ウィンドウにアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。



ノートブック コンピュータのマニュアル内にある、Windowsに関するすべての手順はWindows XPでの操作方法で説明されており、Windows XPでデフォルトで使用されるカテゴリ表示を基にしています。Windows XPのクラシック表示とカテゴリ表示を切り替える方法については、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[コンピュータをカスタマイズする]→[ファイル、フォルダ、およびプログラム]→[従来のWindows フォルダを使う]の順に選択してください。

[デバイス設定] ウィンドウでは、タッチパッドの詳細設定にアクセスできます。

- » [デバイス設定] ウィンドウにアクセスするには、タッチパッドを使用して[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]→[デバイス設定]の順に選択し、次に[設定] ボタンを選択します。(別売の外付けマウスを使用してこの手順を行った場合、[デバイス設定] ウィンドウが表示されないことがあります。)

[デバイス設定] ウィンドウでは、次の機能を設定できます。

- タッチパッドのタップ: タッチパッドを1回タップすると項目を選択し、2回タップすると項目をダブルクリックするように設定できます。

タッチパッドのタップの設定にアクセスするには、[タップ]を選択します。

- エッジ モーション: 指をタッチパッドの端まで移動してもカーソルが動きつづけるようにタッチパッドを設定できます。

エッジ モーションの設定にアクセスするには、[ポインタの動作]を選択します。

- 長距離のスクロール: 指をスクロール領域の端まで移動してもスクロールし続けるように、スクロール領域を設定できます。

長距離のスクロールにアクセスするには、[パーチャル スクロール]を選択します。

- パーム チェック: キーボードの使用中に、タッチパッドが誤ってアクティブにならないように設定できます。

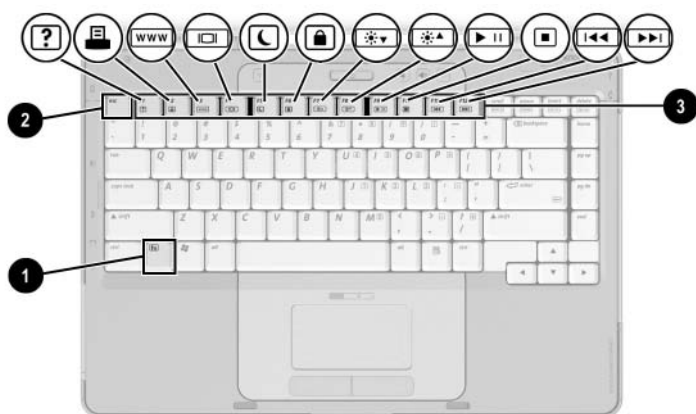
パーム チェックにアクセスするには、[感度]を選択します。

## ホットキー

### ホットキーの位置

ホットキーは、[fn]キー❶、[esc]キー❷、およびファンクション キー❸の組み合わせです。

ホットキーの機能は、[f1]～[f12]のファンクション キーにアイコンで示されています。ここでは、ホットキーの機能および操作について説明します。



次の表に、デフォルトでのホットキーの機能を示します。**[fn]+[f5]**ホットキーの機能は変更できます。詳しくは、「[第3章 電源](#)」の「[その他の電源の設定](#)」を参照してください。

デフォルト機能	ホットキー
[ヘルプとサポート センター]を開く	[fn]+[f1]
印刷オプションのウィンドウを開く	[fn]+[f2]
デフォルトのインターネット ブラウザを開く	[fn]+[f3]
表示画面の切り替え	[fn]+[f4]
スタンバイの起動	[fn]+[f5]
QuickLock（クイックロック）の起動	[fn]+[f6]
画面の輝度を下げる	[fn]+[f7]
画面の輝度を上げる	[fn]+[f8]
オーディオCDやDVDの再生、一時停止、または再開	[fn]+[f9]
オーディオCDやDVDの停止	[fn]+[f10]
オーディオCDやDVD内の前のトラックまたはチャプタの再生	[fn]+[f11]
オーディオCDやDVD内の次のトラックの再生	[fn]+[f12]
システム情報の表示*	[fn]+[esc]
*システム情報の表示を消すには、[esc]キーを押します。	



## ホットキーの使用手順

### 内蔵キーボードでのホットキーの使用

ノートブック コンピュータのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、次のどちらかの手順を使用します。

- [fn]キーを短く押し、次にホットキー コマンドの2番目のキーを短く押します。
- [fn]キーを押しながら、ホットキー コマンドの2番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

### 外付けキーボードでのホットキーの使用

外付けキーボードでホットキー コマンドを使用するには、[scroll lock] キーを2回押してから、ホットキーの2番目のキーのみを押します。たとえば、外付けキーボードで[fn]+[f5]コマンドを使用するには、[scroll lock]+[scroll lock]+[f5]キーを押します。

## ホットキー コマンドの使用

### [ヘルプとサポート センター]を開く ([fn]+[f1])

[fn]+[f1]ホットキーを使用して、[ヘルプとサポート センター]を開くことができます。

[ヘルプとサポート センター]では、お使いのオペレーティング システムに関する情報の他に、次の情報についても説明しています。

- お使いのノートブック コンピュータについての情報（モデル名やシリアル番号、インストールされているソフトウェア、ハードウェアコンポーネント、仕様など）
- ノートブック コンピュータの使用方法に関する質問への回答
- ノートブック コンピュータの使用法およびオペレーティング システムの機能について学ぶことができるチュートリアル
- お使いのノートブック コンピュータ用のオペレーティング システム、ドライバ、およびソフトウェアのアップデート

- ノートブック コンピュータの機能のチェック
- 対話形式による自動的なトラブルの解決方法、修復方法、およびシステムの復元手順
- のサポート担当者へのリンク

[ヘルプとサポート センター]には、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してアクセスすることもできます。

## [印刷]ウィンドウを開く ([fn]+[f2])

Windowsで[fn]+[f2]ホットキーを押すと、アクティブなWindowsアプリケーションの印刷オプションのウィンドウを開くことができます。

## Internet Explorerを開く ([fn]+[f3])

[fn]+[f3]ホットキーを押すと、Internet Explorerを起動できます。

- インターネットまたはネットワーク サービスのセットアップが完了するまでは、[fn]+[f3]ホットキーを押すと Windowsのインターネット接続ウィザードが起動します。このウィザードのおよびその他のインターネット接続の使用方法については、お使いのノートブックコンピュータに付属の印刷物の『コンピュータの準備』を参照してください。
- インターネットまたはネットワーク サービスと Webブラウザのホームページをセットアップした後は、[fn]+[f3]ホットキーを使用して ホーム ページおよびインターネットにすばやくアクセスできます。

## 表示画面の切り替え ([fn]+[f4])

[fn]+[f4]ホットキーを押すと、システムに接続されているディスプレイデバイスの間で表示画面を切り替えることができます。たとえば、モニターポートを通して別売のモニタをノートブック コンピュータに接続している場合は、[fn]+[f4]ホットキーを複数回押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイ、モニタのディスプレイの順序で表示画面が切り替わります。

ほとんどのモニタは、外部VGA ビデオ方式を使ってノートブック コンピュータからビデオ情報を受け取ります。[fn]+[f4]ホットキーでは、外部VGA以外の方式を使用するデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

次の3つのビデオ伝送方式が[fn]+[f4]ホットキーでサポートされます。かつこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（ノートブック コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外部VGA（ほとんどのモニタ）
- Sビデオ（Sビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャ ボード）

## スタンバイの起動 ([fn]+[f5])

[fn]+[f5]ホットキーは、スタンバイを起動するようにデフォルトで設定されています。

スタンバイが起動すると、作業中のファイルがランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面がクリアされて節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイ ランプおよび電源ボタン ランプが点滅します。

- スタンバイを起動するには、ノートブック コンピュータの電源がオンになっている必要があります。コンピュータがハイバネーション状態の場合は、スタンバイを起動する前にハイバネーションから復帰する必要があります。
- スタンバイまたはハイバネーションから復帰するには、電源ボタンを短く押します。

スタンバイおよびハイバネーションについて詳しくは、「[第3章 電源](#)」を参照してください。

[fn]+[f5]ホットキーの機能は、オペレーティング システムで変更することができます。たとえば、[fn]+[f5]ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。Windows のすべてのオペレーティング システム ウィンドウでは、「スリープ ボタン」は[fn]+[f5]ホットキーのことを指します。[fn]+[f5]ホットキーの機能の変更方法について詳しくは、「[第3章 電源](#)」の「[その他の電源の設定](#)」を参照してください。

## QuickLock（クイックロック）の起動（[fn]+[f6]）

[fn]+[f6]ホットキーを押すと、QuickLockのセキュリティ機能を起動できます。

QuickLockは、オペレーティング システムのログオン ウィンドウを表示することで作業中のデータを保護します。ログオン ウィンドウが表示されている間は、Windowsユーザ パスワードまたは管理者パスワードが入力されるまで、ノートブック コンピュータにアクセスできません。

QuickLock機能を使用する前に、Windowsユーザ パスワードまたは管理者パスワードを設定しておく必要があります。詳しくは、[ヘルプとサポート センター]を参照してください。[ヘルプとサポート センター]にアクセスするには、[fn]+[f1]ホットキーを押すか、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

» QuickLockを使用するには、[fn]+[f6]ホットキーを押してログオン画面を表示させ、ノートブック コンピュータをロックします。次に、画面の指示に従ってWindowsのユーザ パスワードまたは管理者パスワードを入力してコンピュータにアクセスします。

WindowsのパスワードとHPのパスワードの組み合わせについては、「[第6章 セキュリティ](#)」の「[HPパスワードとWindowsのパスワード](#)」を参照してください。

## 輝度を下げる（[fn]+[f7]）

[fn]+[f7]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータの画面の輝度を下げることができます。[fn]+[f7]ホットキーを長く押し続けるほど、画面が暗くなります。画面の輝度を下げると、電力を節約できます。

» 画面の輝度を上げるには、[fn]+[f8]ホットキーを押します。

## 輝度を上げる ([fn]+[f8])

[fn]+[f8]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータの画面の輝度を上げることができます。[fn]+[f8]ホットキーを長く押し続けるほど、画面が明るくなります。

» 画面の輝度を下げるには、[fn]+[f7]ホットキーを押します。

## メディア操作ホットキー ([fn]+[f9]から[fn]+[f12])

次の4つのメディア操作ホットキーを押すと、オーディオCDまたはDVDの再生や停止を制御できます。ビデオCDを操作する場合は、ビデオCDプレーヤーのコントロールを使用します。

### オーディオCDまたはDVDの再生、一時停止、または再開 ([fn]+[f9])

- オーディオCDまたはDVDが再生されていないときに[fn]+[f9]ホットキーを押すと、再生できます。
- オーディオCDまたはDVDを再生しているときに[fn]+[f9]ホットキーを押すと、一時停止できます。

### オーディオCDまたはDVDの停止 ([fn]+[f10])

[fn]+[f10]ホットキーを押すと、再生中のオーディオCDまたはDVDを停止できます。

再生中のCDまたはDVDは、オプティカル ドライブから取り出す前に停止する必要があります。CDやDVDの挿入または取り出しについて詳しくは、「第4章 マルチメディア」の「ディスクの挿入または取り出し」を参照してください。

### オーディオCDまたはDVD内の前のトラックまたはチャプタの再生 ([fn]+[f11])

[fn]+[f11]ホットキーを押すと、再生中のオーディオCDまたはDVD内で直前に再生していたトラックまたはチャプタを再生できます。

### オーディオCDまたはDVD内の次のトラックまたはチャプタの再生 ([fn]+[f12])

[fn]+[f12]ホットキーを押すと、再生中のオーディオCDまたはDVD内の次のトラックまたはチャプタを再生できます。

### システム情報の表示 ([fn]+[esc])

[fn]+[esc]ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやソフトウェアのバージョン番号に関する情報が表示されます。

» 画面をクリアするには、[esc]キーを押します。

[fn]+[esc]ホットキーで表示される画面では、システムBIOS (Basic Input Output System) のバージョンはBIOSの日付として表示されます。ノートブック コンピュータのモデルによっては、BIOSの日付は小数点で区切られた形式で表示されます。BIOSの日付は、システムROMのバージョン番号とも呼ばれます。システムROMのアップデートについては、「[第8章 ソフトウェアの更新と修復およびシステム ソフトウェア](#)」の「[ソフトウェアの更新](#)」を参照してください。

## テンキー

ノートブック コンピュータでテンキーを使用する場合は、コンピュータに内蔵のものまたは接続した外付けテンキーを使用します。コンピュータに内蔵されているテンキーは、内蔵テンキーと呼ばれます。

外付けテンキーがノートブック コンピュータに接続されている間は、内蔵テンキーは使用できません。

## 内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーは15個のキーで構成されており、外付けテンキーと同じように使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの右上隅にあるアイコンで示された機能が実行されます。

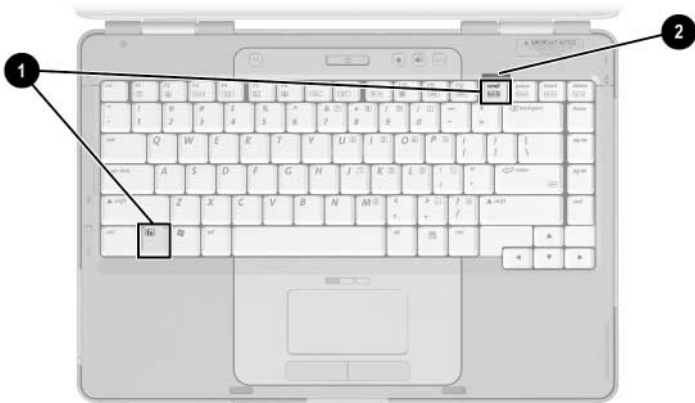




## 内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーが無効になっているときは、[fn]+[num lk]キー❶を押して有効にします。Num Lockランプ❷が点灯します。

内蔵テンキーが有効になっているときは、[fn]+[num lk]キーを押して無効にします。Num Lockランプが消灯します。



## テンキーの機能の切り替え

内蔵テンキーの通常の機能とテンキー機能は、一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときにテンキー機能を使用するには、[fn]キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに通常のキー機能を使用するには、次の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、[fn]キーを押しながら文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、[fn]+[Shift]キーを押しながら文字を入力します。

[fn]キーを離すと、テンキーは切り替える前の機能に戻ります。たとえば、テンキーがオンのときはテンキー機能に戻り、テンキーがオフのときは通常の機能に戻ります。

## 外付けテンキーの使用

---



別売の外付けテンキーがノートブック コンピュータに接続されている間は、内蔵テンキーは有効になりません。

---

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lockモードがオンのときとオフのときとで機能が異なります。たとえば、次のようになります。

- Num Lockモードがオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lockモードがオフのときは、矢印キー、[page up]キー、[page down]キーと同様に機能します。

## 作業中のNumLockモードの切り替え

使用中の外付けテンキーのNum Lockモードのオンとオフを切り替えるには、ノートブック コンピュータではなく、外付けテンキーの[num lk]キーを押します。

- 外付けテンキーが有効でNum Lockモードがオンのときは、ノートブック コンピュータのNum Lockランプが点灯します。
- 外付けテンキーが無効のとき、または有効でNum Lockモードがオフのときは、ノートブック コンピュータのNum Lockランプが消灯します。

## 電源

### 電源の選択

以下の表を使用して、ノートブックコンピュータの使用方法ごとに推奨される電源を選択します。

作業	推奨される電源
一般的なソフトウェアアプリケーションを使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 充電済みのバッテリーパックをノートブックコンピュータに装着します</li> <li>■ 次の機器の1つから外部電力を供給します               <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ACアダプタ</li> <li><input type="checkbox"/> 拡張ベース（別売）</li> <li><input type="checkbox"/> カー/ACアダプタ/チャージャ（別売）</li> <li><input type="checkbox"/> カーアダプタ/チャージャ（別売）</li> </ul> </li> </ul>
ノートブックコンピュータのバッテリーパックを充電または調整する	<p>次の機器の1つから外部電力を供給します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACアダプタ</li> <li>■ 拡張ベース（別売）</li> <li>■ カーアダプタ/チャージャ（別売）</li> <li>■ カー/ACアダプタ/チャージャ（別売）</li> </ul> <p>△ 注意：ノートブックコンピュータおよび航空機の電子システムの損傷を防ぐため、航空機内でカー/ACアダプタ/チャージャを使用しているときはバッテリーパックを充電しないでください</p>
システムソフトウェアをインストールまたは変更する、またはオプティカルディスクに書き込む	<p>次のどちらかの機器から外部電力を供給します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACアダプタ</li> <li>■ 拡張ベース（別売）</li> </ul>

## バッテリー電源と外部電源の切り替え

ノートブック コンピュータでは、外部電源が利用できる場合は常に外部電源が利用されます。これにより、装着されているバッテリー パックの電力の消費が抑えられます。外部電源は、ACアダプタ、別売の拡張ベース、カー /ACアダプタ/チャージャ、またはカー アダプタ/チャージャを使用して供給されます。

ノートブック コンピュータでは、外部電源が利用できるかどうかによって外部電源とバッテリー電源が自動的に切り替わるため、以下のようになります。

- ノートブック コンピュータがバッテリー電源で動作しているときに外部電源に接続した場合、コンピュータは外部電源による動作に切り替わります。
- ノートブック コンピュータに充電済みのバッテリー パックが装着されており、外部電源を使用しているときに外部電源から切断した場合、コンピュータはバッテリー電源による動作に切り替わります。

[電源メーター]アイコンは、デフォルトでタスクバーに表示されます。このアイコンは、バッテリー電源と外部電源のどちらで動作しているかによって形が変わります。

[電源メーター]アイコンがタスクバーに表示されていない場合は、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [アイコンをタスクバーに常に表示する]チェック ボックスをオンにします。
4. [OK]ボタンを選択します。

## 電源ボタン類とランプの位置

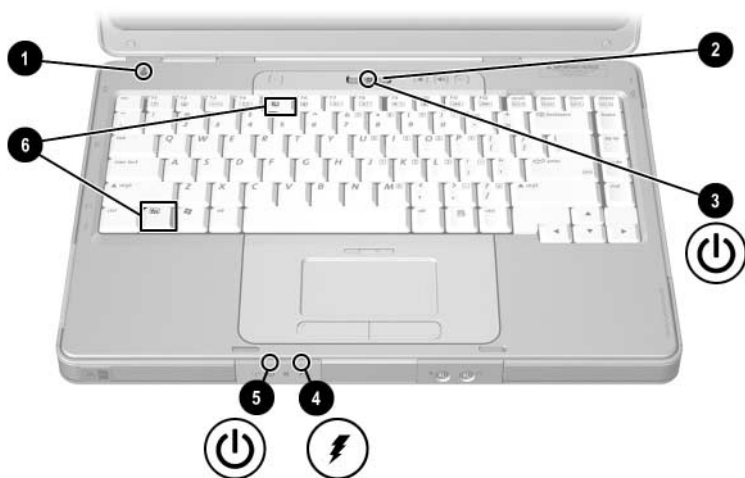
下の図に、ノートブック コンピュータの電源ボタン類およびランプの位置を示します。

電源ボタン類およびランプの個々の機能については、「[第1章 ハードウェア](#)」で説明しています。これらの使用方法については、この章で説明します。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| ① ディスプレイ スイッチ | ④ バッテリ ランプ       |
| ② 電源ボタン       | ⑤ 電源/スタンバイ ランプ   |
| ③ 電源ボタン ランプ   | ⑥ [fn]+[f5]ホットキー |



電源ボタン ランプと電源/スタンバイ ランプは同じ情報を通知します。電源ボタン ランプはコンピュータを開いているときにのみ見えます。電源/スタンバイ ランプはコンピュータを閉じたときにも見えます。



## スタンバイ、ハイバネーション、およびシャットダウンの概要

### スタンバイ

スタンバイは、使用されていないシステム コンポーネントへの電力供給を少なく抑えます。スタンバイが起動されると、データがランダム アクセス メモリ (RAM) に保存されて画面がクリアされ、電源/スタンバイランプおよび電源ボタン ランプが点滅します。通常、スタンバイを起動する前にデータを保存する必要はありませんが、念のため保存しておくことをお勧めします。ユーザがスタンバイから復帰すると、作業が元通りに画面に表示されます。

ノートブック コンピュータを操作しないまま、バッテリー電源で動作している場合は10分間、外部電源で動作している場合は25分間経過するとスタンバイが起動するように、デフォルトで設定されています。これらの設定を変更する方法については、この章の「[電源設定の使用](#)」を参照してください。

### ハイバネーション



**注意：**ハイバネーションの起動中に、ノートブック コンピュータのシステムのコンフィギュレーションを変更すると、ハイバネーションから復帰できなくなることがあります。ハイバネーションの起動中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- メモリ モジュールを着脱しないでください。
  - ハードドライブを着脱しないでください。
  - 外付けデバイスを取り付けたり取り外したりしないでください。
  - CD、DVD、PCカード、またはデジタル メモリ カードを挿入したり取り出したりしないでください。
-

ハイバネーションを起動するとデータがハードドライブのハイバネーションファイルに保存され、ノートブック コンピュータがシャットダウンされます。ハイバネーションが完了すると、電源/スタンバイ ランプおよび電源ボタン ランプが消灯します。

ハイバネーションから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。ハイバネーションからの復帰には、スタンバイからの復帰よりも多少時間がかかりますが、ノートブック コンピュータを再起動して手動で元の状態に戻すよりもはるかに短時間で済みます。

ノートブック コンピュータがハイバネーション状態になっているか、電源が切断されているかを確認するには、電源ボタンを押します。

■ ノートブック コンピュータがハイバネーション状態になっている場合、作業が画面に戻されます。

■ ノートブック コンピュータの電源が切断されている場合、Windowsがロードされます。

ノートブック コンピュータがバッテリー電源で動作している場合、コンピュータを使用しないまま30分経過するかバッテリー パックが完全なローバッテリー状態になると、ハイバネーションが起動します。

ハイバネーションはデフォルトで有効に設定されていますが、無効に設定することもできます。完全なローバッテリー状態になったときにデータの損失を防ぐには、バッテリー ゲージを調整するときのみハイバネーションを無効に設定するようにします。

» ハイバネーションが有効に設定されていることを確認するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。ハイバネーションが有効に設定されている場合は、[休止状態を有効にする]チェック ボックスがオンになっています。

## 作業の中断

**作業をすぐに再開する場合：**作業の中断が短時間の場合はスタンバイを起動し、長時間の場合または節電する場合はハイバネーションを起動します。

バッテリーパックがスタンバイまたはハイバネーションをサポートできる期間および充電状態を保てる期間は、ノートブックコンピュータのコンフィギュレーションおよびバッテリーパックの状態により異なります。スタンバイはハイバネーションよりも多くの電力を消費します。

**2週間以内に作業を再開する場合：**ノートブックコンピュータの電源を切ります。可能な場合は、コンピュータを外部電源に接続して、装着されているバッテリーパックを完全に充電された状態にします。

**2週間以上ノートブックコンピュータを外部電力に接続しない場合：**ノートブックコンピュータの電源を切ります。装着されているバッテリーパックの寿命を延ばすには、バッテリーパックを取り外して気温や湿度の低い場所に保管します。

**外部電力の供給が不安定な場合：**作業中のデータを保存して、ハイバネーションを起動するかノートブックコンピュータの電源を切ります。雷の発生およびバッテリーパックの残量の減少などにより、外部電力の供給が不安定になる場合があります。



## ドライブ メディアへの干渉

再生の停止または再生品質の低下を防ぐため、ドライブ メディアの再生中はスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

CDやDVDなどのドライブ メディアの使用中に誤ってスタンバイまたはハイバネーションを起動した場合、[コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示されます。警告が表示された場合は、[いいえ]を選択します。[いいえ]を選択すると、次のことが発生します。

- 再生が再開されます。

または


- 再生が停止して画面がクリアされます。元の画面に戻るには、電源ボタンを押してからディスクを再生しなおします。

## スタンバイ、ハイバネーション、および電源切断の手順

ここではデフォルトのスタンバイ、ハイバネーション、および電源切断の手順について説明します。ノートブック コンピュータの一部の電源ボタン類の機能変更については、この章の「[電源の設定](#)」を参照してください。

この章の「[電源ボタン類とランプの位置](#)」には、ここで説明している電源ボタン類およびランプが図で示されています。


### ノートブック コンピュータの電源の投入または切断

操作	手順	結果
ノートブック コンピュータの電源を入れる	<p>電源ボタンを押します</p> <p> 電源ボタンを押すと、スタンバイ、ハイバネーション、またはシャットダウンから、ノートブック コンピュータの電源が入った状態に復帰します</p>	<p>■ 電源/スタンバイ ランプ および電源ボタン ランプ が点灯します</p> <p>■ オペレーティング システムがロードされます</p>
ノートブック コンピュータの電源を切る	<p>■ Windows XP Homeをお使いの場合：[スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]の順に選択します*</p> <p>■ Windows XP Professionalをお使いの場合：[スタート]→[終了オプション]→[シャットダウン]→[OK]の順に選択します*†</p>	<p>■ 電源/スタンバイ ランプ および電源ボタン ランプ が消灯します</p> <p>■ オペレーティング システムが終了します</p> <p>■ ノートブック コンピュータの電源が切れます</p>

\*システムが応答せず、この手順でノートブック コンピュータの電源を切ることができない場合は、この章の「[緊急停止手順の使用](#)」を参照してください。

†接続しているネットワークによっては、[終了オプション]ボタンは[シャットダウン]ボタンと呼ばれる場合があります。

## スタンバイからの復帰または起動

操作	手順	結果
スタンバイの起動	<p>ノートブック コンピュータの電源が入った状態で、以下のどれかの操作を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [fn]+[f5]ホットキーを押します</li> <li>■ ノートブック コンピュータを閉じます</li> <li>  ノートブック コンピュータを閉じると、ディスプレイ スイッチがディスプレイに押されて作動し、スタンバイが起動します </li> <li>■ Windows XP Homeをお使いの場合：[スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順に選択します</li> <li>■ Windows XP Professionalをお使いの場合：[スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]→[OK]の順に選択します（[スタンバイ]オプションが表示されない場合は、下向きの矢印をクリックして、ドロップダウン リストから[スタンバイ]を選択します）*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源/スタンバイ ランプおよび電源 ボタンランプが点滅します</li> <li>■ 画面がクリアされます</li> </ul>
システムによるスタンバイの起動	<p>操作は必要ありません。次の場合に、スタンバイが起動します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ バッテリー電源での動作中に、10分間ノートブック コンピュータを使用していない場合</li> <li>■ 外部電源での動作中に、25 分間ノートブック コンピュータを使用していない場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源/スタンバイ ランプおよび電源 ボタンランプが点滅します</li> <li>■ 画面がクリアされます</li> </ul>
スタンバイからの復帰	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源ボタンを短く押しますまたは</li> <li>■ ノートブック コンピュータを開きます†</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源/スタンバイ ランプおよび電源 ボタンランプが点灯します</li> <li>■ 画面が元の状態に戻ります</li> </ul>

\*接続しているネットワークによっては、[終了オプション]ボタンは[シャットダウン]ボタンと呼ばれる場合があります。

†ノートブック コンピュータの設定によっては、別売のマウスのボタンを動かしたりアクティブにしたりすることでも、スタンバイから復帰できます。また、スタンバイ中にコンピュータを閉じていた場合は、ディスプレイを開くとスタンバイから復帰できます。

## ハイバネーションからの復帰または起動

ハイバネーションは、有効になっていないと起動しません。ハイバネーションはデフォルトで有効になっています。ハイバネーションが有効に設定されていることを確認するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。ハイバネーションが有効に設定されている場合は、[休止状態を有効にする]チェック ボックスがオンになっています。

操作	手順	結果
ハイバネーションの起動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Windows XP Homeをお使いの場合：[スタート]→[終了オプション]の順に選択します。次に、[shift]キーを押したまま[スタンバイ]ボタンを選択します</li> <li>■ Windows XP Professionalをお使いの場合：[スタート]→[終了オプション]→[休止状態]の順に選択します（[休止状態]オプションが表示されない場合は、下向きの矢印をクリックして、ドロップダウン リストから[休止状態]を選択します）*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイランプおよび電源ボタン ランプが消灯します</li> <li>■ 画面がクリアされます</li> </ul>
システムによるハイバネーションの起動	<p>操作は必要ありません。ノートブック コンピュータがバッテリー電源で動作しており、ハイバネーションが有効になっている場合は、次のときにハイバネーションが起動します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 30分間ノートブック コンピュータを使用していないとき</li> <li>■ 装着されているバッテリー パックが完全なローバッテリー状態になったとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイランプおよび電源ボタン ランプが消灯します</li> <li>■ 画面がクリアされます</li> </ul>
ハイバネーションからの復帰	電源ボタンを押します†	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源 / スタンバイランプおよび電源ボタン ランプが点灯します</li> <li>■ 画面が元の状態に戻ります</li> </ul>

\*接続しているネットワークによっては、[終了オプション]ボタンは[シャットダウン]ボタンと呼ばれる場合があります。

†完全なローバッテリー状態からハイバネーションが起動された場合は、外部電源に接続するか充電済みのバッテリー パックを装着してから電源ボタンを押します。消耗したバッテリー パックのみを電源として使用すると、システムが応答しない場合があります。

## 緊急停止手順の使用

ノートブック コンピュータがWindowsの通常のシャットダウン手順 ([スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]) に応答しない場合は、記載されている順に次の緊急停止手順を試みてください。

- [ctrl]+[alt]+[delete]キーを押してから、以下の手順で操作します。
  - Windows XP Homeをお使いの場合 : [シャットダウン]→[電源を切る]の順に選択します。
  - Windows XP Professionalをお使いの場合 : [シャットダウン]を選択し、ドロップダウン リストから[シャットダウン]を選択してから[OK]を選択します。
- 電源ボタンを4秒間以上押し続けます。
- ノートブック コンピュータを外部電源から切断して、バッテリー パックを取り外します。バッテリー パックを取り外す方法については、この章の「[バッテリー パックの交換](#)」を参照してください。

## 電源の設定

### 電源設定の使用

電源設定では、ノートブック コンピュータが外部電源またはバッテリー電源で動作しているときの電力の使用量を調節できます。また、コンピュータでスタンバイまたはハイバネーションが起動するまでの時間を設定することもできます。

- » すでに設定されている電源設定を選択したり、電源設定をカスタマイズしたりするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択してから、画面の指示に従います。

### スタンバイ パスワードの設定

スタンバイから復帰するときにパスワードの入力画面を表示させるようにするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[詳細設定]タブの順に選択します。次に、[コンピュータのスリープ ボタンを押したとき]チェック ボックスをオンにしてから[OK]を選択します。その他のパスワードおよびセキュリティ機能については、「[第6章 セキュリティ](#)」を参照してください。

### その他の電源の設定

電源ボタン、[fn]+[f5]ホットキー、およびディスプレイ スイッチの機能は変更することができます。

デフォルトでは、ノートブック コンピュータの電源が入っている状態で、以下の機能を使用できます。

- 電源ボタンを短く押すとハイバネーションが起動します。
- [fn]+[f5]ホットキー（Microsoftオペレーティング システムでは「スリープ ボタン」と呼ばれます）を押すと、スタンバイが起動します。
- ノートブック コンピュータを閉じるとディスプレイ スイッチが押されて作動し、スタンバイが起動します。

電源ボタン、[fn]+[f5]ホットキー、またはディスプレイ スイッチの機能を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[詳細設定]タブの順に選択します。

- 電源ボタンの機能を変更するには、[コンピュータの電源ボタンを押したとき]ドロップダウン リストから、変更する機能を選択します。
- [fn]+[f5]ホットキーの機能を変更するには、[コンピュータのスリープ ボタンを押したとき]ドロップダウン リストから、変更する機能を選択します。
- ディスプレイ スイッチの機能を変更するには、[ポータブル コンピュータを閉じたとき]ドロップダウン リストから、変更する機能を選択します。(これらの機能変更は、ディスプレイを開く場合のディスプレイ スイッチの機能には影響しません。ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときにディスプレイを開くと、ディスプレイ スイッチが作動してコンピュータの電源が入ります。)

2. [OK]を選択します。

[休止状態]機能は、ハイバネーションが有効になっている場合にだけ、電源ボタン、スリープ ボタン、およびディスプレイ スイッチの設定を行うドロップダウン リストに表示されます。[休止状態]機能がドロップダウン リストに表示されていない場合は、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。次に[休止状態を有効にする]チェック ボックスをオンにして、[OK]を選択します。

## バッテリー パック

### バッテリー パックの充電

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、次の点に注意します。

■ 新しいバッテリー パックは次の方法で充電します。

- ACアダプタを使ってノートブック コンピュータを外部電源に接続した状態で、バッテリー パックを充電してください。
- バッテリー パックを充電するときは、完全に充電してください。

■ 使用中のバッテリー パックは次の方法で充電します。

- 通常の使用で完全充電時の約 10 パーセントになるまでバッテリー パックを放電してから充電してください。
- バッテリー パックを充電するときは、完全に充電してください。

ACアダプタ、別売の拡張ベース、カー アダプタ/チャージャ、またはカー /ACアダプタ/チャージャを通してノートブック コンピュータを外部電源に接続している間は、コンピュータに装着されているバッテリー パックが常に充電されます。



**注意:** ノートブック コンピュータおよび航空機の電子システムの損傷を防ぐため、航空機内でカー /ACアダプタ/チャージャを使用しているときはバッテリー パックを充電しないでください。

---

ノートブック コンピュータに装着されているバッテリー パックは、コンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が充電が早く完了します。バッテリー パックが新しいか2週間以上使用されていない場合、またはバッテリー パックの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。



バッテリー ランプは、次のように充電の状態を示します。

- 点灯：バッテリー パックが充電中です。
- 点滅：バッテリー パックがローバッテリー状態になっており、充電されていません。
- 消灯：バッテリー パックが完全に充電されているか、バッテリー パックが取り付けられていません。

バッテリー パック内の電力の残量を確認する方法については、この章の「[バッテリー パックの充電の監視](#)」を参照してください。

## バッテリー パックの充電の監視

### 正確なバッテリー残量の表示

バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、次のことに注意します。

- 通常の使用で完全充電時の約10パーセントになるまでバッテリー パックを放電してから充電してください。
- バッテリー パックを充電するときは、完全に充電してください。少なくとも1回は完全に充電されていないと、新しいバッテリー パックでも不正確な情報が表示されることがあります。
- バッテリー パックを1か月以上使用していなかった場合は、充電ではなくバッテリー ゲージの調整を行います。

バッテリー ゲージの調整については、この章の「[バッテリー ゲージの調整](#)」を参照してください。

## 充電情報の表示

バッテリー充電情報を画面に表示するには、オペレーティング システムの電源メーター機能を使用します。電源メーターを表示するには、以下の手順で操作します。

- [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[詳細設定]タブの順に選択します。

または

- デフォルトでタスク バーに表示されている[電源メーター]アイコンを選択します。デフォルトの設定が変更されていた場合に[電源メーター]アイコンを表示するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[詳細設定]タブの順に選択します。次に[アイコンをタスクバーに常に表示する]チェック ボックスをオンにして、[OK]を選択します。

電源メーターは、パーセントと時間でバッテリーの状態を示します。

- パーセントは、バッテリー パック内の電力の残量を示します。
- 時間は、現在のレベルでバッテリー パックの電力を使い続けた場合にバッテリー パックを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVDの再生を開始すると残り時間は短くなり、DVDの再生を停止すると残り時間は長くなります。

## ローバッテリー状態の対処

ここでは、デフォルトの警告とシステム応答について説明します。デフォルトのバッテリーランプの通知方法は変更できません。その他の通知方法を変更するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択してから、画面の指示に従います。

## ローバッテリー状態の識別

ノートブック コンピュータの電源としてバッテリー パックのみを使用している状態でコンピュータがローバッテリー状態になると、画面に警告が表示され、バッテリー ランプが点滅します。

ローバッテリー状態を解決せず、バッテリー パックのバッテリー残量が減少しつづけると、完全なローバッテリー状態になります。このとき、ノートブック コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態の場合は、次のようになります。

- ハイバネーションが有効に設定されている場合、ハイバネーションが起動します。保存していないデータは失われる可能性があります。
- ハイバネーションが無効に設定されている場合、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。保存していないデータはすべて失われます。

ハイバネーションはデフォルトで有効になっています。ハイバネーションが有効に設定されていることを確認するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。ハイバネーションが有効に設定されている場合は、[休止状態を有効にする]チェック ボックスがオンになっています。

## ローバッテリー状態の解決



**注意：**ハイバネーションから復帰するときのトラブルを防ぐため、ノートブック コンピュータが完全なローバッテリー状態になってハイバネーションが起動している場合は、ハイバネーションが完了するまで電源を入れないでください。ハイバネーションが完了すると、電源/スタンバイランプおよび電源ボタン ランプが消灯します。

ローバッテリー状態を解決するには、次の作業を行います。

- 外部電源が利用できる場合は、ノートブック コンピュータを外部電源に接続します。
- 充電済みのバッテリー パックが利用できる場合は、ノートブック コンピュータの電源を切るかハイバネーションを起動し、充電済みのバッテリー パックを装着してから、コンピュータの電源を入れます。
- 電源が利用できない場合は、作業中のファイルを保存し、ハイバネーションを起動するかノートブック コンピュータの電源を切ります。

## バッテリー ゲージの調整

### バッテリー ゲージの調整が必要な時

バッテリー パックを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上調整を行う必要はありません。また、新しいバッテリー パックを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。

バッテリーゲージの調整によってバッテリーの寿命が延びることはありませんが、バッテリー充電情報の表示の精度を高めることができます。次の場合は特に、バッテリー ゲージの調整が必要です。

- バッテリー パックを1か月以上使用していない場合
- 1 か月以上の間、ノートブック コンピュータを外部電源で使用していた（バッテリー電源をほとんど使用しなかった）場合
- バッテリーの充電情報の表示で、電力の残量を示すパーセントが2分以内に大きく変動した場合。たとえば、電源メーターでの電力の残量表示が2分以内に20パーセントから5パーセントに減少してしまった場合などは、バッテリー ゲージの調整が必要です。

バッテリーの充電情報の表示について詳しくは、この章の「[バッテリー パックの充電の監視](#)」を参照してください。

### バッテリー ゲージの調整方法

バッテリー ゲージを調整するには、バッテリー パックを完全に充電し、完全に放電してから、再び完全に充電します。

## バッテリー パックの充電

バッテリー パックは、ノートブック コンピュータの電源が入っているときに充電します。バッテリー パックを充電するには、以下の手順で操作します。



**注意:** ノートブック コンピュータおよび航空機の電子システムの損傷を防ぐため、航空機内でカー/ACアダプタ/チャージャを使用しているときはバッテリー パックを充電しないでください。

1. バッテリー パックをノートブック コンピュータに装着します。
2. ACアダプタ、カー アダプタ/チャージャ、またはカー /ACアダプタ/チャージャを使用して、ノートブックコンピュータを外部電源に接続します (バッテリー パックの充電中は、バッテリー ランプが点灯します)。
3. バッテリー パックが完全に充電されるまで、ノートブックコンピュータを外部電源に接続しておきます (充電が完了すると、バッテリー ランプが消灯します)。

## バッテリー パックの放電



**注意:** バッテリー パックの放電中にノートブック コンピュータから離れる場合は、データの損失を防ぐため、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。

バッテリー パックの放電中は、ノートブック コンピュータの電源を入れたままにする必要があります。バッテリー パックは、コンピュータを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が放電が早く完了します。

放電中にノートブック コンピュータを使用する予定で、省電力設定を利用している場合、放電処理中はシステムの動作が次のようになります。

- バッテリー パックが完全に放電してノートブック コンピュータの電源が切れると、実行中のセッションで保存されていないデータがすべて失われます。

- 接続している別売のモニタがオフになりません。
- ノートブック コンピュータがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度が自動的に下がりにません。
- システムによるスタンバイの起動が実行されません。

バッテリー パックを完全に放電するには、以下の手順で操作します。

1. ハイバネーションを無効にします。ハイバネーションを無効にするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。次に、[休止状態を有効にする]チェック ボックスをオフにします。
2. [電源設定]タブを表示します。[電源設定]タブにアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択します。
3. バッテリー ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[電源に接続]列のすべての設定と[バッテリー使用]列のすべての設定を記録しておきます。
4. ドロップダウン リストを選択し、それぞれのオプションを[なし]に設定します。
5. [OK]を選択します。
6. ノートブック コンピュータを外部電源から切断します。ただし、コンピュータの電源は切らないでください。
7. バッテリー パックが完全に放電するまで、バッテリー電源でノートブック コンピュータを動作させます。バッテリー パックが完全に放電すると、コンピュータの電源が切れます。

### バッテリー パックの再充電

1. バッテリー パックが完全に再充電されてバッテリー ランプが消灯するまで、ノートブック コンピュータを外部電源に接続しておきます。  
バッテリー パックの再充電中でもノートブック コンピュータは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。
2. ノートブック コンピュータの電源が切れている場合は、バッテリー パックが完全に充電されてバッテリー ランプが消灯したら、コンピュータの電源を入れます。

3. [電源設定]タブを表示します。[電源設定]タブにアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択します。
4. [電源に接続]列の項目と[バッテリー使用]列を、放電する前に記録しておいた設定に戻します。
5. [OK]を選択します。



**注意：**予期しないバッテリーの消耗や、完全なローバッテリー状態になったときのデータの損失を防ぐため、バッテリー ゲージの調整後はハイバネーションを再び有効にしてください。ハイバネーションを有効にするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。次に [休止状態を有効にする]チェック ボックスをオンにして、[OK]を選択します。

## バッテリー パックの節電

1回の充電でノートブック コンピュータを動作させる時間を長くするには、以下に示すバッテリー節電方法および設定を使用します。

### 作業中の節電

作業中に節電するには、次の操作を行います。

- 使用していないデバイスによるノートブック コンピュータの電力の消費を防止します。たとえば、次の作業を行います。
  - ❑ 無線接続とローカル エリア ネットワーク (LAN) 接続をオフにして、モデム アプリケーションを終了します。
  - ❑ 外部電源に接続されていないすべての外付けデバイスを、ノートブック コンピュータから取り外します。
  - ❑ 挿入されているPCカードを停止するか取り外します。
  - ❑ 挿入されているデジタル メモリ カードを無効にするか取り外します。
  - ❑ Sビデオ出力コネクタに接続しているデバイスをオフにします。

- 可能な限り、外部電源で動作する別売のスピーカを内蔵スピーカの代わりに使用します。内蔵スピーカを使用する場合は、システムの音量を最小にします。音量は、音量ボタンで調整できます。
- 画面の輝度を最低にします。画面の輝度を下げるには、**[fn]+[f7]**ホットキーを押します。画面の輝度を上げるには、**[fn]+[f8]**ホットキーを押します。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、ノートブック コンピュータの電源を切ります。

## 節電の設定

ノートブック コンピュータの節電設定を行うには、以下の手順で操作します。

- スクリーンセーバが起動するまでの時間を短くし、グラフィックスおよび動きの少ないスクリーンセーバを選択します。スクリーンセーバおよび起動までの時間を選択するには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]→[スクリーンセーバー]**タブの順に選択して、画面の指示に従います。
- 電力の使用量が少ない電源設定を選択または作成します。電源設定の使用方法について詳しくは、この章の「[電源設定の使用](#)」を参照してください。



## バッテリー パックの交換



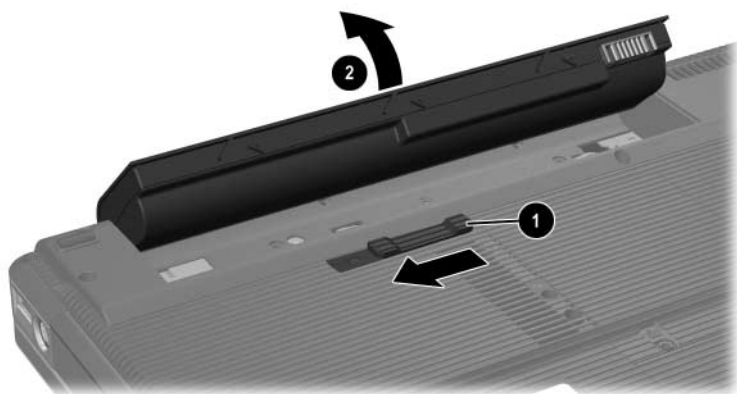
**注意:** 1つのバッテリー パックのみをノートブック コンピュータの電源として使用しているときに、そのバッテリー パックを取り出す場合は、データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切るかハイバネーションを起動してから作業を行ってください。(ハイバネーションを起動した場合は、ハイバネーションが完了して電源/スタンバイ ランプおよび電源ボタン ランプが消灯するまで、次の作業を開始しないでください。)

### バッテリー パックの取り外し

バッテリー パックの種類はモデルによって異なりますが、バッテリー パックの取り外し手順はすべてのモデルで共通です。

バッテリー パックを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータを裏返します。
2. バッテリー リリース ラッチをスライドさせ①、バッテリーの固定を解除します。
3. バッテリー パックをバッテリー ベイから引き出します②。

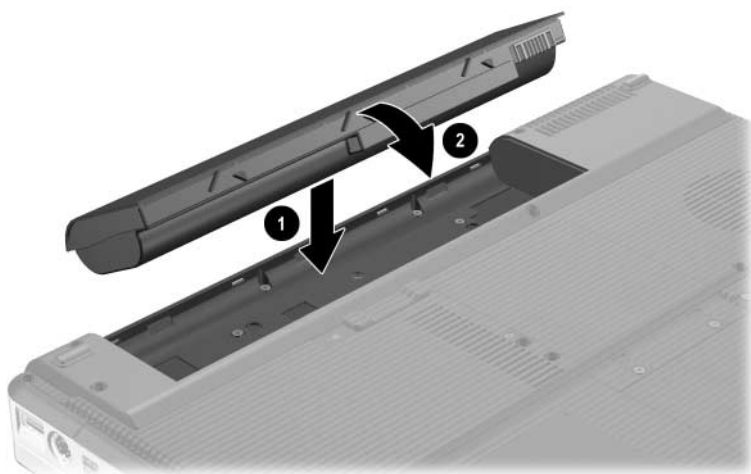


## バッテリー パックの装着

バッテリー パックの種類はモデルによって異なりますが、バッテリー パックの装着手順はすべてのモデルで共通です。

バッテリー パック装着するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータを裏返します。
2. バッテリー パックをバッテリー ベイに装着し①、所定の位置に固定されるまで回転させます②。



## バッテリー パックの保管



**注意：**バッテリー パックの損傷を防ぐため、長期間にわたって高温の場所に放置しないでください。

2週間以上ノートブック コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、バッテリー パックをコンピュータから取り出して別々に保管します。

駐車中の車の中や特定の作業場など、高温の場所にバッテリー パックを保管すると、自然放電の速度が速まります。保管中にバッテリー パックが放電することを抑えるには、バッテリー パックを気温や湿度の低い場所に保管します。

1か月以上保管したバッテリー パックを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

## 使用済みのバッテリー パックの処理



**警告：**化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリー パックをつぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたりしないでください。さらに、60℃より高温の環境に放置しないでください。バッテリー パックを交換する場合は、この製品専用のバッテリー パックをお使いください。



日本では、バッテリー パックを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

---

## マルチメディア

### 内蔵スピーカ

内蔵スピーカは以下の図に示す位置にあり、アプリケーション、オペレーティング システム、ゲーム、ドライブ メディア、インターネットなどからの音声はステレオで再生されます。

ヘッドフォンなどの外付けデバイスをオーディオ出力コネクタに接続すると、内蔵スピーカは無効になります。



### 音量調整

音量を調整するには、ノートブック コンピュータの音量ボタンを使用するか、またはオペレーティング システムや一部のマルチメディア アプリケーションのボリューム コントロール ソフトウェアを使用します。コンピュータのミュート ボタンを使用すると、ソフトウェアの音量設定がすべて無効になります。

- オペレーティング システムの音量調整機能にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]→[音量]タブの順に選択します。
  - バランスなど詳しい音量設定を行うには、[デバイスの音量]領域の[詳細設定]ボタンを選択します。
  - タスクバーに音量アイコンを表示させるには、[タスクバーに音量アイコンを配置する]チェック ボックスをオンにして[OK]を選択します。
- コンピュータの音量ボタンを使って音量を調節するには、次の操作を行います。
  - 音量を下げるには、音量下げボタン❶を押します。
  - 音量を上げるには、音量上げボタン❷を押します。
  - 消音(ミュート)したり音量を元に戻したりするときは、ミュートボタン❸を押します。

消音すると、ミュート ボタンのミュート ランプが点灯します。音量を元に戻すと、ミュート ランプが消灯します。



## 外付けオーディオ デバイス

### オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用



**警告：**突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォンやヘッドセットを使用してください。

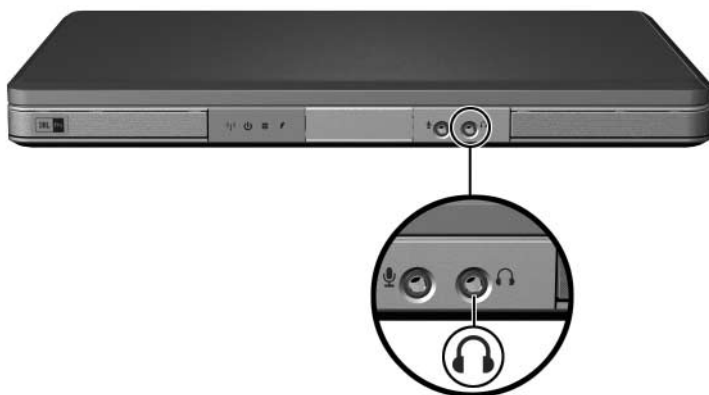


**注意：**外付けデバイスの損傷を防ぐため、モノラル（シングル チャネル）プラグをオーディオ出力コネクタに接続しないでください。

オーディオ出力コネクタ（以下の図に示します）はヘッドフォンコネクタとも呼ばれます。オーディオ出力コネクタには、別売のヘッドフォンや外部電源を使用するステレオ スピーカを接続し、また、テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ機器のオーディオ機能も接続できます。

オーディオ出力コネクタに機器を接続するときは、3.5 mmのステレオプラグのみを使用してください。

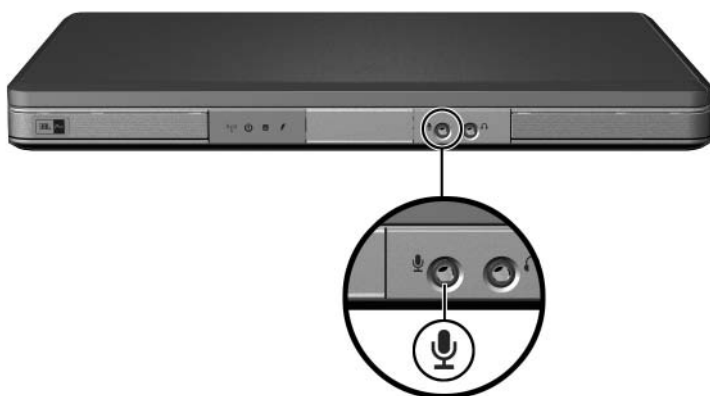
オーディオ出力コネクタに機器を接続すると、内蔵スピーカは無効になります。



## オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

オーディオ入力コネクタ（以下の図に示します）には、別売のモノラル（シングル チャネル）マイクを接続します。オーディオ入力コネクタは、マイク コネクタとも呼ばれます。

3.5 mmプラグの、電源付きコンデンサ マイクを使用することをお勧めします。ダイナミック マイクを接続すると、感度が不足して明瞭に録音できない可能性があります。



## 外付けビデオ機器

### Sビデオ機器の接続

#### オーディオの接続

一部のモデルにあるSビデオ出力コネクタは、ビデオ信号のみをサポートします。

DVDの動画をノートブック コンピュータで再生してテレビの画面に表示するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせた構成にする場合は、標準の3.5 mmオーディオ ケーブルが必要です。このオーディオ ケーブルは、一般の電化製品店で購入できます。

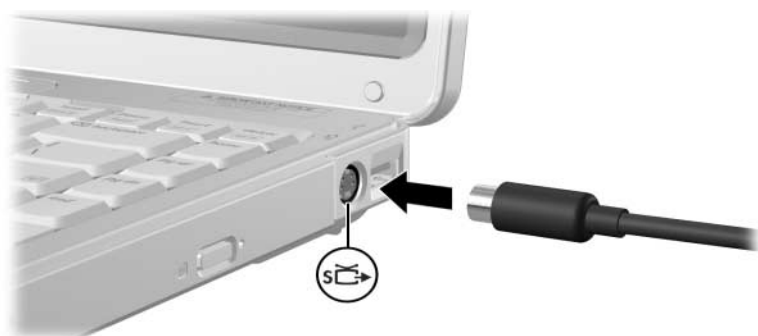
オーディオ ケーブルのステレオ側の端をノートブック コンピュータのオーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタに接続します。ケーブルのもう一方の端を外付け機器のオーディオ入力コネクタに接続します。コンピュータのオーディオ出力コネクタについて詳しくは、この章の「[オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用](#)」を参照してください。



## ビデオの接続

ビデオ信号をSビデオ出力コネクタ経由で転送するには、電化製品販売店で入手可能な標準的なSビデオ ケーブルが必要です。

Sビデオ ケーブルの一方の端を、下の図のようにノートブック コンピュータのSビデオ出力コネクタに接続します。ケーブルのもう一方の端を外付け機器のSビデオ入力コネクタに接続します。



## ビデオからの表示

ノートブック コンピュータに接続されているビデオ機器の画像を、コンピュータのディスプレイまたはビデオ機器のディスプレイで表示するには、両方の機器の電源を入れておく必要があります。

» ノートブック コンピュータとビデオ機器のディスプレイ間で表示画面を切り替えるには、**[fn] + [f4]**ホットキーを繰り返し押します。**[fn] + [f4]**ホットキーを押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、コンピュータ本体とすべての外付けのディスプレイ、すべての外付けディスプレイの順序で表示画面が切り替わります。

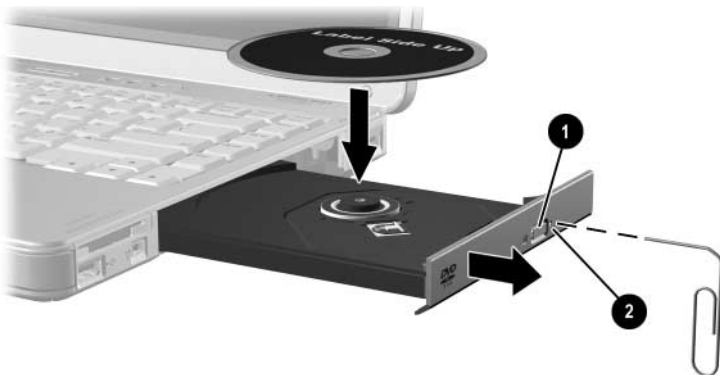
**[fn] + [f4]**ホットキーやその他のホットキーについては、「[第2章 キーボード](#)」の「[ホットキー](#)」を参照してください。

## CDおよびDVDの使用手順

### ディスクの挿入または取り出し

CDやDVDなどのディスクは、以下の方法で挿入したり取り出したりしてください。実行中のディスクは、取り出す前に停止する必要があります。ディスクを停止するには[fn]+[f4]ホットキーを押します。

- ディスクを挿入するには、まずノートブック コンピュータの電源が入っていることを確認します。次にドライブ パネルのリリース ボタン①を押して、メディア トレイが少し押し出された状態にします。完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出し、ラベルを上にしてCDまたは片面DVDをトレイに置き、メディア トレイを閉じます。
- ノートブック コンピュータの電源が入っているときにディスクを取り出すには、ドライブ パネルのリリース ボタンを押して、メディア トレイが少し押し出された状態にします。トレイをゆっくりと引き出し、ディスクを取り出してメディア トレイを閉じます。
- ノートブック コンピュータの電源が切れているときにディスクを取り出すには、以下の手順で操作します。
  - a. ドライブのフロント パネルにあるリリース アクセスにクリップの端を差し込みます②。
  - b. クリップをそっと押して、メディア トレイが少し押し出された状態にします。
  - c. トレイをゆっくりと引き出し、ディスクを取り出してメディア トレイを閉じます。

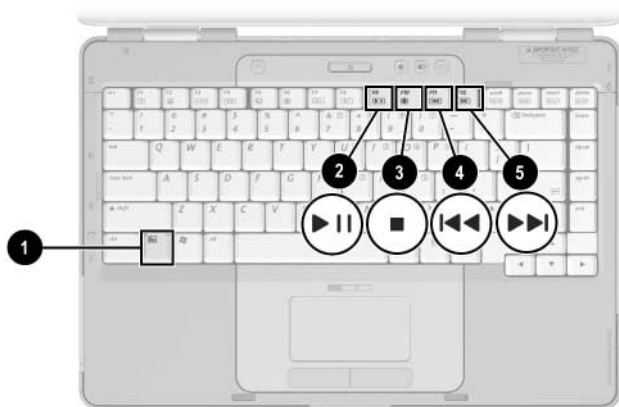


## メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、[fn]キー ❶とここで説明する4つのファンクションキーとの組み合わせです。メディア操作ホットキーを使用すると、オプティカルドライブに挿入されているオーディオCDやDVDの再生機能を制御できます。

ドライブに挿入されているビデオCDの再生機能を制御するには、ビデオCDプレーヤーアプリケーションの操作機能を使用してください。

- ドライブに挿入されているオーディオCDまたはDVDを再生、一時停止、または再開するには、[fn]+[f9]ホットキー ❷を押します。
- ドライブに挿入されているオーディオCDまたはDVDの再生を停止するには、[fn]+[f10]ホットキー ❸を押します。
- 再生中のオーディオCDの前のトラックまたはDVDの前のチャプタを再生するには、[fn]+[f11]ホットキー ❹を押します。
- 再生中のオーディオCDの次のトラックまたはDVDの次のチャプタを再生するには、[fn]+[f12]ホットキー ❺を押します。



上記およびその他のホットキーについて詳しくは、「第2章 キーボード」の「ホットキー」を参照してください。

## 自動再生機能の設定

自動再生機能とは、DVD-ROMドライブ、DVD/CD-RWコンボ ドライブ、DVD+RW/RおよびCD-RWコンボ ドライブなどのリムーバブル ストレージ デバイス上のファイルにアクセスした時のノートブック コンピュータの動作を決定する、オペレーティング システムの機能です。

自動再生機能のデフォルト設定は、ノートブック コンピュータのモデルや構成によって異なります。たとえば、初めてCDまたはDVDをオプティカル ドライブに挿入してトレイを閉じると、CDまたはDVDの再生が開始する場合や、自動再生ポップアップ ウィンドウが表示される場合があります。自動再生ポップアップ ウィンドウが表示されたら、画面の指示に従って設定を選択します。

自動再生機能のデフォルト設定は変更できます。たとえば、デジタル写真が収録されたCDからスライドショーを表示したり、音楽が収録されたCDの最初のトラックの再生を開始したり、データ ファイルが収録されたCDのフォルダやファイルの名前を表示したりするよう、コンピュータを設定できます。また、ディスクを挿入するたびに設定画面を表示するようにしたり、ディスクを挿入しても何もしないようコンピュータを設定したりできます。

自動再生機能の多くの設定では、ディスクおよび関連付けられたディスク プレーヤ アプリケーションの両方を起動するまでに、数秒かかることがあります。

自動再生機能はフロッピーディスク ドライブに対しては設定できませんが、他の多くのリムーバブル ストレージ デバイスで使用できます。自動再生機能の設定は、Secure Digital (SD) メモリ カード、メモリスティック、メモリスティック PRO、xD ピクチャ カード、マルチメディア カード、スマートメディア (SM) カードなどのデジタル メモリ カード用に設定できます。

自動再生機能の設定にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択します。
2. [リムーバブル記憶域があるデバイス]グループで、DVD-ROMドライブなどの項目を右クリックします。
3. [プロパティ]を右クリックします。
4. [自動再生]タブを選択します。

## 再生中のメディアの保護

再生機能が失われたり再生品質が劣化したりすることを防ぐには、以下のことを行ってください。

- 最適な再生品質を得るには、CDまたはDVDを再生する前に作業内容を保存し、開いているすべてのアプリケーションを終了します。
- ノートブック コンピュータを別売の拡張ベースに装着する場合は、ディスクの再生中ではなく、再生前または後に行います。

ディスクの再生中にスタンバイまたはハイバネーション モードを起動しないでください。ディスクの使用中にスタンバイまたはハイバネーションを起動すると、[コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。その場合は、[いいえ]を選択します。[いいえ]を選択すると、以下の処理が実行されます。

- 再生が再開することがあります。

または

- 再生が停止し、画面がクリアされることがあります。元の画面に戻るには、電源ボタンを押してディスクを再び起動します。

## CDまたはDVDの書き込み処理の保護



**注意：**ファイルの損失およびディスクの損傷を防ぐため、次の注意事項を必ず守ってください。

- ディスクに書き込む前に、ノートブック コンピュータを安定した外部電源に接続します。コンピュータがバッテリー電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。
- ディスクに書き込む前に、使用するディスク ソフトウェア以外の開いているすべてのアプリケーション(スクリーンセーバやウイルス対策ソフトウェアなど) を閉じます。
- コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。コピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハードドライブへコピーしてから、ハードドライブからコピー先のディスクへコピーします。
- ディスクへの書き込みが行われている間は、ノートブック コンピュータのキーボードを使用したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいからです。

---

## 著作権に関する警告について

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法違反です。このノートブック コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

## DVDの地域設定の変更

---



**注意：**永続的な設定ではない地域設定を選択しないために、DVD-ROMドライブ、DVD/CD-RW コンボ ドライブ、またはDVD+RW/RおよびCD-RWコンボ ドライブの地域設定は5回のみ変更が可能であることに注意してください。

- 5回目に選択した地域設定が、DVD-ROMドライブまたはコンボ ドライブの永続的な地域設定となります。
  - ドライブでの地域変更の残り回数は、DVDの地域設定を変更できるすべてのソフトウェアに表示されます。
- 

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどのDVDには、地域コードも含まれています。地域コードは、世界的なレベルで著作権を保護します。

DVDの地域コードが、お使いのDVD-ROMドライブまたはコンボ ドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれているDVDを再生できます。DVDの地域コードがお使いのDVD-ROMドライブまたはコンボ ドライブの地域設定と一致しない場合は、そのDVDをドライブに挿入すると、**[このコンテンツの再生は、この地域（リージョンコード）では許可されていません]**というメッセージが表示されます。

このようなDVDを再生するには、お使いのDVD-ROMドライブまたはコンボ ドライブの地域設定を変更する必要があります。DVDの地域設定は、次の項目で説明するように、オペレーティング システムまたは一部のマルチメディア アプリケーションで変更できます。

## オペレーティング システムでのDVD設定の変更

オペレーティング システムでDVDの地域設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に選択し、[ハードウェア]タブで[デバイス マネージャ]ボタンを選択します。
2. [DVD/CD-ROMドライブ]を選択し、地域設定を変更したいDVD-ROMドライブまたはコンボドライブを右クリックして[プロパティ]を選択します。
3. [DVD地域]タブを選択し、画面の指示に従って操作します。

## マルチメディア アプリケーションでのDVD設定の変更

Sonic RecordNow!またはInterVideo WinDVD Playerソフトウェアを使用している場合は、DVDの地域設定の変更を、オペレーティング システムよりもアプリケーション側で行うほうが簡単なことがあります。

これらのアプリケーションでDVD地域設定の変更手順を表示するには、以下の操作を行います。

- Sonic RecordNow!をお使いの場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[RecordNow! CD&DVD Recording]→[RecordNow!]の順に選択します。次に、RecordNow!のコンソールで、疑問符のアイコンで示される[ヘルプ]ボタンを選択します。
- InterVideo WinDVD Playerをお使いの場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。次に、WinDVDコンソールのメニュー バーで[ヘルプ]を選択します。

お住まいの地域やノートブック コンピュータのモデルによっては、Sonic RecordNow!やInterVideo Win DVD Playerのようなマルチメディア アプリケーションが含まれていることがあります。

SonicRecordNow!およびInterVideo Win DVD Playerについて詳しくは、この章の「[マルチメディア ソフトウェア](#)」を参照してください。



## マルチメディア ソフトウェア

### マルチメディア ソフトウェアの概要

ノートブック コンピュータには、デジタル メディアを再生、作成、および管理するためのさまざまなマルチメディア アプリケーションが含まれています。その多くは、デスクトップ アイコンをダブルクリックするか[スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択してアクセスできます。他のアプリケーションは、CDで提供される場合があります。

CDからのアプリケーションのインストール、またはプリロードされているがプリインストールされていないアプリケーションのインストールに関する一般的な情報については、Notebook Documentation CDに収録されている『ヘルプおよびサポート ガイド』の「追加ソフトウェアのインストール」を参照してください。印刷物の『ヘルプおよびサポート ガイド』は、ノートブック コンピュータに同梱されています。WinDVD Creatorのインストールについて詳しくは、この章の「[WinDVD Creatorのインストール](#)」を参照してください。

ほとんどのマルチメディア アプリケーションには、メニュー バーから、または疑問符で示されるアイコンからアクセスできるヘルプ ファイルがあります。ほとんどのアプリケーションには、チュートリアルも含まれています。

コンピュータに含まれるどのマルチメディア アプリケーションについても、カスタマ サポートを受けられます。



一部のCDやDVDには、PCFriendlyなど、ノートブック コンピュータには含まれないプレーヤ ソフトウェアが含まれています。コンピュータに含まれていないプレーヤ ソフトウェアが収録されたディスクを挿入すると、そのプレーヤ ソフトウェアをインストールするように指示されます。コンピュータに含まれるマルチメディア アプリケーションを使用したい場合は、プレーヤのインストールを中止し、インストールのウィンドウを閉じます。

---

どのマルチメディア アプリケーションを使用する前にも、この章の「[自動再生機能の設定](#)」、「[再生中のメディアの保護](#)」、および「[CDまたはDVDの書き込み処理の保護](#)」を読んでおくことをお勧めします。

## マルチメディア アプリケーションの選択

ノートブック コンピュータに含まれるマルチメディア ソフトウェアは、コンピュータを購入された地域やモデルによって決定されます。

コンピュータに含まれる可能性のあるマルチメディア アプリケーションのいくつかの機能を、以下に説明します。

- Microsoft Windows Media Playerは、CDやDVDの再生、CD間での音楽のコピー、ラジオ番組の受信、およびデジタル メディア ファイルの検索や整理に使用できます。
- Sonic RecordNow!は、データまたはオーディオCDおよびDVDのバックアップ、CDからハードドライブへのオーディオ ファイルの転送、ムービーの再生、およびオーディオCDの作成に使用できます。
- InterVideo WinDVD Playerは、DVDの再生に使用できます。
- Windowsムービー メーカーは、基本的なドラッグアンドドロップ操作でホーム ムービーを作成および編集するために使用できます。
- InterVideo WinDVD Creatorは、ムービーの作成と編集、ムービーのDVDまたはビデオCDの作成、または画像のスライド ショーの作成に使用できます。WinDVD CreatorはCDで提供されます。インストール手順については、「[WinDVD Creatorのインストール](#)」を参照してください。

お使いのノートブック コンピュータには、その他のマルチメディア アプリケーションが含まれている場合があります。以下の項目を必ず確認してください。

- デスクトップ アイコン
- [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択して一覧表示されるアプリケーション
- [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]で利用可能な、プリロードされている項目

## WinDVD Creatorのインストール

WinDVD Creatorがノートブック コンピュータに付属している場合は、InterVideo WinDVD Creator CDに収録されています。

WinDVD Creatorは、DVD/CD-RWコンボ ドライブまたはDVD+RW/RおよびCD-RW コンボ ドライブからのみインストール可能です。お使いのシステムにどちらのドライブもない場合は、InterVideo WinDVD Creator CDからWinDVD Creatorをインストールすることはできません。

WinDVD Creatorをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを、安定した外部電源に接続します。
2. 開いているアプリケーションをすべて終了します。
3. コンボ ドライブにInterVideo WinDVD Creator CDを挿入します。数秒後、インストール ウィザードが表示されます。

インストール ウィザードが表示されない場合は、自動再生機能の設定が変更されている可能性があります。WinDVDのインストールを続行するには、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択し、[名前]テキストフィールドで「**x:%setup.exe**」（xはコンボ ドライブを指します）と入力して[OK]を選択します。

4. インストール ウィザードが表示されたら、画面上のインストール指示に従って操作します。

自動再生機能の設定について詳しくは、この章の「[自動再生機能の設定](#)」を参照してください。

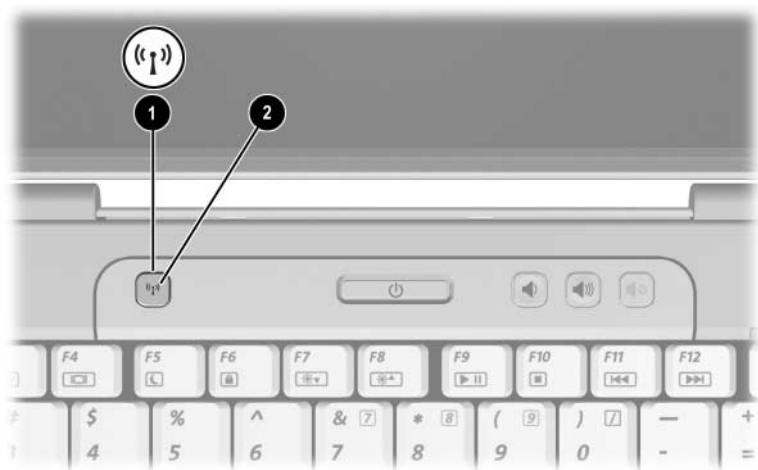
---

## 無線（一部のモデルのみ）

802.11やBluetoothなどの無線デバイスが内蔵されているノートブック コンピュータは、無線コンピュータです。

- 802.11無線ノートブック コンピュータは職場、自宅、および公共の場所にある無線ネットワークに接続できます。無線ネットワークには、無線ローカルエリア ネットワーク（無線LAN）または「無線LANスポット」があります。無線LANスポットは、空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学などの公共の場で使用できるアクセス ポイントです。
- Bluetooth無線ノートブック コンピュータは無線パーソナル エリア ネットワーク（PAN）を使用して、他のBluetooth無線対応デバイスに接続できます。

お使いのノートブック コンピュータには、802.11 無線デバイスおよび Bluetooth 無線デバイスを有効/無効にできるボタンと、無線デバイスの状態を示す関連のランプがあります。次の図に、無線ボタン①および無線ランプ②を示します。



無線ボタンとランプの他に、ノートブック コンピュータには、無線デバイスをオン、オフ、有効、および無効にできるソフトウェアがあります。次の表では、これらのソフトウェアについて説明します。

無線コントロール	説明
Wireless Assistant	802.11 無線デバイスと Bluetooth 無線デバイスのオン/オフを個別に切り替えられるソフトウェア ユーティリティです。 Wireless Assistantの使用ついて詳しくは、この章の「 <a href="#">デバイスの電源状態</a> 」を参照してください

## 無線ローカル エリア ネットワーク （一部のモデルのみ）

802.11無線デバイスを使用して、無線ローカル エリア ネットワーク（無線LAN）にアクセスできます。無線LANは、無線ルータや無線アクセスポイントを使用して接続している他のコンピュータおよびデバイスで構成されています。

■ 社内無線LANや公共の無線LANスポットなどの大規模無線LANでは通常、無線アクセスポイントが使用されます。無線アクセスポイントは、多数のコンピュータやデバイスに対応でき、重要なネットワーク機能を分離できます。

■ 自宅または小規模オフィスの無線LANでは通常、無線ルータが使用されます。無線ルータを使用すると、ハードウェアやソフトウェアを追加せずに、数台の無線コンピュータや有線コンピュータでインターネット接続、プリンタ、およびファイルを共有できます。無線アクセスポイントおよび無線ルータは、同じ意味で使用されることがあります。

802.11無線LANデバイスを搭載するノートブック コンピュータでは、次の3つのIEEE物理層規格のうち1つ以上をサポートしています。

■ 802.11a

■ 802.11b

■ 802.11g

無線LANアダプタには、次の3つの一般的な実装があります。

■ 802.11bのみ

■ 802.11b/g

■ 802.11a/b/g

802.11bは最初に普及した無線LAN規格で、最大11 Mbpsのデータ転送速度をサポートし、2.4 GHzの周波数で動作します。802.11gは後発の規格で、同様に2.4 GHzで動作しますが、最大54 Mbpsのデータ転送速度をサポートしています。802.11g無線LANデバイスは802.11bデバイスと下位互換性があるため、同じネットワーク上で動作できます。802.11aは最大54 Mbpsのデータ転送速度をサポートし、周波数5 GHzで動作します。802.11aは802.11bおよび802.11gと互換性がありません。ノートブックコンピュータに搭載されているデバイスの種類については、この章の「[無線LANデバイスの識別](#)」を参照してください。

## 社内無線LANへの無線ノートブックコンピュータの接続

ノートブックコンピュータを社内無線LANに接続する方法については、ネットワーク管理者またはIT部門に問い合わせてください。

## 公共の無線LANへの無線ノートブックコンピュータの接続

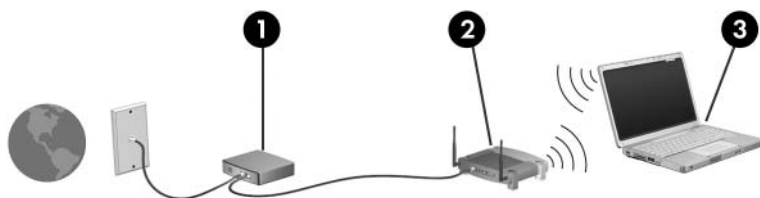
お近くの公共の無線LANの一覧については、ISPに問い合わせるか、インターネットで検索してください。

公共の無線LANの範囲内では、画面の下部に[ワイヤレス ネットワーク 接続]対話メッセージが表示されます。料金や接続の要件については、それぞれの公共の無線LANで確認してください。

## 自宅での無線LANの設定

自宅で無線LANを設定してインターネットに接続するには、次の設備が必要です。下の図に、完成した無線ネットワークの例を示します。この無線ネットワークには次のものが含まれます。

- インターネット サービス プロバイダ（ISP）から購入またはレンタルした、ブロードバンド モデム（DSLまたはケーブル） および高速インターネット サービス①
- 別売の無線ルータ（別途購入する必要があります）②
- 無線ノートブック コンピュータ③



ネットワークの規模の拡大に応じて、追加の無線コンピュータおよび有線コンピュータをネットワークに接続してインターネットにアクセスできます。



無線LANのインストールの技術的な質問については、ルータの製造元またはISPに問い合わせてください。



## 無線LAN接続の使用

無線LAN接続を使用するには、以下ことを行います。

- 802.11 無線デバイスに必要なすべてのドライバがインストールされており、802.11 無線デバイスが正しく設定されていることを確認します。



内蔵 802.11 無線デバイスを使用している場合は、必要なすべてのドライバのインストールおよびアダプタの設定があらかじめ行われており、すぐに使用できる状態になっています。

- 内蔵802.11無線デバイスを使用している場合は、802.11無線デバイスがオンになっていることを確認します。802.11無線デバイスがオンになっていると、無線ランプが点灯します。無線ランプが消灯している場合は、802.11無線デバイスをオンにします。[「デバイスの電源状態」](#)を参照してください。

- ホーム無線LANの場合は、ルータが正しく設定されていることを確認します。手順については、ルータのマニュアルを参照してください。



その後の無線LAN接続の機能の範囲は、ノートブック コンピュータの無線LAN実装、ルータの製造元、さまざまな種類の壁面やその他の電子機器からの干渉によって、異なります。

無線LAN接続の使用について詳しくは、以下を参照してください。

- ISPからの情報や、無線ルータおよびその他の無線LAN機器に付属するマニュアルを参照します。
- **[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択して表示される情報やWebサイトにアクセスします。
- ノートブック コンピュータに付属のマニュアルを参照します。Notebook Documentation CDに収録されている『トラブルシューティング』には、無線LANデバイスの問題と解決方法に関する項目が記載されています。

## 無線セキュリティ機能の使用

独自の無線LANを設定する場合や既存の無線LANにアクセスする場合は、常にセキュリティ機能によって無線LANを保護する必要があります。無線LANのセキュリティを有効にしないと、権限のない無線ユーザーからノートブック コンピュータのデータにアクセスされ、知らないうちにインターネット接続を利用されることがあります。

最も一般的なセキュリティ レベルはWi-Fi Protected Access (WPA)

-PersonalおよびWired Equivalent Privacy (WEP) です。ルータで

WPA-PersonalまたはWEPセキュリティ暗号化を有効にするほかに、次のセキュリティ対策を使用できます。

- デフォルトのネットワーク名 (SSID) およびパスワードを変更する
- ファイアウォールを使用する
- Webブラウザにセキュリティを設定する
- ルータでMACアドレス フィルタを有効にする

無線LANのセキュリティについて詳しくは、HPのWebサイト、

<http://www.hp.com/go/wireless>（英語サイト）を参照してください。

## 無線ソフトウェアのインストール（オプション）

Microsoft Windows XPでは、Zero Client Configuration機能による無線LAN設定をサポートしています。HPでは、Cisco Compatible Extensionsの使用を予定している場合にインストールする必要がある、個別の無線LAN設定ユーティリティを提供しています。Cisco Compatible Extensionsによって、無線デバイスでCisco ベースの無線LANを使用できるようになります。

## 無線LANデバイスの識別

内蔵802.11無線デバイス用のHP無線LANソフトウェアをインストールするには、ノートブック コンピュータの内蔵802.11無線デバイスの名称を知っておく必要があります。ノートブック コンピュータに搭載されている802.11無線デバイスを識別するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータに搭載されている802.11無線デバイスのすべての名前を表示します。
  - a. [スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択します。
  - b. [マイ コンピュータ]ウィンドウ内を右クリックします。
  - c. [プロパティ]→[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ]→[ネットワーク アダプタ]の順に選択します。
2. 表示されたリストから、802.11無線デバイスを探します。
  - ❑ 802.11無線デバイスの名前には、「wireless LAN」、「WLAN」、または「802.11」という文字が含まれます。
  - ❑ リストに802.11無線デバイスが表示されない場合、ノートブック コンピュータに内蔵802.11無線デバイスが搭載されていないか、802.11無線デバイス用のドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。

## 無線LANソフトウェアおよびマニュアルへのアクセス

無線LANソフトウェアはノートブック コンピュータにあらかじめプリロードされており、Software Setupユーティリティから使用できます。

次の手順で、無線LANソフトウェアをインストールします。

- » [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択し、画面の指示に従います。インストールするソフトウェアを選択するように求められたら、対応するチェック ボックスをオンまたはオフにします。

無線LANソフトウェアはHPのWebサイトにて、SoftPakとしても提供されています。SoftPakにアクセスしてダウンロードし、お使いのノートブック コンピュータにインストールするには、次のどちらかの方法で操作します。

■ [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

または

■ HPのWebサイト (<http://www.hp.com/support>) にアクセスします。

- a. 言語と地域を選択します。
- b. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]のオプション ボタンを選択します。
- c. お使いのコンピュータのモデル情報を入力し、Web サイトに表示される指示に従います。



無線LANソフトウェアは[ネットワーク]カテゴリに分類されています。お使いのコンピュータのモデルに関する情報は、コンピュータ本体に貼付されているシリアル番号ラベルを参照してください。シリアル番号ラベルはノートブック コンピュータの裏面に貼付されています。

無線LANソフトウェアのマニュアルにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. この章で説明した手順に従って、無線 LAN ソフトウェアをインストールします。
2. ユーティリティを開きます。
3. メニュー バーの[ヘルプ]を選択します。

## デバイスのトラブルシューティング

トラブルシューティングについて詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/go/wireless>、英語サイト) にアクセスするか、ノートブック コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

## Bluetooth（一部のモデルのみ）

Bluetoothデバイスによって近距離の無線通信が可能になり、次のような電子機器と接続するために従来使用されていた物理的なケーブル接続から無線通信へと、通信手段を変更できます。

- ネットワーク アクセス ポイント
- コンピュータ（デスクトップおよびノートブック コンピュータ、PDA）
- 電話（携帯電話、コードレス電話、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンタ、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカ）

Windows対応Bluetoothソフトウェアでは、デバイスは物理的な特徴を表すグラフィック アイコンで表示されます。これにより、デバイスを簡単に見分けられるようになり、他のクラスのデバイスと区別できます。

Windows対応Bluetoothソフトウェアには次の機能があります。

- 個人情報管理（PIM）アイテムの転送：他のBluetooth コンピュータやデバイスとの間で、名刺、予定表項目、メモ、メッセージ項目などの情報ファイルを送受信します。
- PIM 同期：Bluetoothを通じて、コンピュータ、PDA、または携帯電話間でPIMデータを同期します。
- ファイル転送：他のBluetooth コンピュータとの間でファイルの送受信を行います。
- ネットワーク アクセス（パーソナルエリア ネットワーク プロファイル）：2台以上のBluetooth対応デバイスでアドホック（ピアツーピア）ネットワークを構築できます。Bluetoothデバイスがネットワーク アクセス ポイントを通じてリモート ネットワークに接続するための機能を提供します。ネットワーク アクセス ポイントとして、従来のLANデータ アクセス ポイント、または互いにのみ接続しているデバイスの組み合わせを表す複数のアドホック ネットワークを設定できます。

- **ダイヤルアップ ネットワーク**：Bluetooth対応デバイスをインターネットに接続します。
- **Bluetoothシリアル ポート**：仮想COMポートを使用して、Bluetoothリンク経由でデータを転送します。
- **ハンズフリー**：自動車内蔵型のハンズフリー ユニットまたはハンズフリーユニットとして機能するノートブック コンピュータで、携帯電話との無線通信を確立し、Bluetooth対応携帯電話のオーディオ入出力装置として動作させることができます。
- **基本イメージング**：Bluetooth対応カメラと他のBluetoothデバイスとの間での無線接続を提供します。カメラをノートブック コンピュータからリモートで制御でき、イメージをカメラからコンピュータに転送して保存したり、印刷したりできます。
- **ヒューマン インタフェース デバイス**：キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート監視デバイスなどの他のBluetoothデバイスとの無線接続を提供します。
- **Fax**：ノートブック コンピュータで、Bluetooth携帯電話やBluetoothモデムを通じてFaxメッセージを送受信するためのBluetooth接続を提供します。
- **ヘッドセット**：ヘッドセットとノートブック コンピュータまたは携帯電話との無線接続を提供します。ヘッドセットは、デバイスのオーディオ入出力装置として機能し、移動性を拡大します。

お使いのノートブック コンピュータでのBluetoothの使用について詳しくは、コンピュータに付属するWireless Documentation CDを参照してください。

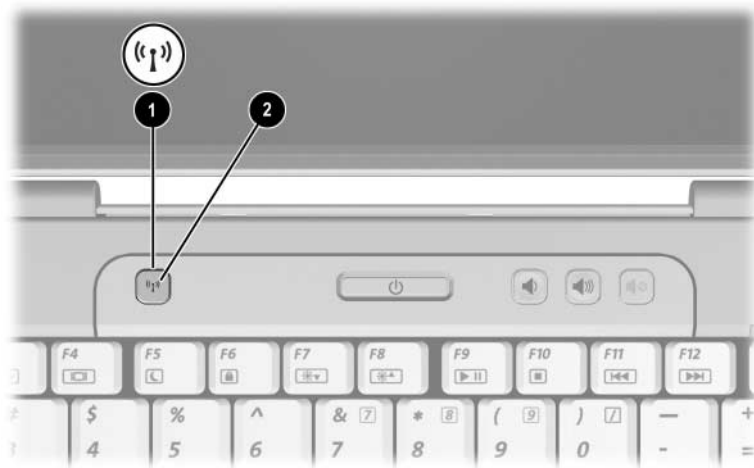
## デバイスの電源状態

Wireless Assistantとともに無線ボタン❶を使用して、802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスを有効または無効にできます。デフォルトでは、ノートブックコンピュータの電源を入れると、802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスおよび無線ランプ❷が点灯します。



無線デバイスをオンにしても、自動的に無線LANを確立したり、無線LANに接続したりすることはできません。無線LANの設定について詳しくは、この章の「[無線ローカルエリア ネットワーク（一部のモデルのみ）](#)」を参照してください。

---



802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスには、次の2つの電源状態があります。

- 有効
- 無効

無線ボタンを使用して、無線デバイスを有効または無効にできます。また、[Computer Setup]でもデバイスを有効または無効にできます。

[Computer Setup]および無線ボタンで無線デバイスを有効にした場合、Wireless Assistantを使用して、デバイスのオン/オフを個別に切り替えることができます。無線デバイスが無効になっている場合は、Wireless Assistantでオン/オフを切り替える前にデバイスを有効にする必要があります。

無線デバイスの状態を表示するには、通知領域の[Wireless Assistant]アイコンの上にカーソルを置くか、通知領域のアイコンをダブルクリックしてWireless Assistantを開きます。デバイスの状態がオン、オフ、または無効としてWireless Assistantに表示されます。さらに、Wireless Assistantには、Computer Setupでのデバイスの状態が有効または無効の形で表示されます。

Wireless Assistantについて詳しくは、以下の手順でヘルプを参照してください。

1. 通知領域のアイコンをダブルクリックして、Wireless Assistantを開きます。
2. [ヘルプ]ボタンを選択します。




Computer Setupで無線デバイスが無効にされている場合は、無線ボタンまたはWireless Assistantを使用してそれらのデバイスを制御することができません。

---



## デバイスの電源投入

状態	目的	操作
<div>■</div> Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方とも オフになっている	どちらかまたは両方の デバイスをオンにする	1. 通知領域の [Wireless Assistant] アイ コンを右クリックします 2. オンにするデバイスを選択します
<div>■</div> 無線ランプが点灯し ている		 無線デバイスがオフになっている 場合は、無線ボタンを押すと、両 方のデバイスが無効になります。 ボタンを押してもデバイスはオン になりません
<div>■</div> Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方とも 無効になっている*	どちらかまたは両方の デバイスをオンにする	1. 無線ボタンを押します（デバイスは 以前のオンまたはオフの状態に戻 ります） 2. 無線デバイスがオフの場合、通知領 域の [Wireless Assistant] アイコンを 右クリックします 3. オンにするデバイスを選択します
<div>■</div> 無線ランプが点灯し ている		
<div>■</div> Wireless Assistant で、一方のデバイス がオンでもう一方の デバイスがオフに なっている	どちらかまたは両方の デバイスをオンにする	1. 通知領域の [Wireless Assistant] アイ コンを右クリックします 2. オンにするデバイスを選択します
<div>■</div> 無線ランプが点灯し ている		

\*無線デバイスを無効にする前に両方のデバイスがオンになっていなかった場合、再度無線ボタンを押すと、デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります。ボタンを押しても両方のデバイスはオンになりません。



ノートブック コンピュータの電源を入れたときに、無線デバイスもオンにするには、コンピュータをシャットダウンまたは再起動する前に無線デバイスをオンにしておく必要があります。

## デバイスの電源切断および無効化

状態	目的	操作
■ Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方ともオンになっている	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが点灯している	どちらかまたは両方のデバイスをオフにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オフにするデバイスを選択します
■ Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方ともオフになっている	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが消灯している		
■ Wireless Assistant で、一方のデバイスがオンでもう一方のデバイスがオフになっている*	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが点灯している	両方のデバイスをオフにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オフにするデバイスを選択します

\*無線デバイスを無効にする前に両方のデバイスがオンになっていなかった場合、再度無線ボタンを押すと、デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります。ボタンを押しても両方のデバイスはオンになりません。

## Mobile Printing

Mobile Printing for Notebooksを使用すると、ノートブック コンピュータに必要なプリンタ ドライバが付属していなくても、PostScript対応のHP ネットワーク プリンタで印刷できます。

Mobile Printingを使用するには、以下の手順で操作します。

1. 使用しているアプリケーションで、**[ファイル]→[印刷]**の順に選択します。
2. プリンタのリストから**[Mobile Printing]**を選択します。
3. **[印刷]**を選択します。
4. プリンタのIPアドレスまたはネットワーク パスを入力します。
5. **[印刷]**を選択します。

Mobile Printing のダウンロード方法および使用方法について詳しくは、HPのWebサイト（<http://www.hp.com/go/mobileprinting>、英語サイト）を参照してください。

---

## セキュリティ

### セキュリティ機能の推奨事項

---




セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

---

ノートブック コンピュータで提供されているセキュリティ機能によって、コンピュータ本体、個人情報、およびデータをさまざまな危険から保護することができます。環境によっては、一部のセキュリティ機能が不要な場合もあります。

Windows オペレーティング システムのセキュリティ機能の他に使用するセキュリティ機能を決定するには、次ページの表が役立ちます。

これらの機能のほとんどは、**[Computer Setup]** で設定できます。詳しくは、「[第8章 ソフトウェアの更新と修復およびシステム ソフトウェア](#)」の「[セットアップ ユーティリティ](#)」を参照してください。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
ノートブック コンピュータの 不正な使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源投入時パスワード (Power-on password) *</li> <li>■ HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ 詳しくは、この章の「<a href="#">HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)</a>」を参照してください</li> </ul>
[Computer Setup]ユーティリティ (f10) への不正なアクセス	HP管理者パスワード*
ハードドライブのデータへの 不正なアクセス	DriveLock (ドライブロック) *
CD、フロッピーディスク、または 内蔵ネットワーク アダプタ ブート からの不正な起動	Device security (デバイス セキュリティ) *
Windowsユーザ アカウントへの 不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 別売のスマート カード 有効なスマート カードには、Windowsユーザ パスワードおよびWindows管理者パスワードの 両方を保管できます。このため、アカウントに アクセスするにはスマート カードとスマート カードのPINの両方が必要になります</li> <li>■ Credential Manager for ProtectTools 詳しくは、この章の「<a href="#">Credential Manager for ProtectTools</a>」を参照してください</li> <li> このセキュリティ機能は特定のスマート カード リーダーでのみサポートされます</li> </ul>
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HP管理者パスワード</li> <li>■ Windowsファイアウォール ソフトウェア</li> <li>■ Windows Update</li> <li>■ HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ 詳しくは、この章の「<a href="#">HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)</a>」を参照してください</li> </ul>

(続く)

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
BIOS設定およびその他のシステム識別 情報への不正なアクセス	HP管理者パスワード
ノートブック コンピュータの 不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセ キュリティ ロック ケーブルとともに使用）  セキュリティ ロック ケーブル用スロットについて詳 しくは、この章の「 <a href="#">別売のセキュリティ ロック ケー ブル</a> 」を参照してください

\*このセキュリティ機能は、[Computer Setup]で設定されます。[Computer Setup]は、ノートブック コンピュータが起動または再起動したときに[F10]キーを押すことでアクセスできる、Windowsで動作しないユーティリティです。[Computer Setup]を使用して特定のセキュリティ機能の設定を行う手順については、この章で説明します。システム情報の表示および他の[Computer Setup]機能の使用については、「[第8章 ソフトウェアの更新と修復およびシステム ソフトウェア](#)」を参照してください。

## [Computer Setup]でのセキュリティ設定

ほとんどのセキュリティの設定は、[Computer Setup]で設定します。  
[Computer Setup]はWindowsのユーティリティではないため、ノートブック コンピュータのポインティング デバイスはサポートされません。  
[Computer Setup]を使用するときは、キー入力で移動や選択を行う必要があります。

詳しくは、「[第8章 ソフトウェアの更新と修復およびシステム ソフトウェア](#)」の「[セットアップ ユーティリティ](#)」を参照してください。

## パスワード

ほとんどのセキュリティ機能では、パスワードが使用されます。パスワードを設定したら、パスワードを書き留め、ノートブック コンピュータから離れた安全な場所に保管してください。

- 電源投入時パスワード (Power-on password) やHP管理者パスワードを忘れてしまった場合は、コンピュータを起動したりハイバネーションから復帰したりできなくなります。詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。
- HP管理者パスワードを忘れてしまった場合は、[Computer Setup]にアクセスできなくなります。
- DriveLockのuser password (ユーザパスワード) だけを忘れてしまった場合は、master password (マスタ パスワード) を使用してDriveLockを解除できます。

詳しくは、この章の「[DriveLock \(ドライブロック\)](#)」を参照してください。

## HPパスワードとWindowsのパスワード

HPセキュリティ機能と Windows オペレーティング システムのセキュリティ機能は、互いに独立しています。たとえば、[Computer Setup] で使用禁止にした装置をWindowsで使用可能にすることはできません。

パスワード オプションには、HP のソフトウェアで提供されるものとオペレーティング システムによって提供されるものがあります。また、HP パスワードと Windows のパスワードは互いに独立しています。次ページの表にパスワードと Windows のパスワードの一覧を示し、それぞれの機能を説明します。

スクリーン セーバのパスワードなど、その他のWindowsのパスワードについて詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]を参照してください。

HPパスワード	機能
HP管理者パスワード	[Computer Setup]へのアクセスを保護します
電源投入時パスワード (Power-on password)	起動時または再起動時にノートブック コンピュータにアクセスするために使用します
DriveLock (ドライブロック) の master password (マスタ パスワード)	HP 管理者が、DriveLockによって保護されているドライブにアクセスするため、およびDriveLockによるドライブへの保護を解除するために使用します
DriveLockのuser password (ユーザ パスワード)	ノートブック コンピュータの通常のユーザが、起動時にDriveLockによって保護されたドライブにアクセスするために使用します
スマート カードのPIN	スマート カードの認証に使用します  別売のスマート カード リーダーがこの機能に対応している場合は、電源投入時パスワードおよびHP管理者パスワードをスマート カードに保管できます。 [Computer Setup] でスマート カードのセキュリティ機能を有効にしてから、HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ) を有効にする必要があります。詳しくは、この章の「 <a href="#">HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)</a> 」を参照してください
Windowsのパスワード	機能
管理者パスワード*	ノートブック コンピュータの内容へのアクセスを、Windowsの管理者レベルで保護します
ユーザ パスワード*	スタンバイを終了した後の、ノートブック コンピュータの内容を保護します
*Windowsの管理者パスワードまたはWindowsのユーザ パスワードの設定については、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。	



## HPパスワードとWindowsのパスワードに関するガイドライン

HPパスワードとWindowsのパスワードは、互いに代替できるものではありません。HPパスワードの入力画面ではHPパスワードを、Windowsのパスワードの入力画面ではWindowsのパスワードを使用する必要があります。たとえば、次のようになります。

- 電源投入時パスワード (Power-on password) を設定した場合は、ノートブック コンピュータが起動するかハイバネーションから復帰するときに、Windowsのパスワードではなく電源投入時パスワードを入力する必要があります。
- スタンバイから復帰する前にパスワードの入力を要求するようにWindowsを設定した場合、スタンバイから復帰するには電源投入時パスワードではなくWindowsのパスワードを入力する必要があります。

以下の点を考慮すれば、HPパスワードとして使用する単語、文字列、または数字を、別のHPパスワードやWindowsのパスワードとして使用できます。

- HPパスワードは32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。
- HPパスワードは、設定したときと同じ種類のキーで入力する必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHPパスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。

内蔵テンキーについては、「[第2章 キーボード](#)」の「[テンキー](#)」を参照してください。

さまざまなパスワードに対して同じ文字を使用できますが、HPパスワードとWindowsのパスワードは、互いに独立しています。HPパスワードおよびWindowsのパスワードに対して同じ文字を使用する場合でも、HPパスワードを[Computer Setup]で、Windowsのパスワードをオペレーティング システムで設定する必要があります。



HP管理者パスワードとWindowsの管理者パスワードは、名前は似ていますが機能が異なります。たとえば、Windowsの管理者パスワードは[Computer Setup]へのアクセスには使用できず、HP管理者パスワードはノートブックコンピュータの内容への管理者レベルのアクセスは提供できません。ただし、両方のパスワードに同じ文字を使用することはできます。

## HP管理者パスワード

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティ内のコンフィギュレーションの設定値とシステム識別情報を保護します。いったんこのパスワードを設定すると、次回から[Computer Setup]ユーティリティで操作するにはパスワードの入力が必要になります。

HP管理者パスワードには、次のような特徴があります。

- HP 管理者パスワードと Windows の管理者パスワードには、同じ単語、文字列、または数字を使用できますが、互いに代替できるものではありません。
- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じ種類のキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHP管理者パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

## HP管理者パスワードの設定

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティで設定、変更、または削除できます。

パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイパネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [Administrator password] (管理者パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
  - ☐ HP 管理者パスワードを設定する場合は、パスワードを [New password] (新しいパスワード) フィールドと [Verify new password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
  - ☐ HP 管理者パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを [Old password] (現在のパスワード) フィールドに入力し、新しいパスワードを [New password] フィールドと [Verify new Password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
  - ☐ HP 管理者パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを [Old password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。

5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## HP管理者パスワードの入力

管理者パスワードの入力画面が表示されたら管理者パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して入力し、[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブック コンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

## 電源投入時パスワード（Power-On Password）

電源投入時パスワードはノートブック コンピュータが不正に使用されることを防ぎます。パスワードの設定後は、コンピュータの電源投入時または再起動時に入力が必要になります。電源投入時パスワードには以下の特徴があります。

- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じ種類のキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使って電源投入時パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

## 電源投入時パスワードの設定

[Computer Setup]ユーティリティを使用して、電源投入時パスワードを設定、変更、または削除できます。

パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイパネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security]（セキュリティ設定）→ [Power-On password]（電源投入時パスワード）の順に選択し、[enter]キーを押します。
  - ☐ 電源投入時パスワードを設定する場合は、パスワードを[New password]（新しいパスワード）フィールドと[Verify new password]（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
  - ☐ 電源投入時パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを[Old password]（現在のパスワード）フィールドに入力し、新しいパスワードを[New password]フィールドと[Verify new password]フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
  - ☐ 電源投入時パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを[Old password]フィールドに入力して、[f10]キーを押します。

5. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## 電源投入時パスワードの入力

電源投入時パスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力して[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブックコンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

## 再起動時の電源投入時パスワードの要求

ノートブックコンピュータを再起動するたびに電源投入時パスワードの入力を要求するよう、コンピュータを設定できます。[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイパネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して、[Security]（セキュリティ設定）→[Password options]（パスワードオプション）→[Require password on restart]（再起動時にパスワードを要求する）の順に選択します。
5. フィールドで有効または無効を選択して、[enter]キーを押します。

6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→ [Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## DriveLock（ドライブロック）

---



**注意：**DriveLockのuser password（ユーザパスワード）とmaster password（マスタパスワード）の両方を忘れてしまうと、ハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要がある場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。

---

DriveLockは、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止します。いったんDriveLockによるプロテクトを設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLockのパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブを別売のドッキングデバイス（一部のモデルのみ）や外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータに装着する必要があります。

DriveLockでは、[Computer Setup]で設定されたmaster passwordおよびuser passwordが必要です。

- DriveLock によってプロテクトされているハードドライブにアクセスするには、user passwordまたはmaster passwordのどちらかが必要です。
- DriveLockによるドライブのプロテクトを解除しないと、user passwordやmaster passwordを削除できません。DriveLockによるハードドライブのプロテクトを解除するには、master passwordが必要です。

- user passwordは、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザが設定する必要があります。master passwordは、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザが設定できます。
- user passwordとmaster passwordは、同じであってもかまいません。



電源投入時パスワード (Power-on password) と DriveLock パスワードの両方に同じパスワードを使用している場合、DriveLock でプロテクトされたハードドライブからノートブック コンピュータを起動すると、電源投入時パスワードと DriveLock パスワードの両方の入力ではなく、電源投入時パスワードの入力のみを要求されます。

## DriveLock パスワードの設定

[Computer Setup] で DriveLock の設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup] を起動します。画面の左下隅に [F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10] キーを押します。
  - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2] キーを押します。
  - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1] キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロック パスワード) の順に選択し、[enter] キーを押します。
5. プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択して、[f10] キーを押します。



6. プロテクトを有効にして、[f10]キーを押します。
7. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[f10]キーを押します。
8. user password を [New password] (新しいパスワード) フィールドと [Verify new password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
9. master password を [New password] フィールドと [Verify new password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
10. 選択したドライブに対する DriveLock のプロテクトを確定するには、確認用のフィールドに「**DriveLock**」と入力して、[f10]キーを押します。
11. DriveLock の設定を保存するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

## DriveLockパスワードの入力

1. ハードドライブが、別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなくノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイに装着されていることを確認します。
2. DriveLockパスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して user password または master password を入力し、[enter]キーを押します。



2回続けて間違えて入力した場合は、ノートブック コンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

---

## 再起動時のDriveLockパスワードの要求

ノートブックコンピュータを再起動するたびにDriveLockパスワードの入力を要求するよう、コンピュータを設定できます。[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して、[Security]（セキュリティ設定）→[Password options]（パスワード オプション）→[Require password on restart]（再起動時にパスワードを要求する）の順に選択します。
5. フィールドで有効または無効を選択して、[enter]キーを押します。
6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## DriveLockパスワードの変更

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - ❑ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ❑ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロック パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択し、[f10]キーを押します。
6. 矢印キーを使用して、変更するパスワードに対するフィールドを選択します。[Old password] (古いパスワード) フィールドに現在使用しているパスワードを入力してから、[New password] (新しいパスワード) フィールドと[Verify new password] (新しいパスワードの確認) フィールドに新しいパスワードを入力して、[f10]キーを押します。
7. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - ❑ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ❑ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロック パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択し、[f10]キーを押します。
6. プロテクション フィールドを無効にして、[f10]キーを押します。
7. [Old password] (古いパスワード) フィールドにmaster passwordを入力し、[F10]キーを押します。
8. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## デバイス セキュリティ

[Computer Setup] の [Device Security] (デバイス セキュリティ) で、ほとんどのポートおよびドライブを使用禁止または部分的に使用禁止にできます。

[Computer Setup] でノートブック コンピュータの機能を無効または再び有効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup] を起動します。画面の左下隅に [F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10] キーを押します。
  - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2] キーを押します。
  - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1] キーを押します。
4. [Security] (セキュリティ設定) → [Device security] の順に選択し、装置の有効/無効を設定します。
5. 設定を確定するには、[f10] キーを押します。
6. 設定を保存するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup] を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## システム情報

システム情報の設定では、お使いのノートブック コンピュータおよびバッテリー パックについての詳細情報が表示されます。以下の項では、他のユーザがシステム情報を表示させることを防ぐ方法、および[Computer Setup]でシステム情報のオプションを設定する方法について説明します。

[システム情報]オプションでは、次の作業を行うことができます。

- ノートブック コンピュータのシリアル番号、アセット タグ (Asset Tag)、およびオーナーシップ タグ (Ownership Tag) の表示または入力
- バッテリー パックのシリアル番号の表示



この情報への不正なアクセスを防ぐには、HP管理者パスワードを作成する必要があります。詳しくは、この章の「[HP 管理者パスワードの設定](#)」を参照してください。

## [システム情報]オプションの設定

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
  - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
  - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。

4. 以下の手順に従って、選択した設定値にアクセスするか、値を設定します。

- ☐ システム情報全般を表示する場合は、[File] (ファイル) → [System Information] (システム情報) の順に選択します。
- ☐ システム コンポーネントの識別番号を表示または入力する場合は、[Security] (セキュリティ設定) → [System ID] (システム ID) の順に選択します。

5. 情報または設定を確定するには、[f10]キーを押します。

6. 情報または設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

## ウィルス対策ソフトウェア

ノートブック コンピュータで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピュータがコンピュータ ウィルスの危険にさらされます。コンピュータ ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスを検出し、駆除できます。また、多くの場合、ウィルスの被害にあった箇所を修復できます。新しく発見されたウィルスからノートブック コンピュータを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを更新する必要があります。

Norton AntiVirusソフトウェアは、お使いのノートブック コンピュータにプリインストールされています。Norton AntiVirusソフトウェアの使用方法については、以下の手順で参照します。

» [スタート]→[すべてのプログラム]→[Norton AntiVirus]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

コンピュータ ウィルスについて詳しくは、以下の手順で参照します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
2. [検索]テキスト フィールドに「ウィルス」と入力します。
3. [enter]キーを押します。

## ファイアウォール ソフトウェア

電子メール、ネットワーク、またはインターネットにアクセスするためにノートブック コンピュータを使用する場合、第三者がユーザ、お使いのコンピュータ、およびデータに関する情報を取得する可能性があります。ファイアウォールは、ログおよびレポートの作成機能、自動警報装置、およびファイアウォールを構成するユーザ インタフェースなどによって、コンピュータのすべての着信/送信トラフィックを監視します。プライバシーを保護するため、ファイアウォール ソフトウェアを使用することをお勧めします。

お使いのノートブック コンピュータでは、Windowsオペレーティング システムのファイアウォールが利用できます。このファイアウォールについて調べるには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[Windowsファイアウォール]の順に選択します。
2. [全般]タブを選択します。
  - ☐ Windowsファイアウォールについて詳しくは、[Windowsファイアウォールのその他の詳細]リンクを選択してください。
  - ☐ Windowsファイアウォールを無効にするには、[無効]を選択します（お勧めしません）。



- Windowsファイアウォールを再び有効にするには、**[有効]**を選択します（お勧めします）。

3. **[OK]**を選択します。

状況によっては、ファイアウォールはインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタまたはファイルの共有を妨害したり、承認済みの形式の電子メール添付ファイルを開けなくしたりすることがあります。Windowsファイアウォールを使用しており、アプリケーションがノートブック コンピュータに初めて着信接続を試みる場合は、セキュリティに関する警告が表示されます。この警告では、アプリケーションへのファイアウォールによるアクセス許可を設定できます。

- アプリケーションのノートブック コンピュータへの接続を許可する場合は、**[ブロックを解除する]**を選択します。（アプリケーションが**[例外]**タブのリストに追加され、Windowsファイアウォールによってブロックされなくなります。）
- アプリケーションを常にブロックする場合は、**[ブロックする]**を選択します。（Windowsファイアウォールにより、アプリケーションが接続しようとするたびにブロックされます。）
- アプリケーションを一時的にブロックする場合は、**[後で確認する]**を選択します。（次回アプリケーションがノートブック コンピュータに接続しようすると、セキュリティ警告が表示されます。）

アプリケーションがファイアウォールによってブロックされないように、手動で**[例外]**タブのリストに追加するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[Windowsファイアウォール]**の順に選択します。
2. **[例外]**タブを選択します。
3. **[プログラムの追加]**を選択し、アプリケーションに関する必要な情報を入力します。
4. **[OK]**を選択します。（アプリケーションが**[例外]**タブのリストに追加され、Windowsファイアウォールによってブロックされなくなります。）

オプションのファイアウォールを使用している場合に、ブロックされているアプリケーションに接続するには、以下の操作を行います。

- 一時的に問題を解決するには、ファイアウォールを無効にし、タスクを実行してから再びファイアウォールを有効にします。
- 永続的に問題を解決するには、ファイアウォールを再設定します。ファイアウォールのマニュアルを参照するか、ファイアウォールの提供元にお問い合わせください。

## Windows XPの緊急セキュリティ アップデート



**注意：**日々新しいコンピュータ ウィルスが検出されるため、Microsoft社から通知があった場合は直ちにすべての緊急アップデートをインストールすることをお勧めします。また、Windows Updateは毎月実行し、Microsoft社が提供する最新の推奨アップデートをインストールしてください。

ノートブック コンピュータが構成された後で提供が始まったアップデートは、Critical Security Updates for Windows XPディスクに収録されてコンピュータに付属していることがあります。コンピュータの使用期間中を通して、Microsoft社ではオペレーティングシステムのアップデートを行い、それらをMicrosoft社のWebサイト上で配布していきます。

Critical Security Updates for Windows XPディスクを使用してシステムをアップデートするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをドライブに挿入します。自動的にディスクのインストールアプリケーションが実行されます。
2. 画面上の指示に従って、すべてのアップデートをインストールします。インストールが完了するまで数分お待ちください。
3. ディスクを取り出します。

## HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)

お使いのノートブック コンピュータにはHP ProtectToolsセキュリティ マネージャがプリインストールされており、Microsoft Windowsの[コントロール パネル]からアクセスできます。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピュータ本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するのに役立ちます。HP ProtectToolsセキュリティ マネージャのアドオン モジュールには、以下のものが含まれます。

- Embedded Security for ProtectTools
- Credential Manager for ProtectTools
- BIOS Configuration for ProtectTools
- Smart Card Security for ProtectTools

ノートブック コンピュータのモデルによって、アドオン モジュールがプリインストールまたはプリロードされている場合と、HPのWebサイトからダウンロードする場合があります。詳しくは、

<http://www.hp.com/support> (英語サイト) にアクセスしてください。

## Embedded Security for ProtectTools

---



Embedded Security for ProtectToolsを使用するためには、オプションの内蔵セキュリティ チップが必要です。

---

Embedded Security for ProtectToolsのセキュリティ機能を使用して、ユーザ データや証明書を不正なアクセスから保護することができます。データや証明書には、以下のものが含まれます。

- 管理者の機能 (管理者パスワードのオーナーシップや管理など)
- ユーザの機能 (ユーザ パスワードの登録や管理など)

- 設定情報（ユーザ データを保護するための、高度なMicrosoft EFSおよびPersonal Secure Driveのセットアップを含む）
- マネジメント機能（キー階層のバックアップや復元など）
- 内蔵セキュリティ使用時にデジタル認証の操作を保護する、他社製のアプリケーション（Microsoft OutlookやInternet Explorerなど）のサポート

オプションの内蔵セキュリティ チップを使用すると、HP ProtectTools セキュリティ マネージャの他のセキュリティ機能を強化したり有効にしたりできます。たとえば、Credential Manager for ProtectToolsでは、内蔵チップを Windowsへのログオン時の認証要素として使用できます。一部のモデルでは、BIOS Configuration for ProtectToolsからアクセスする高度なBIOSセキュリティ機能を、内蔵セキュリティ チップを使用して有効にすることもできます。

詳しくは、Embedded Security for ProtectToolsのオンライン ヘルプ、またはNotebook Documentation CDに収録されている『HP ProtectTools内蔵セキュリティ ガイド』を参照してください。

## Credential Manager for ProtectTools

Credential Manager for ProtectToolsでは、ノートブック コンピュータへの不正なアクセスに対するセキュリティ機能を提供します。セキュリティ機能には、以下のものが含まれます。

- Microsoft Windowsへのログオン時のパスワードに代わる、スマートカードなどの使用
- Webサイト、アプリケーション、および保護されたネットワーク リソースでの証明書を自動的に記憶するシングルサインオン機能
- スマート カードおよび指紋認証機能などの、オプションのセキュリティ デバイスのサポート

詳しくは、Credential Manager for ProtectToolsのオンライン ヘルプを参照してください。

## BIOS Configuration for ProtectTools

BIOS Configuration for ProtectToolsを使用すると、HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ アプリケーション内のBIOSのセキュリティ設定にアクセスできます。これにより、システムBIOSが管理するシステムのセキュリティ機能に、より簡単にアクセスできるようになります。

BIOS Configuration for ProtectToolsを使用して、次のことができます。

- 電源投入時のユーザ パスワードおよび管理者パスワードの管理
- スマート カード パスワードおよび電源投入時パスワードなどの、ブート前の認証機能の設定
- ハードウェアの機能の有効化または無効化（CD-ROMのブート機能の有効化など）
- ブート オプションの設定（メイン ハードドライブ以外のドライブからのブートの無効化など）



BIOS Configuration for ProtectToolsの機能の多くは、[Computer Setup]でも使用できます。詳しくは、「[第8章 ソフトウェアの更新と修復およびシステム ソフトウェア](#)」を参照してください。

---

詳しくは、BIOS Configuration for ProtectToolsのオンライン ヘルプを参照してください。

## Smart Card Security for ProtectTools

Smart Card Security for ProtectToolsを使用して、次のことができます。

- スマートカードのオプションのセキュリティ機能へのアクセス。セキュリティの強化機能は、別売のHP ProtectToolsスマートカードおよび対応するスマートカードリーダー（HP PCカードスマートカードリーダーなど）でサポートされます。
- 別売のHP ProtectToolsスマートカードの初期化を行い、Credential Manager for ProtectToolsで使えるようにします。
- BIOSを使用して、プリブート環境での別売のスマートカードによる認証を有効にし、管理者とユーザで別々のスマートカードを設定します。この操作を行うには、オペレーティングシステムのロードを許可する前に、スマートカードの挿入および任意のPINの入力を行う必要があります。

BIOSのセキュリティ機能について詳しくは、「[第8章 ソフトウェアの更新と修復およびシステムソフトウェア](#)」を参照してください。

- 別売のスマートカードでユーザの認証に使用するパスワードの設定および変更を行います。
- 別売のスマートカードに保存されている証明書のバックアップおよび復元を行います。

詳しくは、Smart Card Security for ProtectToolsのオンラインヘルプを参照してください。

## 別売のセキュリティ ロック ケーブル

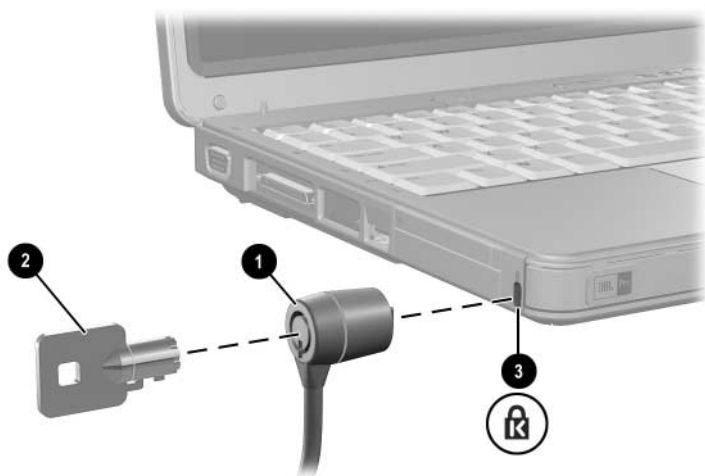


セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブックコンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

---

セキュリティ ケーブルを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. 安定した固定物にセキュリティ ケーブルを巻き付けます。
2. 鍵①をケーブル ロック②に差し込みます。
3. ケーブル ロックをセキュリティ ロック ケーブル用スロット③に差し込み、鍵を回転させてケーブル ロックを固定します。



---

## ハードウェアのアップグレードと交換

### デバイスの接続

#### 外部電力を使用するデバイスの接続

電源コードが付いているオプションの外付けデバイスにノートブックコンピュータを接続するには、以下の手順で操作します。

1. デバイスの電源が切断されていることを確認します。
2. デバイスの製造元が指定したノートブック コンピュータのコネクタに、デバイスを接続します。
3. デバイスの電源コードをアース付きコンセントに差し込みます。
4. デバイスの電源を入れます。



正しく接続されたモニタまたは他のディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、[fn]+[f4]ホットキーを押して、画像の出力先を新しいデバイスに切り替えます。

外部電力を使用する外付けデバイスをノートブック コンピュータから取り外すには、以下の手順で操作します。

1. デバイスの電源を切ります。
2. デバイスをノートブック コンピュータから取り外します。



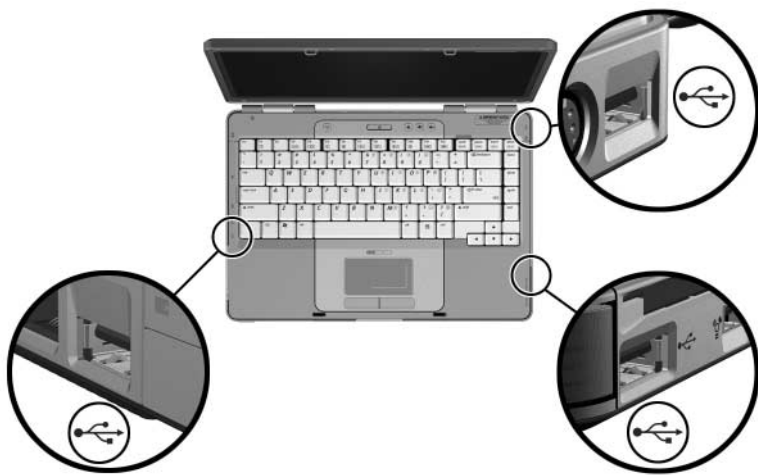
## USBデバイスの接続

USB（Universal Serial Bus）は、USBキーボード、マウス、ドライブ、プリンタ、スキャナ、ハブなどの外付けデバイスをノートブック コンピュータまたは別売の拡張ベースに接続して使用できるハードウェアのインタフェースです。

ハブは、デバイスを接続するためのデバイスで、外部電源を使用するものと使用しないものがあります。USBハブは、ノートブック コンピュータのUSBポートおよび他のUSBハブに接続できます。ハブはさまざまなUSBデバイスをサポートし、ハブを使用することにより、システムに接続するUSBデバイスの数を増やすことができます。

- 外部電力を使用するハブの場合、外部電力に接続する必要があります。
- 外部電力を使用しないハブの場合、ノートブック コンピュータのUSBポートまたは外部電力を使用するハブのポートに接続する必要があります。

ノートブック コンピュータの3つのUSBポートは、USB 2.0、USB 1.1、およびUSB1.0互換のデバイスをサポートします。

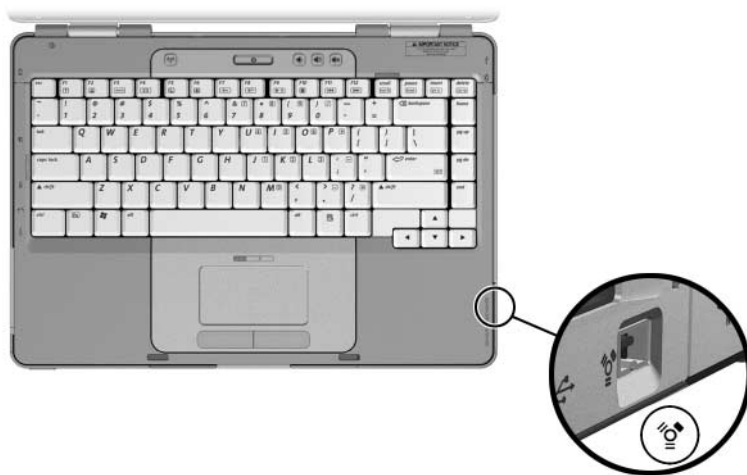


## 1394デバイスの接続

IEEE 1394は、高速マルチメディア デバイスまたは高速記憶装置をノートブック コンピュータへ接続するためのハードウェア インタフェースです。スキャナ、デジタル カメラ、およびデジタル ビデオ カメラの接続には通常、1394デバイスが必要です。

接続する1394デバイスによっては、使用する前にデバイス固有のドライバおよびソフトウェアのロードが必要な場合があります。デバイス固有のソフトウェアについては、デバイスのマニュアルを参照するか、デバイスの製造元または提供元のWebサイトにアクセスして参照してください。

次の図に示されているノートブック コンピュータの1394ポートは、IEEE 1394aデバイスをサポートしています。



## 通信デバイスの接続

モデムの接続および使用については、Notebook Documentation CDに収録されている、モデムに関するガイドを参照してください。モデムの接続およびインターネット サービス プロバイダ (ISP) のサービスのセットアップに関する基本的な手順については、ノートブック コンピュータに付属の印刷物の『コンピュータの準備』にも記載されています。

別売の無線デバイスの使用については、「[第5章 無線（一部のモデルのみ）](#)」を参照してください。

ノートブック コンピュータの起動時に、ネットワーク サービス ブートを使用してPXE (Preboot Execution Environment) サーバに接続する方法については、「[第8章 ソフトウェアの更新と修復およびシステム ソフトウェア](#)」の「[高度なセットアップユーティリティ機能の使用](#)」を参照してください。

モデムの接続、無線接続、およびネットワーク接続について詳しくは、[\[スタート\]→\[ヘルプとサポート\]](#)の順に選択してください。[\[ヘルプとサポート\]](#)ユーティリティでは、操作手順、チュートリアル、およびウィザードなどを含む通信関連の情報を提供しています。これらの情報は、さまざまな接続のセットアップまたはトラブル解決を行うときに役立ちます。

モデム、ネットワーク、および無線のトラブル解決に関する情報は、Notebook Documentation CDに収録されている『トラブルシューティング』にも記載されています。

## デジタル メモリ カード

ノートブック コンピュータの6-in-1メディア スロットでは、以下のデジタル メモリ カードをサポートしています。

- メモリ スティックおよびメモリ スティックPRO
- xDピクチャ カード
- マルチメディア カード
- SmartMedia (SM) カード
- Secure Digital (SD) メモリ カード

デジタル メモリ カードは通常、デジタル カメラ、デジタル ビデオ カメラ、およびその他のハンドヘルド デバイスの記憶装置として使用します。

指定した方法でデジタル メモリ カードのファイルを開くよう、ノートブック コンピュータを設定できます。たとえば、デジタル メモリ カードに保存されている写真をスライド ショー形式で表示するように設定できます。詳しくは、[「第4章 マルチメディア」](#)の[「自動再生機能の設定」](#)を参照してください。

次ページ以降で説明する6-in-1メディア スロット ランプおよび6-in-1メディア スロットは、6-in-1メディア スロットを搭載しているモデルでのみ使用可能です。

## 6-in-1 メディア スロット ランプの使用

6-in-1メディア スロット ランプは、挿入されているデジタル メモリ カードにアクセスしているときに点灯します。挿入されているデジタル メモリ カードがアクティブでない場合、および6-in-1 メディア スロットにカードが挿入されていない場合は、6-in-1メディア スロット ランプは消灯します。



## デジタル メモリ カードの挿入

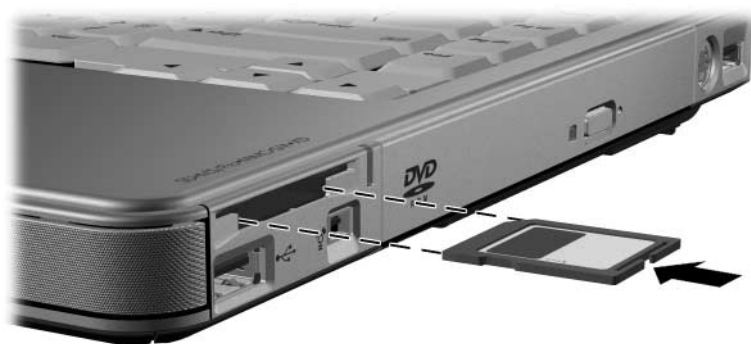


**注意：**デジタル メモリ カード コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- デジタル メモリ カードを6-in-1メディア スロットに挿入するときには、無理な力を加えないでください。
- デジタル メモリ カードが6-in-1メディア スロットに挿入されているときには、ノートブック コンピュータを動かしたり、持ち運んだりしないでください。

デジタル メモリ カードを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. デジタル メモリ カードのラベル側を上にし、コネクタをノートブック コンピュータ側に向けて持ちます。
2. メモリ カードがしっかりとはまるまで、6-in-1メディア スロットに静かにスライドさせて挿入します（カードはノートブック コンピュータから少し出た状態になります）。



## デジタル メモリ カードの取り出し

デジタル メモリ カードを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. カードを使用しているすべてのアプリケーションおよび操作を終了します（データ転送を終了するには、Windowsの[コピーしています]ウィンドウの[キャンセル]ボタンを選択します）。
2. Windowsデスクトップの[マイ コンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
3. カードに割り当てられているドライブを右クリックし、次に[取り出し]を選択します（カードは停止しますが、6-in-1メディア スロットには挿入されたままです）。
4. カードをスロットからスライドさせて取り出します。



## PCカード

PCカードは、クレジットカードと同じくらいの大きさの装置で、PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association) の標準仕様に準拠しています。PCカードを使用すると、モデム、音声、記憶装置、無線通信、またはデジタルカメラの各機能をノートブックコンピュータに追加できます。

ノートブックコンピュータのPCカードスロットは、Type IまたはType IIの32ビットのPCカード (CardBus) または16ビットのPCカード1個をサポートします。



**注意:** すべてのPCカードをサポートできるようにするため、このPCカードソフトウェアを単独の他社のすべてのソフトウェアまたは任意のインネブラで上書きしないでください。PCカードに付属のマニュアルに専用のデバイスドライバをインストールするように記載されている場合は、次のようにします。

- お使いのオペレーティングシステム用のデバイスドライバだけをインストールしてください。
- PCカードの製造販売元が他のソフトウェア (カード サービス、ソケット サービス、インネブラなど) を提供していても、それらをインストールしないでください。



## PCカードの挿入

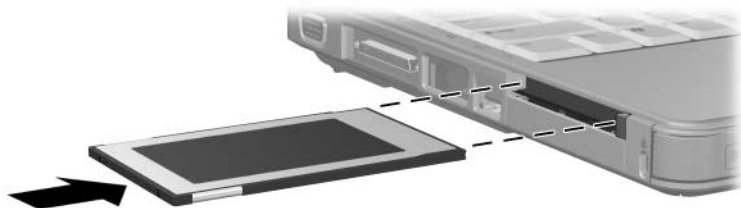
---



**注意:**PCカード コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- PCカードをPCカード スロットに挿入するときには、無理な力を加えないでください。
- PCカードがPCカード スロットに挿入されているときには、ノートブック コンピュータを動かしたり、持ち運んだりしないでください。

- 
1. PCカードのラベル側を上にし、コネクタをノートブック コンピュータ側に向けて持ちます。
  2. カードがしっかりとハマるまで、PCカード スロットに静かにスライドさせて挿入します。



## PCカードの停止と取り出し



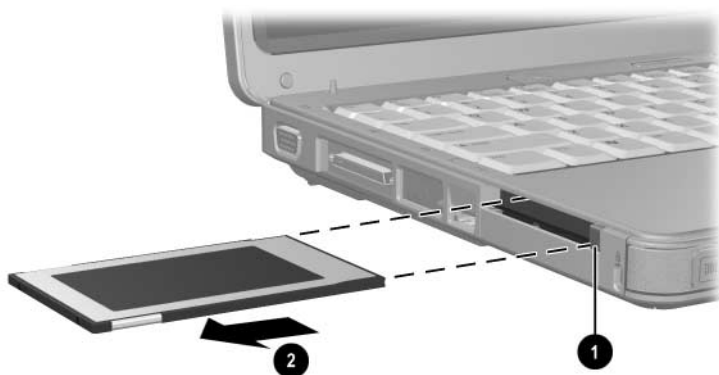
**注意:** データの損失やシステムが反応しなくなることを防ぐために、PCカードを取り出す前にPCカードを停止してください。



PCカードを使用していない場合でも、停止することで節電できます。

PCカードを停止したり取り出したりするには、以下の手順で操作します。

1. PCカードを使用しているすべてのアプリケーションおよび操作を終了します。次に、以下の操作を行います。
  - ❑ PCカードを停止するには、タスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択し、次に[PCカード]を選択します ([ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示させるには、タスクバーを右クリックして[プロパティ]を選択し、[アクティブでないインジケータを隠す]チェック ボックスをオフにしてから[OK]を選択します)。
  - ❑ PCカードを取り出すには、上記の手順でPCカードを停止してから手順2に進みます。
2. PCカードのイジェクト ボタンを押します① (ボタンを1回押して外側に出し、次にもう1回押してPCカードを取り出す必要がある場合があります)。
3. PCカードを持ち、ゆっくりとスライドさせて取り出します②。



## ドライブ

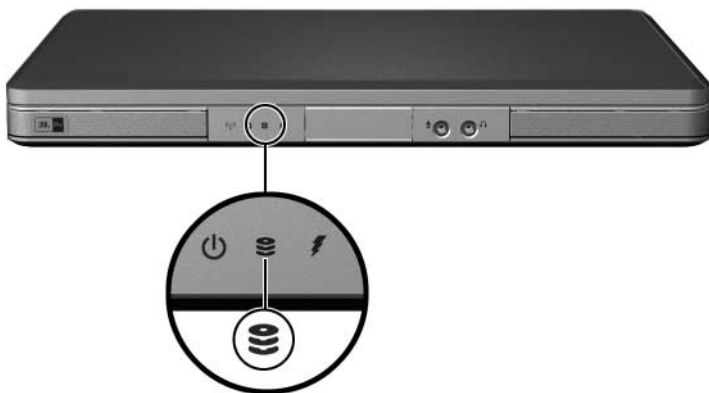
### システムへのドライブの追加

内蔵ハードドライブおよびオプティカルドライブは、ノートブック コンピュータに標準装備されています。オプティカルドライブの種類は、コンピュータのモデルにより異なります。

ドライブのマニュアルに従ってUSBポートまたは1394ポートにドライブを接続すると、システムにドライブを追加することができます。マイクロドライブPCカードまたはデジタルメモ리카ード (Secure Digital (SD) メモ리카ードなど) を使用して、ハードドライブの容量を追加することもできます。

### IDEドライブ ランプの使用

内蔵ハードドライブまたはオプティカルドライブにアクセスしているときは、IDE (Integrated Drive Electronics) ランプが点灯します。



## ドライブの取り扱い上の注意



**注意:** ノートブック コンピュータやドライブが損傷したりデータが失われたりすることを防ぐために、次の点に注意してください。

- 修理または交換を行うとき以外は、内蔵ハードドライブを取り外さないでください。詳しくは、この章の「[内蔵ハードドライブの交換](#)」を参照してください。
- 静電気によって電子部品が損傷する可能性があります。静電気の放電によってノートブック コンピュータやドライブが損傷することを防ぐために、以下の2つの予防措置をとってください。(1) ドライブに触れる前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。(2) ドライブのコネクタに触れないようにしてください。静電気対策について詳しくは、Notebook Documentation CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』の「静電気対策」を参照してください。
- ドライブを取り付けるときには、無理な力を加えないでください。差し込む力が強すぎると、コネクタが壊れる恐れがあります。
- ドライブは、落としたり、衝撃を与えたりしないように慎重に取り扱ってください。
- 磁気を発する装置にハードドライブを近づけないようにしてください。磁気を発する製品には、ビデオテープ レコーダ、オーディオテープ レコーダ、モニタ、スピーカなどが含まれます。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をベルト コンベア上でチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ハードドライブには影響しません。
- ドライブに洗剤などを垂らさないでください。
- 液体をドライブに垂らしたり、高温の場所にドライブを放置したりしないでください。
- ドライブを郵便や宅配便で送付する場合は、衝撃、振動、および高温多湿の環境からドライブを保護するように緩衝材で包み、しっかりと梱包して「コワレモノー取り扱い注意」などのラベルを貼ってください。

## 内蔵ハードドライブの交換

ハードドライブ ベイに装着されているハードドライブを、「内蔵ハードドライブ」といいます。内蔵ハードドライブの取り外しは、修理または交換する場合にのみ行ってください。



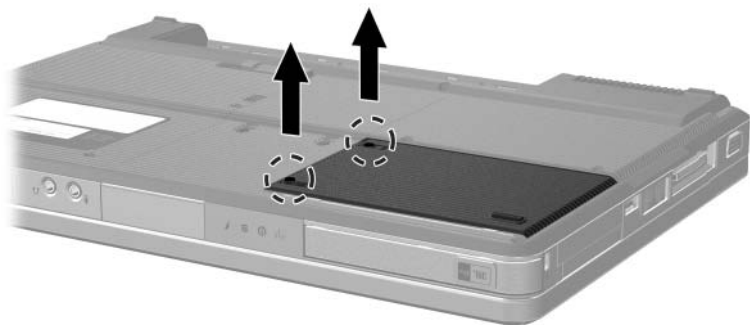
**注意：**システムが反応しなくなったりデータが損失したりすることを防ぐため、この操作を行う前に以下の作業を行ってください。

- 作業中のファイルを保存し、開いているアプリケーションをすべて閉じて、ノートブック コンピュータをシャットダウンします。お使いのコンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態かわからない場合は、コンピュータの電源を入れて、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
- ノートブック コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
- ノートブック コンピュータを外部電源から切断し、バッテリー パックを取り外します。

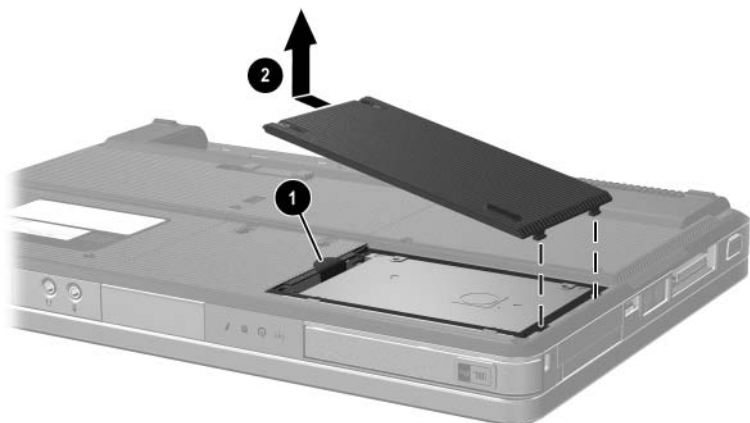
バッテリー パックの取り外し手順については、「[第3章 電源](#)」の「[バッテリーパックの交換](#)」を参照してください。

内蔵ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

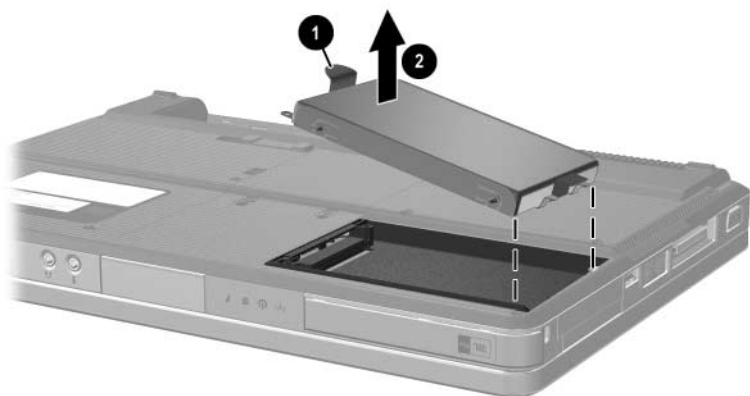
1. ノートブック コンピュータを裏返します。
2. ハードドライブを固定している2つのネジを取り外します。



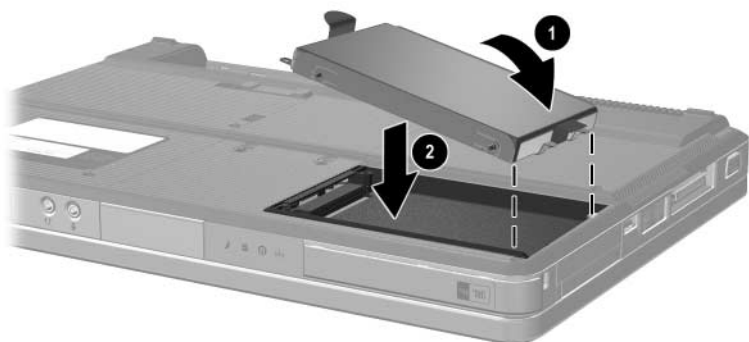
3. ハードドライブ カバーを取り外して、ハードドライブ タブ①が表面に出るようにします。ハードドライブ カバーを取り外すには、カバーを左に短くスライドさせてから上方向に持ち上げて、ノートブック コンピュータから離します②。



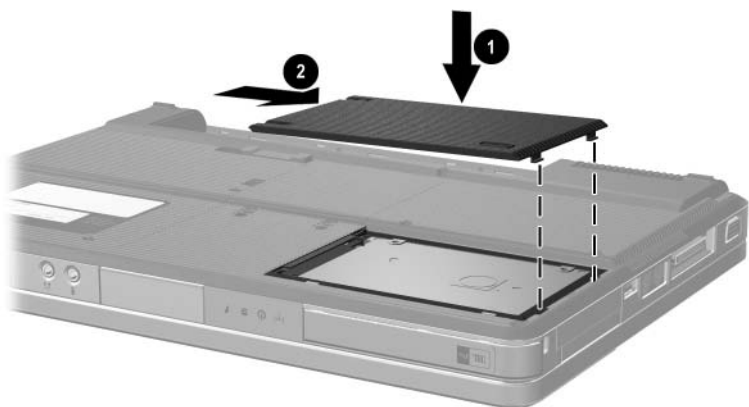
4. ハードドライブを取り外すには、ハードドライブ タブ①を引き上げて固定を解除してから、ハードドライブを持ち上げてハードドライブ ベイから取り出します②。



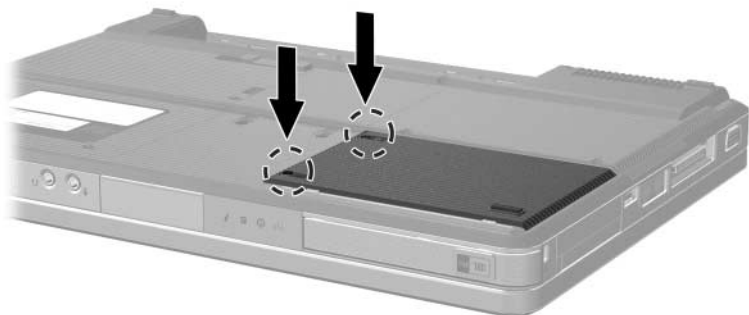
5. 新しいハードドライブを装着するには、ハードドライブのコンネクタ側の端を下方向に傾けてから①、ハードドライブ ベイに固定されるまでハードドライブを押し下げます②。



6. ハードドライブ カバーを取り付けなおします。
- a. カバーの位置をハードドライブ ベイに合わせます①。
  - b. カバーが固定されるまで、ノートブック コンピュータの右側面の方へ少しスライドさせます②。



7. ハードドライブの2つの固定用ネジを留めます。





## メモリ

お使いのノートブック コンピュータには2基のメモリ スロットが装備されています。コンピュータのモデルによっては、一方または両方のメモリに交換可能なメモリ モジュールが装備されている場合があります。

## メモリの増設

空のメモリ スロットにメモリを追加したり、取り付けられているメモリを交換したりすることで、ノートブック コンピュータのRAM（ランダム アクセス メモリ）を増設することができます。

RAMを増設すると、ハイバネーション ファイル用のハードドライブ領域もオペレーティング システムによって拡張されます。RAMを増設する前に、ハイバネーション ファイルの拡張に必要な空き領域がハードドライブにあるかどうかを確認することをお勧めします。

- システムに搭載されたRAMの容量を表示するには、以下の操作を行います。

[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

- ハードドライブの空き領域とハイバネーション ファイル用に必要な領域の両方を表示するには、以下の操作を行います。

[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。

## メモリ モジュールの着脱



**警告：**感電を防ぐため、メモリ モジュールを着脱するときは、メモリ コンパートメントに対してのみ作業を行ってください。ユーザが取り扱うことができるノートブック コンピュータの内部コンパートメントは、メモリ コンパートメント、バッテリー ベイ、およびハードドライブ ベイだけです。その他のコンパートメントに対して作業を行う必要がある場合は、必ずサポート窓口にお問い合わせください。



**警告：**感電やノートブック コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータをシャットダウンし、電源コードとすべてのバッテリー パックをコンピュータから取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。



**注意：**静電気によって電子部品が損傷することを防ぐため、この作業を始める前に、正しくアースして衣類などにたまった静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、Notebook Documentation CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』の「静電気対策」を参照してください。

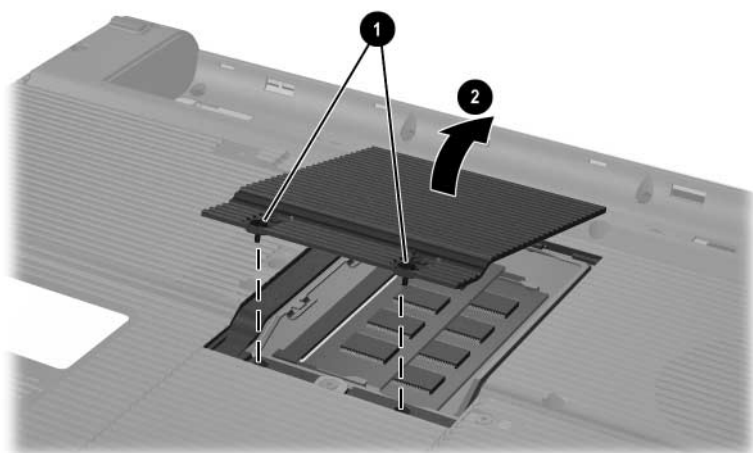
1. データを保存して、すべてのアプリケーションを終了します。
2. ノートブック コンピュータの電源を切ります。

お使いのノートブック コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態かわからない場合は、コンピュータの電源を入れて、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。

3. ノートブック コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. ノートブック コンピュータを外部電源から切断します。
5. バッテリー パックを取り外します。

詳しくは、「[第3章 電源](#)」の「[バッテリー パックの交換](#)」を参照してください。

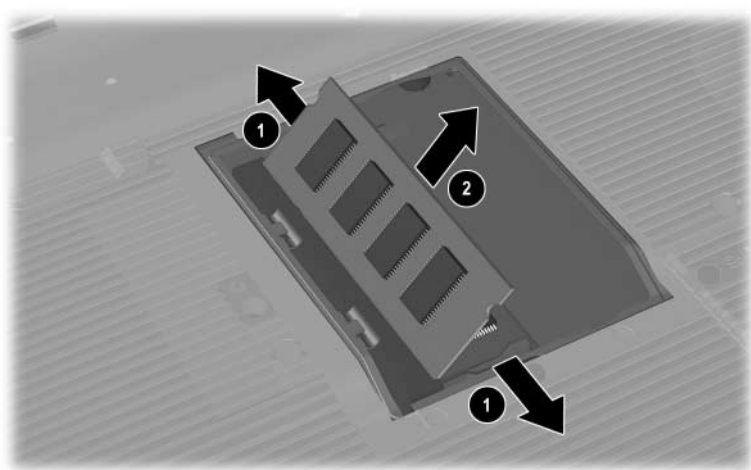
6. ノートブック コンピュータを裏返します。
7. メモリ コンパートメント カバーを固定している2つのネジを取り外し①、メモリ コンパートメント カバーを持ち上げて取り外します②。



8. メモリ モジュールの着脱を行います。

メモリ モジュールを取り外すには、以下の手順で操作します。

- a. メモリ モジュールの両側にあるプラスチック製の止め具を左右に引っ張ります❶。メモリ モジュールが少し上に出てきます。
- b. メモリ モジュールの両端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて取り外します❷。
- c. 取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

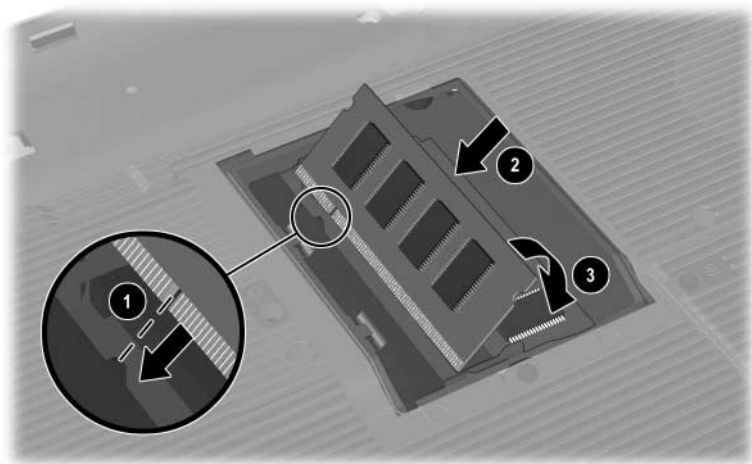


メモリ モジュールを取り付けるには、以下の手順で操作します。

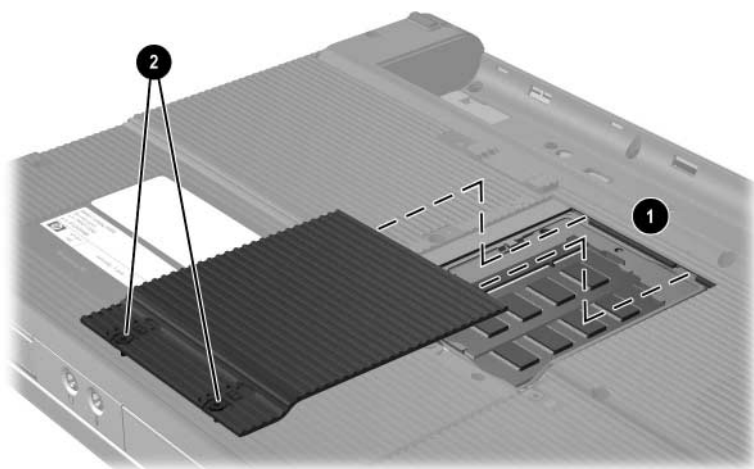
- a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ スロットの切り込みを合わせます❶。

空のメモリ スロットにメモリ モジュールを1つ取り付ける場合は、右側のスロットに取り付けてください（下の図では、2つ目のメモリ モジュールが取り付けられているメモリ コンパートメントの右側のスロットに、メモリ モジュールを取り付けています）。

- b. メモリ スロットに収まるまで、メモリ コンパートメントの表面から45° の角度でメモリ モジュールを差し込みます❷。
- c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、モジュールを押し下げます❸。



9. メモリ コンパートメントを閉じるには、メモリ コンパートメント カバーの端をノートブック コンピュータ側の溝に合わせてから、所定の位置に収まるまでメモリ コンパートメントの上をスライドさせます①。
10. メモリ コンパートメント カバーを固定する2つのネジを取り付けます②。



11. バッテリー パックを元に戻し、外部電源を接続しなおしてから、ノートブック コンピュータを起動しなおします。

---

# ソフトウェアの更新と修復および システム ソフトウェア

## ソフトウェアの更新

ノートブック コンピュータの性能を最大限に活用するために、またお使いのコンピュータを技術革新に対応させていくためには、お使いのコンピュータに含まれているソフトウェアの最新のバージョンを常にインストールしておきます。

その他のソフトウェアを変更する場合と同様、ソフトウェアを更新する前に復元ポイントを設定しておくことを強くお勧めします。手順については、この章の「[\[システムの復元\]の使用](#)」を参照してください。

ノートブック コンピュータに含まれるソフトウェアを更新する場合、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択して表示されるソフトウェア更新のリンクを選択すると、一番簡単に実行できる場合があります。

より詳しい手順で更新したい場合は、次の項目以降で説明する補足情報が以下の作業に役立つことがあります。

- お使いのノートブック コンピュータのカテゴリ、製品名、製品番号、およびシリアル番号の確認による更新準備
- お使いのノートブック コンピュータに現在インストールされているROMのバージョンを確認することによる、ROM (Read Only Memory) 更新準備
- HPのWebサイトにある更新情報へのアクセス
- 最新ソフトウェアのダウンロードおよびインストール

## ソフトウェアの更新準備

お使いのノートブック コンピュータをネットワークに接続している場合は、最新のソフトウェアをインストールする前、特にROMを更新する前に、ネットワーク管理者に相談してください。

### ノートブック コンピュータの製品情報へのアクセス

ノートブック コンピュータの更新情報にアクセスするには、以下の情報が必要になる場合があります。

- 製品カテゴリは、「ノートブック コンピュータ」です。
- 製品名、製品番号 (P/N) 、およびシリアル番号 (S/N) は、サービス タグに記載されています。この情報は、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択すると参照でき、またコンピュータの裏面にあるサービス タグ ラベルにも記載されています。

### ノートブック コンピュータのROM情報へのアクセス

提供されている最新ROMが、お使いのノートブック コンピュータに現在インストールされているROMのバージョンよりも新しいものかどうかを確認するには、現在インストールされているROMのバージョンを確認する必要があります。

- » ROM情報をWindowsから確認するには、[fn] + [esc]ホットキーを押します。[fn] + [esc]画面に、システムROMのバージョンがBIOS (Basic Input Output System) の日付で表示されます。一部のノートブック コンピュータ モデルでは、BIOSの日付が小数点で区切られた形式で表示されます。画面をクリアするには、[esc]キーを押します。

ROM情報はセットアップ ユーティリティからも表示できます。表示する方法はこの項目で説明します。セットアップ ユーティリティについて詳しくは、この章の「[セットアップ ユーティリティ](#)」を参照してください。



ROM情報をセットアップ ユーティリティで表示するには、以下の手順で操作します。

1. セットアップ ユーティリティを起動するには、ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して Windows を起動し、画面の左下隅に [Press <F10> to enter setup] メッセージが表示されている間に [f10] キーを押します。
2. セットアップ ユーティリティが起動したときにシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して [Main] (メイン) メニューを選択します。([Main] メニューを選択すると、ROM およびその他のシステム情報が表示されます。)
3. 設定を変更せずにセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して [Exit] (終了) メニュー → [Exit Discarding Changes] (変更を保存せずに終了する) の順に選択して [enter] キーを押します。(Windows が再起動します。)

## 最新ソフトウェアのダウンロードおよびインストール

HP の Web サイトでは、ほとんどのソフトウェアを提供しており、「SoftPak」という名前の圧縮ファイルで提供しています。一部の最新 ROM は、「ROMPak」という名前の圧縮ファイルで提供しています。

ほとんどのダウンロード パッケージには、Readme.txt という名前のファイルが含まれています。Readme.txt ファイルには、ダウンロードについての詳しい説明と、インストールおよび問題解決のための情報が記載されています。ROMPak に収録されている Readme.txt ファイルは、英語で提供されています。

以下の各項目では、ダウンロードおよびインストールの手順について説明します。

### ■ ROM の更新

- 最新アプリケーションなど、最新 ROM 以外の最新ソフトウェアが含まれている SoftPak

## 最新のROMのダウンロードとインストール

---



**注意：**ノートブック コンピュータに重大な損傷を与えたり、インストールに失敗したりしないために、ACアダプタを使用して安定した外部電源にコンピュータを接続しているときにのみ、最新のROMのダウンロードおよびインストールを行ってください（別売の拡張ベースにコンピュータを接続しているとき、およびコンピュータをバッテリー電源で動作させているときには、ROMのダウンロードおよびインストールを行わないでください）。ダウンロードおよびインストール中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コンセントからノートブック コンピュータの電源コードを抜かないでください。
  - ノートブック コンピュータをシャットダウンしたり、スタンバイやハイバネーションを起動したりしないでください。
  - デバイスを着脱することや、ケーブルまたはコードを接続したり取り外したりすることはお止めください。
- 

### 最新のROMのダウンロード

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択し、お使いのノートブック コンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
2. ノートブックを選択します。
3. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリー、機種、オペレーティング システム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
4. 表示された一覧の中から、現在インストールされているシステム ROMより新しいROMのパッケージを、Webページの指示に従ってダウンロードします。

## 最新のROMのインストール

ダウンロードしたROMによってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される指示に従って操作します。指示が表示されない場合は、以下の手順で操作します。

1. Windowsエクスプローラを起動します。**[スタート]**ボタンからWindowsエクスプローラを起動するには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]**の順に選択します。
2. **[エクスプローラ]**ウィンドウ内の左側のウィンドウで、**[マイ コンピュータ]→ハードドライブ**の順に選択します（ハードドライブ名は通常は**[ローカル ドライブ (C:)]**です）。最新のROMが含まれているフォルダにアクセスします。
3. インストールを開始するには、フォルダを開き、拡張子が**.exe**のファイル（Filename.exeなど）をダブルクリックします。最新のROMのインストールが開始されます。
4. 画面の説明に従って、インストールを完了します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロード先のフォルダからダウンロード パッケージを削除できます。

---

## ROM以外のSoftPakのダウンロードとインストール

ROM以外のソフトウェアを更新するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択して、最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択し、お使いのノートブック コンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
2. ノートブックを選択します。
3. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリー、機種、オペレーティング システム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
4. 表示された一覧の中からソフトウェアを選択し、Web ページの指示に従ってダウンロードします。

5. ダウンロードが完了したら、Windowsエクスプローラを起動します。  
[スタート]ボタンから Windowsエクスプローラを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]の順に選択します。
6. [エクスプローラ]ウィンドウ内の左側のウィンドウで、[マイ コンピュータ]→ハードドライブ（通常は[ローカル ドライブ (C:) ]）→[Software Setup]の順に選択します。  
  
HPのWebサイトからダウンロードしたファイルは、ほとんどの場合 [Software Setup] フォルダに保存されます。ファイルが [Software Setup] フォルダにない場合は、[マイ ドキュメント] フォルダを確認してみてください。
7. ダウンロード先のフォルダで、ダウンロードしたソフトウェア パッケージの名前または番号を選択します。
8. 拡張子が.exeのファイル（Filename.exeなど）を選択します。インストールが開始されます。
9. 画面の説明に従って、インストールを完了します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをダウンロード先フォルダから削除できません。

---

## ソフトウェアの修復

### [システムの復元]の使用

[システムの復元]は、ノートブック コンピュータ ソフトウェアへの悪影響のある変更を元に戻すための、オペレーティング システムの機能です。復元ポイントと呼ばれる、ソフトウェアが正常に機能していた時点まで、ソフトウェアを復元します。

復元ポイントは、システム上の復元可能なアプリケーション、ドライバ、およびオペレーティング システム ファイルのベンチマークの「スナップショット」です。お使いのノートブック コンピュータでは復元ポイントが定期的に設定されます。また、個人設定を変更したりソフトウェアやハードウェアを追加したりするたびに、追加の復元ポイントが設定される場合があります。

手動で追加の復元ポイントを設定すると、システム ファイルやシステムの設定がより確実に保護されます。次の場合に、手動で復元ポイントを設定しておくことをお勧めします。

■ ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前

■ システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に設定します）

どの復元ポイントに復元しても、データ ファイルには影響はありません。たとえば、システム ソフトウェアを以前の状態に復元しても、復元ポイントの設定後に保存した文書や電子メールには影響を与えません。すべてのシステムの復元手順は、元に戻すことができます。

### 復元ポイントの設定

システムの復元ポイントを手動で設定するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]→[システムの復元]の順に選択します。
2. [復元ポイントの作成]を選択し、画面の指示に従って操作します。

## 復元ポイントへの復元

ノートブック コンピュータを復元ポイントまで復元するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータが、ACアダプタを使用して安定した外部電源に接続されていることを確認します。
2. [スタート]→[ヘルプとサポート]→[システムの復元]の順に選択します。
3. [コンピュータを以前の状態に復元する]を選択し、画面の指示に従って操作します。

## ソフトウェアの修復または再インストール

デバイス ドライバ、アプリケーション、またはオペレーティングシステムを修復または再インストールする必要がある場合は、『ヘルプおよびサポート ガイド』の「第4章 ソフトウェアの修復または再インストール」を参照してください。

印刷物の『ヘルプおよびサポート ガイド』は、ノートブック コンピュータに同梱されています。『ヘルプおよびサポート ガイド』はNotebook Documentation CDにも収録されています。

## Quick Launch Buttonsの[設定]

Quick Launch Buttonsの[設定]を使用して、以下の操作を行えます。

- [Quick Launch Buttons]アイコンの表示設定
- Windowsデスクトップのアイコンおよび文字のサイズと配置の変更
- ホットキー情報の表示
- オプションの外付けキーボードのイージー アクセス ボタンの割り当ての設定

以下の項目では、[設定]内での設定方法について説明します。[設定]の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンを選択してください。ヘルプ ボタンは、疑問符のアイコンで示されています。

## Quick Launch Buttonsの[設定]へのアクセス

Quick Launch Buttonsの[設定]にアクセスするには、[スタート]ボタンを使用するか、タスクバーまたはWindowsデスクトップに表示されるアイコンを使用します。

- » [スタート]ボタンからQuick Launch Buttonsの[設定]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。

## Windowsデスクトップ アイコン表示の設定

デスクトップ上のアイコンのサイズと、アイコンとともに表示される文字のサイズを変更するには、以下の手順で操作します。

1. Quick Launch Buttonsの[設定]を開きます。
  - ☐ [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。
  - または
  - ☐ タスクバーまたはWindowsデスクトップの[Quick Launch Buttons]アイコンを選択します。

2. **[ズーム]**タブを選択します。
3. スライダの上の図が表示したいアイコンの大きさを示されるまで、スライダを左右に移動します。
4. 設定を保存して画面を閉じるには、**[OK]**を選択します。

オペレーティング システムで、Windowsデスクトップでのアイコンの整列方法を**[アイコンの自動整列]**に設定してある場合は、非常に大きなアイコン表示を選択するとアイコンが重なって表示されることがあります。

自動整列の設定を無効にするには、以下の手順で操作します。

1. Windowsデスクトップで空白の領域を右クリックします。
2. **[アイコンの整列]**を選択します。
3. **[アイコンの自動整列]**を選択してチェックを外し、自動整列を無効にします。

## **[Quick Launch Buttons]アイコンの表示**

タスクバーやWindowsデスクトップでの**[Quick Launch Buttonsのプロパティ]**アイコンの表示/非表示を切り替えるには、次の手順で操作します。

1. Quick Launch Buttonsの**[設定]**を開きます。
  - ☐ **[スタート]→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。または
  - ☐ タスクバーまたはWindowsデスクトップの**[Quick Launch Buttons]**アイコンを選択します。
2. **[詳細設定]**タブを選択します。**[詳細設定]**タブでは以下の設定を行います。
  - ☐ タスクバーでの**[Quick Launch Buttons]**アイコンの表示/非表示を切り替えることができます。
  - ◆ アイコンを表示させるには、**[タスクバーにアイコンを表示]**チェックボックスをオンにします。



- ◆ アイコンを非表示にするには、[タスクバーにアイコンを表示] チェックボックスをオフにします。
  - Windows デスクトップでの[Quick Launch Buttons]アイコンの表示/非表示を切り替えることができます。
  - ◆ アイコンを表示させるには、[デスクトップにアイコンを表示] チェックボックスをオンにします。
  - ◆ アイコンを非表示にするには、[デスクトップにアイコンを表示]チェックボックスをオフにします。
3. 設定を保存して画面を閉じるには、[OK]を選択します。

## ホットキー情報の表示

ホットキーとは、ファンクションキー（[f1]から[f12]）、[esc]キーなど、[fn]キーと他のキーとの組み合わせです。

ノートブック コンピュータで使用可能なホットキー機能に関する情報を表示するには、以下の手順で操作します。

1. Quick Launch Buttonsの[設定]を開きます。
  - [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。または
  - タスクバーまたはWindowsデスクトップの[Quick Launch Buttons]アイコンを選択します。
2. [ファンクション キー]タブを選択します。
3. 画面を閉じるには、[OK]を選択します。

ホットキーについて詳しくは、「第2章 キーボード」の「ホットキー」を参照してください。

## 外付けキーボードへのボタン割り当ての設定

イージー アクセス ボタンが搭載された別売のHP外付けキーボードをお使いの場合は、イージー アクセス ボタンの割り当てとスキームを**[設定]**タブで設定できます。

**[設定]**タブはデフォルトでは無効になっており、表示されません。Quick Launch Buttonsの**[設定]**の**[設定]**タブを表示して有効にするには、以下の手順で操作します。

1. Quick Launch Buttonsの**[設定]**を開きます。

- ☐ **[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。

または

- ☐ タスクバーまたはWindowsデスクトップの**[Quick Launch Buttons]**アイコンを選択します。

2. **[詳細設定]**タブを選択します。次に、以下の操作を行います。

- ☐ **[設定]**タブを表示して有効にするには、**[外付けキーボードのボタン割り当ての変更を可能にする]**チェック ボックスをオンにします。

- ☐ **[設定]**タブを非表示にして無効にするには、**[外付けキーボードのボタン割り当ての変更を可能にする]**チェック ボックスをオフにします。

3. 設定を保存して画面を閉じるには、**[OK]**を選択します。

イージー アクセス ボタンの割り当てとスキームの管理について詳しくは、キーボードのマニュアルを参照してください。

## セットアップ ユーティリティ

セットアップ ユーティリティはROMベースのユーティリティで、情報の表示とシステムのカスタマイズを行います。オペレーティング システムが動作しない場合やロードされない場合にも使用できます。

セットアップ ユーティリティでは、ノートブック コンピュータの情報を表示したり、起動、セキュリティ、およびその他の項目を設定したりすることができます。

各種設定を行うための手順は、このガイドで説明しています。たとえば、パスワードおよびその他のセキュリティ機能を設定するための手順は、「[第6章 セキュリティ](#)」に記載されています。

### セットアップ ユーティリティの起動

セットアップ ユーティリティを起動するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを起動するか、Windowsを再起動します。
2. Windowsが起動する前および画面の左下隅に[Press <F10> to enter setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。

### コンピュータ セットアップの言語の変更

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの言語を変更する方法について説明します。お使いのノートブック コンピュータでセットアップ ユーティリティを起動していない場合は手順1から、起動している場合は手順2から始めてください。

1. セットアップ ユーティリティを起動するには、ノートブック コンピュータを起動するかWindowsを再起動し、画面の左下隅に[Press <F10> to enter setup]メッセージが表示されている間に[f10]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[Advanced] (詳細設定) メニューを選択します。

3. [f5] キーまたは[f6] キーを押して（または矢印キーを使用して）言語を選択し、[enter] キーを押します。
4. 選択した設定を示す確認画面が表示されたら、[enter] キーを押して設定を保存します。
5. 設定を確定してセットアップ ユーティリティを終了するには、[f10] キーを押して画面上の指示に従います。

設定は、コンピュータを再起動して Windows を起動すると有効になります。

## セットアップ ユーティリティでの移動と選択

セットアップ ユーティリティは Windows のユーティリティではないため、タッチパッドでは操作できません。移動および選択はキー操作で行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- ドロップダウン リストの項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、矢印キーを使用するか、[f5] キーまたは[f6] キーを使用します。
- 項目を選択するには、[enter] キーを押します。
- テキスト ボックスを閉じたりメニュー表示に戻ったりするには、[esc] キーを押します。

セットアップ ユーティリティの起動中に移動や選択項目に関するその他の情報を表示するには、[f1] キーを押します。

## システム情報の表示

以下の手順では、セットアップ ユーティリティでシステム情報を表示する方法について説明します。セットアップ ユーティリティを起動していない場合は手順1から、起動している場合は手順2から始めてください。

1. セットアップ ユーティリティを起動するには、ノートブック コンピュータを起動するかWindowsを再起動し、画面の左下隅に[Press <F10> to enter setup]メッセージが表示されている間に[F10]キーを押します。
2. [Main] (メイン) メニューおよび[Advanced] (詳細設定) メニューのシステム情報にアクセスします。
  - ☐ セットアップ ユーティリティで利用可能なほとんどのシステム情報を表示するには、矢印キーを使用して[Main]メニューを選択します。
  - ☐ ビデオ メモリ情報を表示するには、矢印キーを使用して[Advanced]メニューを選択します。
3. 変更を保存せずにセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[Exit] (終了) メニュー→[Exit Discarding Changes] (変更を保存せずに終了する) の順に選択し、[enter]キーを押します。(コンピュータが再起動され、Windowsが起動します)。

## セットアップ ユーティリティでのデフォルト設定の復元

以下の手順では、セットアップ ユーティリティをデフォルト設定に戻す方法について説明します。お使いのノートブック コンピュータでセットアップ ユーティリティを起動していない場合は手順1から、起動している場合は手順2から始めてください。

1. セットアップ ユーティリティを起動するには、ノートブック コンピュータを起動するかWindowsを再起動し、画面の左下隅に[Press <F10> to enter setup]メッセージが表示されている間に[F10]キーを押します。
2. [F10]キーを押します。

3. セットアップの確認画面が表示されたら、[enter] キーを押して設定を保存します。
4. 設定を確定してセットアップ ユーティリティを終了するには、[f10] キーを押して画面上の指示に従います。

セットアップ ユーティリティのデフォルト設定は、ユーティリティを終了したときに確定され、ノートブック コンピュータが再起動したときに有効になります。ROMバージョン情報などの識別情報は保持されます。

## 高度なセットアップ ユーティリティ機能の使用

---



**注意：**ハードドライブが永久にロックされて使用できなくなることを防ぐため、DriveLock（ドライブロック）のパスワードは書き留めておき、ノートブック コンピュータから離れた安全な場所に保管してください。設定したDriveLockのuser password（ユーザ パスワード）とmaster password（マスタ パスワード）を忘れてしまった場合、DriveLockで保護されているドライブにはアクセスできなくなります。

---

このガイドは、すべてのユーザに推奨するセットアップ ユーティリティ機能について説明しています。上級ユーザにのみ推奨するセットアップ ユーティリティについては、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択し、[ヘルプとサポート センター]を参照してください。

上級ユーザが利用可能なセットアップ ユーティリティの機能には、ハードドライブのセルフテスト、ネットワーク サービス ブート、ブート順序の設定、DriveLockなどがあります。

ノートブック コンピュータの起動、Windowsの再起動、またはハイバネーションからの復元が実行されるたびに、画面の左下隅に[<F12> to boot from LAN]メッセージが表示されます。これは、ネットワーク サービス ブートを行うためのメッセージです。

ノートブック コンピュータの起動、Windowsの再起動、またはハイバネーションからの復元が実行されるたびに、画面の左下隅に[Press <ESC> to change boot order]メッセージが表示されます。これは、ブート順を変更するためのメッセージです。

## セットアップ ユーティリティの終了

セットアップ ユーティリティを終了するときには、変更を保存するかどうかを選択できます。

- 現在のセッションでの変更を保存してユーティリティを終了するには、次のどちらかの操作を行います。

- ☐ [f10]キーを押し、画面の指示に従って操作します。

または

- ☐ セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、[esc]キーを押してメニュー画面に戻ります。次に、矢印キーを使用して[Exit]（終了）メニュー→[Exit Saving Changes]（変更を保存して終了する）の順に選択し、[enter]キーを押します。

[f10]キーを押す手順では、セットアップ ユーティリティに戻ることができるオプションが表示されます。[Exit Saving Changes]を選択する手順では、[enter]キーを押すとセットアップ ユーティリティが終了します。

- 現在のセッションでの変更を保存せずにセットアップ ユーティリティを終了するには、次の操作を行います。

セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、[esc]キーを押してメニュー画面に戻ります。次に、矢印キーを使用して[Exit]（終了）メニュー→[Exit Discarding Changes]（変更を保存せずに終了する）の順に選択し、[enter]キーを押します。

セットアップ ユーティリティが終了した後、Windowsが再起動します。

## 作業環境

次の表には、ノートブック コンピュータを苛酷な環境で使用する場合に役立つ、作業環境に関する情報を記載します。

動作保証温度	
動作時（通常）	0～35℃
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	5～35℃
非動作時	–20～60℃
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10～90%
非動作時	5～95%
最大標高（非与圧）	
動作時	–15～3,048 m
非動作時	–15～12,192 m



## 定格入力電源

ここで説明する電源の情報は、ノートブック コンピュータを国外で使用する場合に役立ちます。

ノートブック コンピュータは、AC電源またはDC電源から供給されるDC電力で動作します。コンピュータは単独のDC電源で動作しますが、コンピュータの電力供給には、HPコンピュータ用に提供されているまたは認可されているACアダプタまたはDC電源コードのみを使用することを強くお勧めします。

お使いのノートブック コンピュータは、以下の仕様のDC電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧	18.5 V DC (3.5 A、65 Wの場合)
動作電流	3.5 A

## 拡張ポートの入出力信号

ここで説明する拡張ポートの信号の情報は、ノートブック コンピュータの拡張ポートに別売のHP拡張製品を接続して使用する場合に役立ちます。

この拡張ポートの図は、「[第1章 ハードウェア](#)」の「[左側面の各部](#)」に示されています。

拡張ポートを使用してノートブック コンピュータに接続するHPの拡張製品（別売）には、拡張ベースがあります。

次の表に、お使いのノートブック コンピュータの拡張ポートでサポートされる入力信号および出力信号を示します。

信号	サポート
USB 2.0	はい
10/100イーサネット	はい
ギガビット イーサネット	いいえ
IEEE 1394 (4ピン ポート)	はい
電源入力	65 W
コンポジットTV	はい
SビデオTV	はい
コンポーネントTV	いいえ
S/PDIFオーディオ	はい
DVI	いいえ
ヘッドフォン/スピーカ オーディオ出力	はい
マイク オーディオ入力	はい

---

# 索引

## 数字

- 1394ポート 1-13, 7-3
- 6-in-1メディア スロット、位置 1-13
- 6-in-1メディア スロット ランプ 1-13
  - 位置 1-13
  - オンまたはオフ 7-6

## A

- ACアダプタ、概要 1-16

## B

- BIOS Configuration for ProtectTools 6-26
- BIOS情報、表示 6-3, 8-2
- Bluetooth 5-10
- Bluetoothデバイス
  - 無線ボタン ランプ 1-4
  - 無線ランプ 1-7
- Bluetoothラベル 1-18

## C

- Caps Lockランプ 1-4
- CD
  - 「リカバリ ディスク」も参照
  - Notebook Documentation 1-17
  - オーディオ、ホットキー 4-8
  - 書き込み 4-11
  - コピー 4-11
  - 再生 4-8, 4-10, 4-14
  - 作成 4-11
  - 自動再生機能の設定 4-9
  - 挿入または取り出し 4-7
  - 著作権に関する警告 4-11
  - マルチメディア アプリケーション 4-15
- Certificate of Authenticityラベル 1-18

- [Computer Setup]、セキュリティの設定 6-3
- Credential Manager for ProtectTools 6-25

## D

- DriveLock 6-12, 8-16
- DVD
  - 「リカバリ ディスク」も参照
  - 書き込み 4-11
  - 再生 4-8, 4-10, 4-14
  - 作成 4-16
  - 自動再生機能の設定 4-9
  - 挿入または取り出し 4-7
  - 地域設定の変更 4-12
  - ホットキー 4-8
  - マルチメディア アプリケーション 4-15
- DVDの地域設定 4-12

## E

- Embedded Security for ProtectTools 6-24
- ESD（静電気） 7-13, 7-19

## F

- [<F12> to boot from LAN]メッセージ 8-16
- [fn]キー 1-1

## H

- HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ 6-24
- HP管理者パスワード 6-7
- HPパスワード 6-4
- HPパスワードに関するガイドライン 6-6

**I**

IDEドライブ ランプ	7-12
位置	1-7
IEEE 1394ポート	7-3
位置	1-13
Internet Explorer	2-8
InterVideo WinDVD Creator	4-15
InterVideo WinDVD Player	4-13, 4-15

**M**

Media Player、Windows	4-15
Microsoft Certificate of Authenticity ラベル	1-18

**N**

Norton AntiVirus	6-21
Notebook Documentation CD	1-17
[num lock]キー	2-15
Num Lockランプ	1-4, 2-15

**P**

PCFriendly	4-14
PCカード	
サポートされる種類	7-9
設定	7-9
挿入、取り出し	7-10
停止	7-11
PCカード イジェクト ボタン	7-11
位置	1-11
PCカード スロット	1-11, 7-10
[Press [ESC] to change boot order]メッセージ	8-17
PXEサーバ	7-4

**Q**

Quick Launch Buttons	8-9
QuickLock	2-11

**R**

RAM (ランダム アクセス メモリ)	7-18
RJ-11 (モデム) コネクタ	1-10
RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	1-10

**ROM**

現在のバージョンの確認	8-2
最新バージョンの入手	8-3
ダウンロードとインストール	8-4

**ROMPaq**

8-3

**S**

[scroll lock]キー	2-7
Secure Digital (SD) メモリ カード	7-5
[shift]キー	
内蔵テンキーの機能	2-15
ハイパネーションの機能	3-10
Smart Card Security for ProtectTools	6-27
SmartMedia (SM) カード	7-5
SoftPaq	8-3, 8-5
Sonic RecordNow!	4-13, 4-15
Sビデオ出力コネクタ	
位置	1-13
デバイスへの接続	4-5

**U**

USBデバイス、接続	7-2
USBポート	1-13
位置	1-10

**W**

Windows Media Player	4-15
Windows XPの緊急セキュリティ アップデート	6-23
Windowsアプリケーション キー	1-1
Windowsカテゴリ表示とWindowsクラシック表示	2-3
Windowsデスクトップ、アイコン表示の設定	8-9
Windowsのパスワードに関するガイドライン	6-6
Windowsファイアウォール	6-2, 6-21
Windowsムービー メーカー	4-15
Windowsロゴ キー	1-1
WinDVD Creator	4-15
WinDVD Player	4-15

**X**

xDピクチャ カード	7-5
------------	-----

## あ

アプリケーション	
「ソフトウェア」も参照	
再インストールまたは修復	1-17
アプリケーション キー、Windows	1-1
アプリケーションのリカバリ ディスク	1-17
アンテナ、位置	1-6
イージー アクセス ボタン	8-12
イジェクト ボタン	
PCカード	7-11
オプティカル ドライブ	4-7
イーネブラ、PCカード	7-9
インターネット接続ウィザード	2-8
インターネット接続ファイアウォール	6-21
ウィルス対策ソフトウェア	6-20
応答しないシステム	
緊急停止手順	3-11
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	1-8, 4-3
オーディオ入力（マイク）コネクタ	1-8, 4-4
オプティカル ディスク	
「CD」、「DVD」を参照	
オプティカル ドライブ	
「CD」、「DVD」、「ドライブ」も参照	
位置	1-13
ディスクの挿入または取り出し	4-7
オペレーティング システム	6-21
Microsoft Certificate of Authenticity	
ラベル	1-18
Windows、再インストールまたは修復	1-17
インターネット接続ウィザード	2-8
終了	3-8, 3-11
セキュリティ	6-1
パスワード	6-4
プロダクト キー	1-18

ロード	3-8
オペレーティング システムのリカバリ ディスク	1-17
温度	
仕様	A-1
保管、バッテリー パック	3-25
音量、調整	4-2
音量ボタン	1-5
か	
カー /ACアダプタ/チャージャ	3-1, 3-14
カー アダプタ/チャージャ	3-1, 3-14
カード	
「デジタル メモリ カード」、「メモリ」、「PCカード」を参照	
カードおよびソケット サービス、PCカード	7-9
拡張ベース	
USB対応	7-2
装着、ディスクまたはフロッピー	
ディスクの使用中の取り外し	4-10
電源としての使用	3-1
ノートブック コンピュータの拡張ポート	1-10
モニター ポート	2-9
拡張ポート	1-10, A-3
各部	
前面	1-7
底面	1-14
背面	1-9
左側面	1-10
表面	1-1
右側面	1-13
カテゴリ表示、Windows XP	2-3
カメラ	
接続	7-3
環境の仕様	A-1, A-2
完全なローバッテリー状態	3-17
外部電源とバッテリー電源	3-1
外部電力を使用するデバイス、接続	7-1

- キー  
「ボタン」、「ディスプレイ スイッチ」も参照  
[fn] 1-1  
[num lock] 2-15  
[scroll lock] 2-7  
[shift] 2-15, 3-10  
Windowsアプリケーション 1-1  
Windowsロゴ 1-1  
テンキー 1-1, 2-14  
ファンクション ([f1]、[f2]など) 1-1  
ホットキー 1-1, 2-5  
キーボード、外付け 2-7, 8-12  
規定に関する情報  
規定ラベル 1-18  
無線認定/認証ラベル 1-18  
モデム認定/認証ラベル 1-18  
緊急停止手順 3-11  
空港のセキュリティ機器 7-13  
クラシック表示、Windows XP 2-3  
ケーブル  
「電源コード」も参照  
Sビデオ 4-5  
オーディオ 4-5  
ネットワーク 1-10  
モデム、概要 1-16  
ケーブルロック、セキュリティ 1-12, 6-28  
言語、セットアップユーティリティでの変更 8-13  
コード、電源  
「ケーブル」も参照  
各部 1-16  
コネクタ  
「ポート」も参照  
RJ-11 (モデム) 1-10  
RJ-45 (ネットワーク) 1-10  
Sビデオ出力 4-5  
Sビデオ出力、位置 1-13  
オーディオ出力 (ヘッドフォン) 4-3  
オーディオ出力 (ヘッドフォン)、位置 1-8  
オーディオ入力 (マイク) 4-4  
オーディオ入力 (マイク)、位置 1-8  
電源 1-9  
ドライブ 7-13  
ネットワーク ケーブル、位置 1-10  
コンパートメント  
「ベイ」も参照  
ミニPCI 1-14  
メモリ 7-18  
メモリ、位置 1-14  
『コンピュータの準備』 1-17
- さ  
サービス タグ 1-18  
作業環境の仕様 A-1  
システム情報、表示 6-19, 8-2, 8-15  
[システムの復元] 8-7  
システム ロックアップ 3-11  
湿度の仕様 A-1  
シャットダウンの手順 3-8  
仕様  
作業環境 A-1  
定格入力電源 A-2  
シリアル番号、ノートブック コンピュータ 1-18, 2-7  
シリーズ、ノートブック コンピュータ 8-2  
自動再生機能 4-9  
スイッチ、ディスプレイ  
位置 1-3, 3-3  
設定 3-12  
スキャナ 7-3  
スクリーン セーバ 3-22  
スクロール領域、タッチパッド 1-2, 2-2  
スタンバイ  
完全なローバッテリー状態での起動 3-17  
起動 3-9  
設定 3-12

- ディスクまたはフロッピーディスクの使用中の防止 3-7, 4-10  
 電源/スタンバイ ランプ 1-7  
 電源ボタン ランプ 1-4  
 パスワード 3-12  
 復帰 3-9  
 ステレオ スピーカ  
   位置 1-8  
   外付け 4-3  
   内蔵 1-8, 4-1  
 スピーカ  
   外付け 4-3  
   内蔵 4-1  
   内蔵、位置 1-8  
 スリープ  
   「スタンバイ」を参照  
 スリープ ボタン 2-10  
 スロット  
   6-in-1メディア 1-13  
   PCカード、位置 1-11  
   セキュリティ ケーブル、位置 1-12  
   メモリ 7-18  
 静電気 (ESD) 7-13, 7-19  
 製品名および製品番号、ノートブック  
 コンピュータ 1-18, 2-7  
 セキュリティ機能 6-1  
 セキュリティ ケーブル スロット 1-12  
 セキュリティ ロック ケーブル、接続 6-28  
 設定  
   Quick Launch Buttons 8-9  
 セットアップ ユーティリティ  
   DriveLock 8-16  
   移動と選択 8-14  
   起動 8-13  
   言語の変更 8-13  
   システム情報の表示 8-15  
   セキュリティの設定 6-3  
   デフォルト設定の復元 8-13, 8-15  
   ネットワーク サービス ブート 7-4, 8-16  
 節電 3-21  
 ソケット サービス、PCカード 7-9  
 ソフトウェア  
   RomPaq 8-3  
   SoftPaq 8-3  
   インターネット接続ウィザード 2-8  
   ウイルス対策 6-20  
   再インストールまたは修復 1-17  
   [システムの復元] 8-7  
   修復、再インストールに関するマニュアル 8-8  
   自動再生機能 4-9  
   セキュリティ機能 6-1  
   セットアップ ユーティリティ 8-13  
   [電源メーター] 3-16  
   ファイアウォール 6-2, 6-21  
   マルチメディア アプリケーション 4-12, 4-14  
 ソフトウェアの再インストールまたは修復、リカバリ ディスク 1-17  
 ソフトウェアの復元 8-8  
 た  
   タッチパッド 1-2, 2-1  
   タッチパッド ランプ、位置 1-2  
   チュートリアル 2-7, 4-14, 7-4  
   調整、バッテリー ゲージ 3-18  
   通気孔  
     位置 1-15  
     排気 1-9, 1-12, 1-15  
   テレビ  
     オーディオの接続 4-3  
     ビデオの接続 4-6  
   テンキー  
     「テンキー、外付け」、「テンキー、内蔵」を参照  
   テンキー、外付け 2-16  
   テンキー、内蔵  
     位置 1-1, 2-14  
     操作 2-15, 2-16  
   ディスク、オプティカル  
     「CD」、「DVD」を参照  
   ディスプレイ スイッチ  
     位置 1-3, 3-3

- 設定 3-12  
 ディスプレイ、内蔵  
   輝度の調整 2-11  
   表示画面の切り替え 2-9  
 ディスプレイ リリース ボタン、位置 1-8  
 デジタル メモリ カード  
   自動再生機能の設定 4-9  
   挿入 7-7  
   取り出し 7-8  
 デスクトップ、Windows、アイコン表  
   示の設定 8-9  
 デバイス、外部電力を使用 7-1  
 デバイス セキュリティ 6-18  
 デバイスの制限 6-18  
 デフォルト設定、セットアップ ユー  
   ティリティの復元 8-15  
 電源 3-1  
   「バッテリー パック」、「ハイバネー  
   ション」、「シャットダウンの手  
   順」、「スタンバイ」も参照  
   外部電源とバッテリー電源の切り替  
   え 3-2  
   設定 3-12  
   節電 3-5, 3-21  
   ボタン類とランプの位置 3-3  
 電源コード  
   「ケーブル」も参照  
   外付けデバイス 7-18  
   ノートブック コンピュータ 1-16  
 電源コネクタ 1-9  
 電源/スタンバイ ランプ 1-7, 3-8  
 電源ボタン  
   位置 1-3, 3-3  
   設定 3-12  
   デフォルトの機能 3-8  
   リセット 3-11  
 電源ボタン ランプ 1-4, 3-8  
 [電源メーター] 3-16  
 [電源メーター]アイコン 3-2, 3-16  
 電話コネクタ (RJ-11コネクタ) 1-10  
 ドライブ、再インストールまたは修復 1-17  
 ドライブのリカバリ ディスク 1-17  
 ドライブ  
   「CD」、「DVD」、「ハードドライ  
   ブ」も参照  
   IDEドライブ ランプ 7-12  
   USB 7-2  
   空港のセキュリティによる影響 7-13  
   システムへの追加 7-12  
   送付 7-13  
   ディスクまたはフロッピーディス  
   クの使用中のスタンバイまたはハ  
   イパネーションの防止 3-7, 4-10  
   取り扱い上の注意 7-13  
   ブート順序 8-16  
 な  
 ネットワーク (RJ-45) コネクタ 1-10  
 ネットワーク ケーブル コネクタ、位  
   置 1-10  
 ネットワーク サービス ブート 8-16  
 ネットワークのマニュアル 7-4  
 ノートブック コンピュータの情報  
   環境の仕様 A-1  
   バッテリー パックの温度 3-25  
   無線認定/認証ラベル 1-18  
   モデム認定/認証ラベル 1-18  
 ノートブック コンピュータのセキュ  
   リティ機能  
   [Computer Setup] 6-3  
 ノートブック コンピュータの電源切  
   断 3-8, 3-11  
 ノートブック コンピュータの電源投  
   入 3-8  
 ノートブック コンピュータのモデル、  
   ファミリ、種類、シリアル番号 2-7, 8-2  
 は  
 ハードドライブ  
   DriveLock 6-12, 8-16



- 
- |                    |                 |                          |           |
|--------------------|-----------------|--------------------------|-----------|
| 空き領域の表示            | 7-18            | パスワード                    |           |
| 空港のセキュリティによる影響     | 7-13            | DriveLock                | 6-13      |
| セルフテスト             | 8-16            | HP                       | 6-4       |
| 内蔵ハードドライブの交換       | 7-14            | HP管理者                    | 6-7       |
| ハイパネーションファイルに必要    |                 | HPパスワードに関するガイドライ         |           |
| な空き領域              | 7-18            | ン                        | 6-6       |
| ハードドライブ ベイ         |                 | QuickLock                | 2-11      |
| 位置                 | 1-15            | Windows                  | 6-4       |
| ハードドライブの交換         | 7-14            | Windowsの管理者              | 2-11      |
| 排気孔、位置             | 1-9, 1-12, 1-15 | Windowsのパスワードに関するガ       |           |
| ハイパネーション           |                 | イドライン                    | 6-6       |
| 確認                 | 7-14            | Windowsのユーザ              | 2-11      |
| 完全なローバッテリー状態での起動   | 3-17            | 組み合わせ                    | 6-6       |
| 起動                 | 3-10            | 使用                       | 6-4       |
| 使用条件               | 3-5             | スタンバイ                    | 3-12      |
| 設定                 | 3-12            | 電源投入時                    | 6-9       |
| 定義                 | 3-5             | 忘れた場合                    | 6-4       |
| ディスクまたはフロッピーディス    |                 | 標高の仕様                    | A-1       |
| クの使用中の防止           | 3-7, 4-10       | ビデオ カメラ                  |           |
| 復帰                 | 3-5, 3-10       | 接続                       | 7-3       |
| 有効化/無効化            | 3-5             | ビデオ機器                    |           |
| ハイパネーション ファイル      | 3-5, 7-18       | オン/オフの切り替え               | 4-6       |
| ハブ、USB             | 7-2             | 接続                       | 4-5, 7-1  |
| バッテリー パック          |                 | ビデオデッキ                   |           |
| 診断情報               | 8-15            | オーディオの接続                 | 4-3       |
| 充電                 | 3-14            | ビデオの接続                   | 4-5       |
| 充電の監視              | 3-15            | ファイアウォール ソフトウェア          | 6-21      |
| 節電                 | 3-21            | ファンクション キー ([f1]、[f2]など) | 2-5       |
| 装着                 | 3-24            | 復元ポイント                   | 8-7       |
| 取り外し               | 3-23            | フロッピーディスク                |           |
| バッテリー ゲージの調整       | 3-18            | 空港のセキュリティによる影響           | 7-13      |
| バッテリー電源と外部電源       | 3-1             | 再生中の保護                   | 3-7       |
| 保管                 | 3-25            | ブート順序                    | 8-16      |
| ローバッテリー状態          | 3-16            | プロジェクト                   |           |
| バッテリー パック リリース ラッチ | 1-15, 3-23      | 接続                       | 1-10, 7-1 |
| バッテリー ベイ           | 1-15, 1-18      | 表示画面の切り替え                | 2-9       |
| バッテリー ランプ          |                 | プロダクト キー                 | 1-18      |
| 位置                 | 1-7, 3-3        | ヘッドフォン                   | 4-3       |
| 充電状態の表示            | 3-15, 3-16      | ヘッドフォン (オーディオ出力) コネ      |           |
|                    |                 | クタ                       | 1-8, 4-3  |
-

『ヘルプおよびサポート ガイド』 1-17  
 [ヘルプとサポート センター] 2-7  
 ベイ  
   「コンパートメント」も参照  
   ハードドライブ、位置 1-15  
   バッテリー 1-15, 1-18  
 ベース、ドッキング  
   「拡張ベース」を参照  
 ホットキー  
   位置 1-1, 2-5  
   画面への機能の表示 8-11  
   クイック リファレンス 2-6  
   操作 2-7  
   外付けキーボードでの使用 2-7  
 ホットキー コマンド  
   Internet Explorerを開く 2-8  
   QuickLockの起動 2-11  
   印刷オプションのウィンドウを開く 2-8  
   画面の輝度を上げる 2-12  
   画面の輝度を下げる 2-11  
   クイック リファレンス 2-6  
   システム情報の表示 2-13  
   スタンバイの起動 3-9, 3-12  
   表示画面の切り替え 2-9  
   [ヘルプとサポート センター]へのアクセス 2-7  
   メディアの動作（再生、一時停止、停止など）の制御 2-12, 4-8, 8-2  
 ホットスポット 5-1  
 ボタン  
   PCカード イジェクト 7-11  
   PCカード イジェクト、位置 1-11  
   イージー アクセス 8-12  
   音量 1-5, 4-2  
   タッチパッド 1-2, 2-1  
   ディスプレイ リリース、位置 1-8  
   電源 1-3, 3-8, 3-12  
   ミュート 4-2  
   無線 1-5  
 ポインティング デバイス 2-2

ポート  
   「コネクタ」も参照  
   1394 1-13, 7-3  
   IEEE 1394、位置 1-13  
   USB 1-10, 1-13, 7-2  
   拡張ポート 1-10  
   モニタ 1-10, 2-9

## ま

マイク 4-4  
 マイク（オーディオ入力）コネクタ 1-8, 4-4  
 マウス、外付け  
   USB 7-2  
   設定 2-3  
 マルチメディア カード 7-5  
 ミニPCIコンパートメント 1-14  
 ミュート ボタン 4-2  
 ミュート ランプ 1-4, 4-2  
 無線  
   無線LANアダプタの種類 5-8  
   無線LANソフトウェア 5-9  
   無線ローカルエリア ネットワーク（無線LAN） 5-7  
 無線LAN  
   種類 5-8  
   ソフトウェア 5-9  
   デバイスの識別 5-7  
   トラブルシューティング 5-9  
 無線LANデバイス  
   ミニPCIコンパートメント、位置 1-14  
   無線ボタン、位置 1-5  
   無線ランプ 1-7  
   無線ランプ（無線ボタンと連動） 1-4  
 無線LANラベル 1-18  
 無線デバイス  
   ミニPCIコンパートメント、位置 1-14  
   無線ボタン、位置 1-5  
   無線ランプ、位置 1-7  
 無線デバイス アンテナ 1-6

- 
- 無線デバイスのマニュアル 7-4
  - 無線認定/認証ラベル 1-18
  - 無線ボタン 5-12
    - 位置 1-5
  - 無線ランプ 1-4, 1-7
  - メディア スロット 1-13
  - メディア スロット ランプ、位置 1-13
  - メモリ
    - RAMの増設 7-18
    - 容量の表示 2-7, 7-18
  - メモリ コンパートメント 1-14, 7-20
  - メモリ スティック、メモリ スティックPRO 7-5
  - メモリ モジュール、着脱 7-19
  - モデム (RJ-11) コネクタ 1-10
  - モデム ケーブル 1-16
  - モデム認定/認証ラベル 1-18
  - モデムのマニュアル 7-4
  - モデル、ノートブック コンピュータの確認 2-7, 8-2
  - モニタ
    - 接続 7-1
    - 表示画面の切り替え 2-9
  - モニタ ポート、位置 1-10
- ら**
- ラッチ、バッテリー パック リリース
    - 「ボタン」、「ディスプレイ スイッチ」を参照
  - ラベル
    - Bluetooth 1-18
    - Microsoft Certificate of Authenticity 1-18
    - 規定 1-18
    - サービス タグ 1-18
    - 無線LAN 1-18
    - 無線認定/認証 1-18
    - モデム認定/認証 1-18
  - ランプ
    - 6-in-1メディア スロット 1-13
    - Caps Lock 1-4
    - IDEドライブ 1-7, 7-12
    - Num Lock 1-4
    - タッチパッド 1-2, 2-1
    - 電源/スタンバイ 1-7, 3-8
    - 電源ボタン 1-4, 3-8
    - バッテリー 1-7, 3-15, 3-16
    - ミュート 1-4, 4-2
    - 無線 1-4, 1-7
    - 無線ボタン 1-4
  - リカバリ ディスク 1-17
  - リセット (緊急停止手順) 3-11
  - リリース ラッチ、バッテリー パック 1-15, 3-23
  - ローバッテリー状態 3-16
  - ロックアップ、システム 3-11
  - ロック、セキュリティ ケーブル 1-12, 6-28